

取り扱い説明書

お施主様用保存版

窓・窓まわり・玄関・勝手口編



保存版

- 商品のご使用前にこの説明書をよくお読みください。
- いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へお願い

この取り扱い説明書は、施工後、お施主様へお渡しください。

取り扱い説明書の最新の更新情報は下記にて掲載しています。

<http://alumi.st-grp.co.jp/>

はじめに

このたびは、三協アルミの商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取り扱い説明書（および商品に貼付したラベル）をよくお読みください。

なお、特別な機能を有している商品や特有な操作方法がある下記商品については、別途、専用の取り扱い説明書がありますので、合わせてご覧ください。

- ・電装商品（電気錠・電動シャッターなど）
- ・スライディングドア ラフォースSD
- ・天窓スターフルV

安全のために必ずお守りください。

- 商品の取り扱いについては、人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような警告表示をしております。よく内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。
- 商品によっては、取り扱いとメンテナンスに関するラベルを貼付しておりますので、このパンフレットと合わせてご確認ください。

商品に貼り付けのラベルは必ずお読みください。
また、表示ラベルはいつもきれいにし、はがさないでください。

■警告表示の種類と意味

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者などが負傷するおそれや物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「必ず行なっていただくこと」を示しています。

目次

安全のために必ずお守りください

窓およびドアの種類 2・3

商品別使用上のご注意・調整方法 .. 4~81

- ・引違い窓・網戸 4~8
- ・雨戸付引違い窓 9・10
- ・シャッター付引違い窓・窓用単体シャッター .. 11
 出入口用単体シャッター
- ・フィルター付換気框 12
- ・出窓・網戸 13
- ・たてすべり出し窓・網戸 14~16
- ・高所用たてすべり出し窓・網戸 17
- ・上げ下げ窓・網戸 18~21
- ・ガラスルーバー窓・ダブルガラスルーバー窓・網戸 .. 22
- ・オーニング窓・すべり出し窓 オペレーター・網戸 .. 23
- ・内倒し窓・網戸 24・25
- ・外倒し窓・網戸 26
- ・すべり出し窓 カムラッチ 28・29
 大採光すべり出し窓 グランプレム・網戸
- ・片引き窓・両袖片引き窓・網戸 30
- ・採風格子窓 ウィンカム・網戸 31~33
- ・フルオープン折りたたみ窓 34~36
- ・アクセントシリーズ 開きタイプ・網戸 .. 37
- ・テラスドア 38
- ・窓手すり 39
- ・フラワーボックス 39
- ・玄関ドア 40~49
- ・玄関引戸 50~57
- ・採風勝手口ドア 58~61
- ・勝手口ドア 62
- ・採風勝手口片引き戸 63
- ・勝手口片引き戸・網戸 64
- ・収納ドア 65
- ・飾り格子 66
- ・ロール網戸(上下昇降タイプ) 67
- ・ロール網戸(左右開閉タイプ) 68・69
- ・後付樹脂内窓 プラメイクE 70~77
- ・オープンカウンター フィアonz 78
- ・鋳物ハンガー フィアonz 79
- ・飾り棚ユニット フィアonz 80
- ・勝手口ドア フィアonz 81

豆知識 82~92

■商品の特性・自然現象

- ・サッシの結露 82
- ・引違い窓(単体サッシ)全閉時のすき間風 83
- ・強風時、換気扇使用時の 83
 引違い窓(単体サッシ)の笛鳴り現象
- ・二重サッシの雨水浸入防止 84
- ・サッシの遮音性 84
- ・網入板ガラスの割れ 85
- ・網戸からの虫の侵入について 85
- ・窓シャッターの内部面への雨水付着について .. 86
- ・断熱玄関ドア・引戸の熱反り 86
- ・玄関ドアの音鳴り現象 87
- ・玄関ドアなどからの雨水浸入 87
- ・玄関ドア・引戸の表面温度 87
- ・ステンレスの錆 88
- ・排気ガス接触腐食 88
- ・ドアクローザの機能について 89

■窓の性能 90~92

お手入れ方法 93~99

- ・アルミ・ステンレス製商品 93
- ・木質建材商品 93
- ・樹脂製商品 94
- ・鋼板製商品 94
- ・鋼板ドア・引戸表面材 95
- ・樹脂シートをラミネートした商品 95
- ・木質系ドア 96
- ・錠(外装部)・ハンドル(把手) 97
- ・鍵(キー)・鍵穴(シリンダー) 97
- ・網戸 98
- ・アコーディオン網戸 98
- ・ロール網戸 99

修理の依頼 100

不具合対応 Q&A 100~116

商品保証 117

サービスネットワーク 118・119

窓およびドアの種類

●引違い窓



●雨戸付引違い窓



●シャッター付引違い窓・窓用単体
シャッター・出入口用単体シャッター



●出窓



●たてすべり出し窓



●上げ下げ窓



●ガラスルーバー窓



●オーニング窓



●内倒し窓



●外倒し窓



●すべり出し窓



●片引き窓



●採風格子窓 ウィンカム
片引き窓タイプ



●採風格子窓 ウィンカム
上げ下げ窓タイプ



●フルオープン
折りたたみ窓



●アクセントシリーズ
開きタイプ



●テラスドア



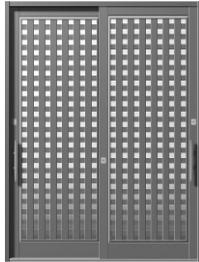
●窓手すり・フラワーボックス



●玄関ドア



●玄関引戸



●勝手口



●後付樹脂内窓 プラメイク
引違い窓



●後付樹脂内窓 プラメイクE
テラスドア



●後付樹脂内窓 プラメイクE
開き窓



●後付樹脂内窓 プラメイクE
FIX窓



●オープンカウンター※



フィアンズ

●鋳物ハンガー※



フィアンズ

●飾り棚ユニット※



フィアンズ

●勝手口ドア※



フィアンズ

※以外は全て外観です。

●空かけ防止機能付クレセント（マディオ）



トリガーがクレセント受けに押されると、クレセントがまわる構造になっています。障子が少しでも開いていると、トリガーがクレセント受けにかからないため、クレセントがまわりません。

●サブロックの操作方法

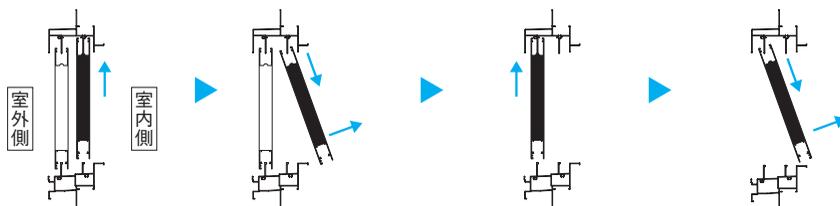
- ④をカチッと音がするまで押すとロックされます。
- ⑤をカチッと音がするまで押すとロックが解除できます。
- ※サブロックだけの施錠はやめてください。
クレセントとの併用によって効果を発揮します。
- ※④⑤はカチッと音がするまで、しっかりと押してください。



障子のはずし方

①、②を行ってから障子はずしてください。

- ①障子のはずれ止めのねじを左にまわして（反時計まわり）ゆるめて、はずれ止めを解除します。
（はずれ止めについては、P.6をご参照ください）
- ②召合せシールピースの調整ねじをゆるめ、上上げます。
（召合せシールピースの調整については、P.7をご参照ください）



- ①内障子全体を上を持ち上げます。
- ②下部を手前に引きます。
- ③障子全体を下へおろし、内側にはずします。
- ④外障子を全体を上を持ち上げます。
- ⑤下部を手前に引きます。
- ⑥障子全体を下へおろし、内側にはずします。

障子をはめる場合は、逆の手順で行ってください。

商品別使用上のご注意・調整方法

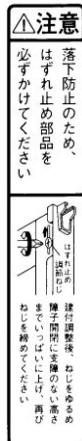
引違い窓

引違い窓(障子)

注意 はずれ止め部品のセット

- !** お手入れなどのために障子をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中ねじがゆるみ、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
- はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。セット方法は、商品に貼り付けられたラベルに記載されています。お確かめください。

表示ラベル



調整方法

障子のはずれ止めの調整

障子がスムーズに開閉しない場合は、はずれ止めが上がりすぎている場合がありますので、障子のはずれ止めを調整してください。なお、調整は戸車調整後に行なってください。

- ① 障子のはずれ止め調整ねじを左にまわし、ゆるめます。
- ② 障子の開閉に支障のない範囲で、上に上げてください。
- ③ 調整完了後、ゆるめたねじをしっかりと締めてください。

はずれ止め調整ねじ

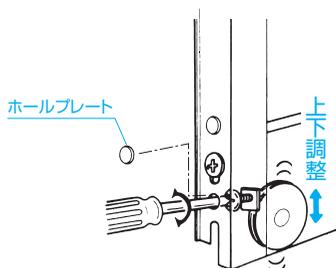


戸車の調整(建て付け調整)

障子の開閉が重くなった場合や、クレセントがかかりにくくなった場合、戸車の高さ調整をしてください。

- ① 障子の下端にあるホールプレートをいったんはずし、調整ねじをまわし、たて枠と障子枠が平行になるよう調整してください。
- ② 調整後はホールプレートをはめてください。

障子を上げたい場合・・・右にまわす(時計まわり)
障子を下げたい場合・・・左にまわす(反時計まわり)



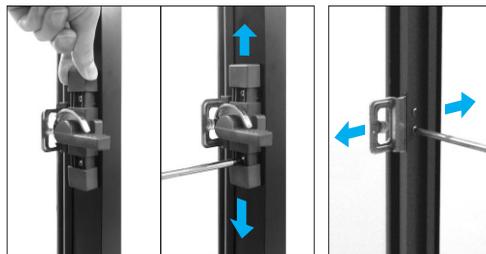
クレセントの調整

戸車の調整をしてもクレセントがかからない、閉めても障子が、ガタつくようになった場合にクレセント本体とクレセント受けを調整してください。

クレセント本体は上下に、クレセント受けは左右に調整できますのでかかりやすい位置に合わせ、取り付けねじを締めてください。

●クレセント本体

- ①トリガーを押えた状態でレバーを水平にし、クレセント本体上下のキャップを開きます。
- ②2箇所の取り付けねじをゆるめます。
- ③上下に動かし、クレセント受けとの位置を調整します。
- ④取り付けねじを締めます。
- ⑤クレセント本体上下のキャップを閉めてください。



●クレセント本体

●クレセント受け

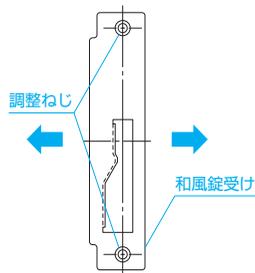
●クレセント受け

- ①2本の調整ねじをゆるめます。
- ②クレセントがかかりにくい場合は左方向に、障子がガタつく場合は右方向に位置を調整します。
- ③調整ねじを締めてください。

和風障子

●和風錠受け

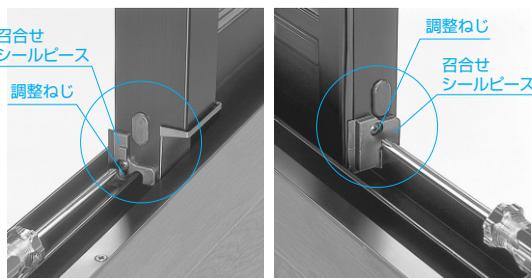
- ①2本の調整ねじをゆるめます。
 - ②左右にスライドさせて、和風錠との位置を調整します。
 - ③調整ねじを締めてください。
- ※和風錠本体の調整の必要はありません。



召合せシールピースの調整

戸車で建て付け調整した後、気密性を保つために、召合せ枠下部の召合せシールピースを下げて、レールとのすき間を発生させないように調整してください。

- ①調整ねじをゆるめ、召合せシールピースを下げます。
- ②レールとのすき間をなくした後、調整ねじを締めます。



●内障子の場合

●外障子の場合

商品別使用上のご注意・調整方法

引違い窓

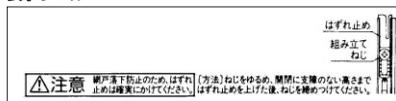
網戸

⚠️ 注意

⚠️ お手入れなどのために網戸をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
ご使用中ねじがゆるみ、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり、押しついたりしないでください。転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

表示ラベル



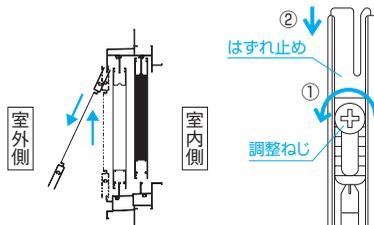
網戸のはずし方と調整方法

網戸のはずし方は下記の手順で行なってください。

- ① 網戸框上部にあるはずれ止めの調整ねじを左へまわし、ゆるめます。
- ② はずれ止めを下げます。
- ③ 網戸を持ち上げ、外側へ持ち出してはずします。

網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

取り付け完了後、戸車調整を行ない、はずれ止めの調整をし、調整ねじを締めてください。



調整ねじをゆるめたい場合……左(反時計まわり)にまわす
調整ねじを締めたい場合……右(時計まわり)にまわす

戸車の調整(建て付け調整)

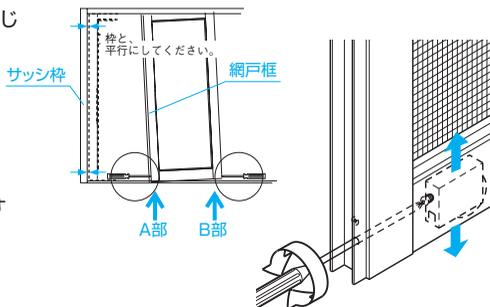
網戸が傾き、網戸框とサッシ枠との間にすき間が生じる場合は、障子と同様に戸車を調整してください。

- A部……調整ねじを右(時計まわり)へまわす
- B部……調整ねじを左(反時計まわり)へまわす

● 戸車の調整

- 障子を上げたい場合……右(時計まわり)にまわす
- 障子を下げたい場合……左(反時計まわり)にまわす

網戸のはずし方を参照に、戸車の調整前に、はずれ止めのねじをゆるめ、はずれ止めを下げてください。戸車の調整後は、はずれ止めを上げてねじ止めしてください。

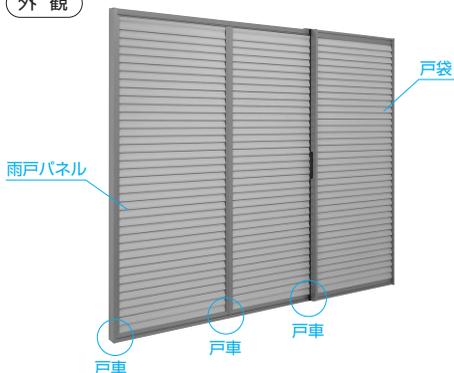


雨戸付引違い窓

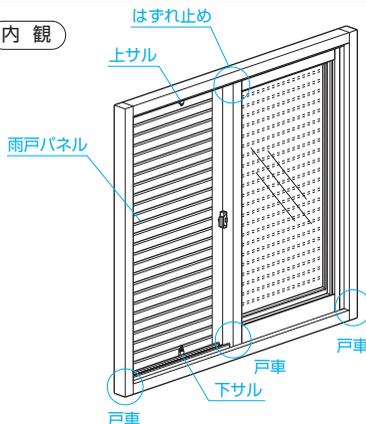
マディオJ・M・P

各部の名称

外観



内観



雨戸パネルの開け方・閉め方

雨戸パネルの開け方

雨戸パネルをレールにそって押しながら戸袋に収納します。

雨戸パネルの閉め方

戸袋から雨戸パネルを引き出し、レールにそって動かします。

雨戸パネルのはずし方

- ①雨戸パネルをはずれ止めのない位置まで移動します。または、はずれ止め固定ねじをはずして、はずれ止めをスライドさせてください。
- ②雨戸パネル全体を上を持ち上げます。
- ③下部を手前に引きます。
- ④雨戸パネル全体を下へおろし、外側にはずします。



雨戸パネルをはめる場合は、逆の手順で行なってください。

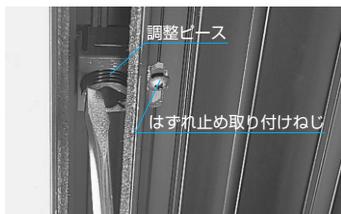
雨戸パネルの調整方法

雨戸パネルはずれ止めの調整(雨戸パネル脱落防止)

雨戸パネルがスムーズに開閉しない場合、下記の調整をしてください。

上下調整

上下調整は(-)ドライバーで、調整ピースを上サルまたは下サルの方向に回転させて、上下調整してください。



左右調整

左右調整は(+)ドライバーで、はずれ止め取り付けねじをゆるめてから、調整を行ない、取り付けねじを締め込んで固定してください。



商品別使用上のご注意・調整方法

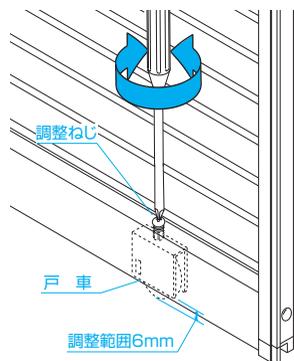
雨戸付引違い窓

戸車の調整(建て付け調整)

雨戸パネルの建て付けがわるくなった場合、戸車の高さ調整をしてください。
戸車の調整は、戸袋と反対側の雨戸パネルから順番に行なってください。

雨戸パネル下框に付いている戸車部分の調整ねじを(+)ドライバーでまわし、戸車の調整を行なってください。

戸車の調整ねじを回転させ調整します。
雨戸パネルを上げたい場合・・・右にまわす(時計まわり)
雨戸パネルを下げたい場合・・・左にまわす(反時計まわり)

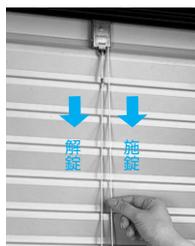


締め錠(上サル・下サル)の操作・調整方法

締め錠(上サル・下サル)がかりにくくなった場合、締め錠受けの位置を調整してください。
※締め錠受けの調整は、戸車の調整(建て付け調整)後に行なってください。

上サル

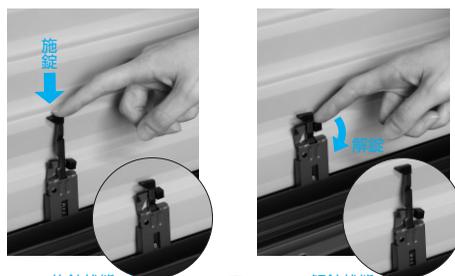
- 左側の操作ロープを下へ引っばると解錠します。
- 右側の操作ロープを下へ引っばると施錠します。



上サル受けの調整
固定ねじをゆるめ、左右に調整してください。
調整後、ゆるめたねじを締めてください。

下サル

- 中央のボタンを下へ押すと施錠します。
- 右側のボタンを下へ押すと解錠します。



施錠状態

解錠状態



下サル受けの調整
固定ねじをゆるめ、左右に調整してください。
調整後、ゆるめたねじを締めてください。

シャッター付引違い窓・窓用単体シャッター・出入口用単体シャッター（手動タイプ）

マディオJ・M・P・S

※電動タイプは、本体表示ラベルのほか、取り扱い説明書が添付されています。

お願い

- 開閉時、周りに人がいないことを確認してください。
手や足をはさまれるおそれがあります。また、開閉中、下を通らないでください。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。
思わぬけがやシャッターが故障するおそれがあります。
- 強風時には、シャッターだけを閉めないでください。
必ずサッシも閉めてください。サッシを閉めクレセントをかけないと、シャッターの破損や漏水のおそれがあります。
- シャッターが凍結している場合は、溶けるまで開閉操作をしないでください。
無理な操作は故障につながる可能性があります。
- 正面ケース（収納部）にのったり、はしごをかけないでください。
無理な重さをかけると、変形して故障したり転落によりけがをするおそれがあります。



各部の名称

外観



シャッターの開け方・閉め方

シャッターの開け方

座板部のレバーを手前に引きロックを解錠し、そのまま上げてください。 ■解錠操作



シャッターの閉め方

座板部を持ち、音がするまで下げてください。自動ロックされます。 ■施錠操作



スライド錠受けの調整（出入口用単体シャッター）

ガイドレールを取りはずすことなく、スライド錠受けの上下調整ができます（スライド錠受けは左右ガイドレールにあります）。

左右いずれかのツマミ部をスライドさせて操作してください。

スライド錠受け調整ねじ



ディンプルシリンダー



ディンプルキー
3本入り

室外側

■解錠操作



■施錠操作



室内側

商品別使用上のご注意・調整方法

フィルター付換気框

マディオJ・M・P・S

フィルターのお手入れ時期と方法

お手入れ時期 換気框に付いている『フィルター』は、換気性を維持するために、目安として『6ヶ月毎』に掃除してください。

フィルターは5回程度洗ったらお取り替えてください。

お手入れ方法 フィルターの取りはずしは、下記の手順ではずしてください。

取りはずしたフィルターの汚れが少量のチリ・ほこりの場合は、軽く手でたたいて落としてください。

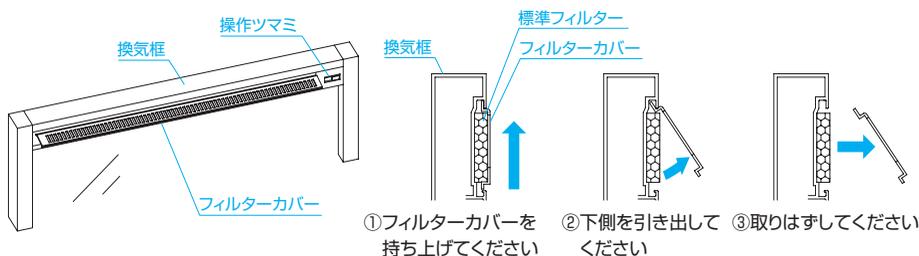
汚れがひどい場合は、フィルターを水か、ぬるま湯に浸けて軽く押し洗いするか、シャワーなどで洗い流してください。

汚れが油性の場合は、食器用中性洗剤を溶かしたぬるま湯をご使用ください。

洗浄後は、自然乾燥（陰干し）をしてください。

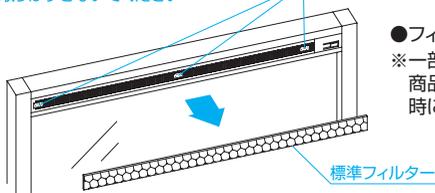
フィルターカバーおよび標準フィルターの取りはずし方法

■フィルターカバーの取りはずし方



■フィルターの取りはずし方

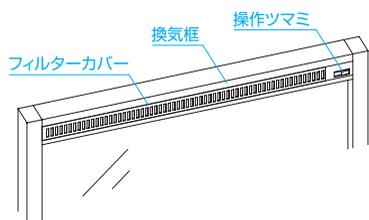
フィルター固定用メカニカルファスナーフック
※取りはずさないでください



●フィルターを取りはずしません。

※一部商品には「メカニカルファスナーフック」を必要としない商品があります。その場合、フィルターカバーを取りはずした時にフィルターも一緒にはずれます。

■フィルターカバー・フィルターの取り付け方



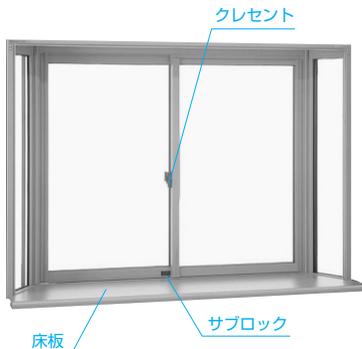
フィルターカバー、フィルターを取り付ける場合は、逆の手順で行なってください。

出 窓

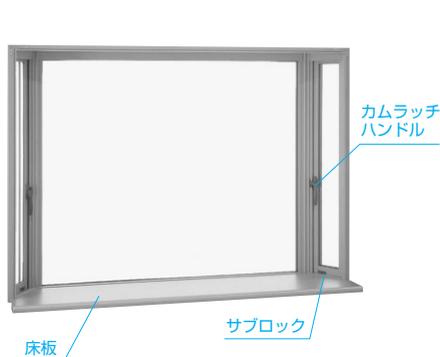
マディオJ・P

各部の名称

内 観 ●引違い窓タイプ



内 観 ●両袖たてすべり出し窓タイプ



お願い

- 床板にはのらないでください。
出窓の破損やけがにつながるおそれがあります。
- 出窓の屋根にのったり、はしごをかけないでください。
無理な重さをかけると、変形したり、転落によりけがををするおそれがあります。



窓の開け方・閉め方

窓の開け方、閉め方は、引違い窓 (P.4)、たてすべり出し窓 (P.15) をご参照ください。

網戸のはずし方

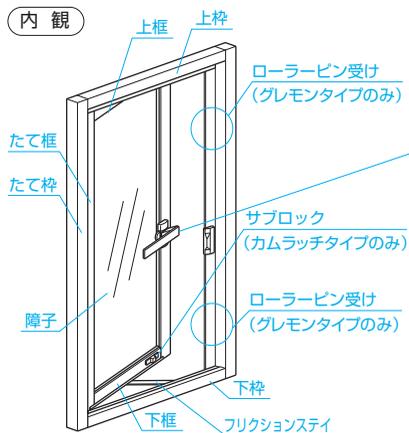
網戸のはずし方は、引違い窓 (P.8)、たてすべり出し窓 (P.16) をご参照ください。

商品別使用上のご注意・調整方法

たてすべり出し窓

マディオJ・P・S

各部の名称

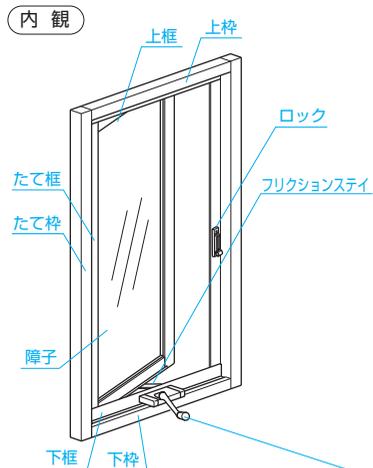


ハンドル

●カムラッチタイプ



●グレモンタイプ



ハンドル

●オペレータータイプ



窓の開け方・閉め方

お願い

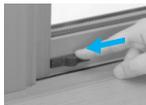
- 風の強い時は窓を閉めて、必ず錠をかけてください。
錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

■カムラッチタイプ

窓の開け方

カムラッチハンドルを回転させて水平にして、ハンドルを持って外へ押し出します。

●サブロックの操作方法



指でツマミをスライドさせて施錠します。
※サブロックだけの施錠はやめてください。ハンドルロックとの併用によって効果を発揮します。

窓の閉め方

カムラッチハンドルを持って、手前に引き、ハンドルを回転させて下に下げます（ロックがかかります）。

■グレモンタイプ

窓の開け方

グレモンハンドルを回転させて水平にして、ハンドルを持って外へ押し出すと窓が開きます。

窓の閉め方

グレモンハンドルを持って、手前に引き、ハンドルを回転させて下に下げます（ロックがかかります）。

■オペレータータイプ

窓の開け方

- ①ロックのツマミを上にあげ、ロックを解錠します。
- ②オペレーターハンドルを開の方向にまわして開きます。

窓の閉め方

- ①オペレーターハンドルを閉の方向にまわします。
- ②閉めた後は必ずロックを下に下げしっかりとロックします。

●ロックの操作方法



ロックした時



ロックをはずした時

※ロックは必ずかけてください。
かけないと性能が確保できません。

商品別使用上のご注意・調整方法

たてすべり出し窓

調整方法

■グレモンタイプ

錠がかからない、または閉めても障子がガタつく場合、サッシ枠に付いているローラーピン受けのねじをゆるめ、調整してください。
調整後、ゆるめたねじを締めてください。

●ローラーピン受けの調整



網戸のはずし方

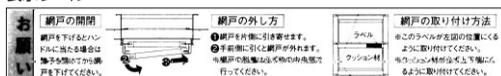
■上げ下げ網戸（カムラッチタイプ・グレモンタイプ用）

網戸を片側に押し付け、手前に引き、はずします。

※網戸の脱着は、必ずたて枠の中央部で行なってください。

網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

表示ラベル



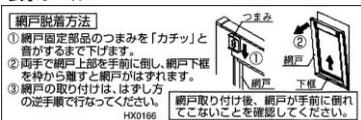
■固定網戸（オペレータータイプ用）

①網戸上框両端のつまみを下へ下げて、網戸を手前に倒します。

②網戸下框を下枠からはずしてください。

網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

表示ラベル



■ロール網戸（左右開閉タイプ）

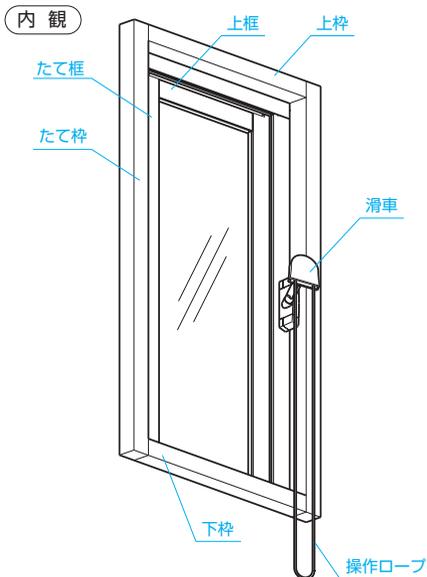
ロール網戸（左右開閉タイプ）「操作・調整方法」（P.68・69）をご参照ください。

高所用たてすべり出し窓(手動タイプ)

マディオJ・P

※簡易電動タイプは、本体表示ラベルのほか、取り扱い説明書が添付されています。

各部の名称



窓の開け方・閉め方

滑車+操作ロープ



窓の開け方・閉め方

操作ロープを引いて、開閉操作します。また、窓を閉める際は、操作ロープが動かなくなるまで閉めきってください。(ロックがかかります)

お願い

- 風の強い時は窓を必ず閉めきってください。
閉めきらないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

網戸のはずし方

たてすべり出し窓(オペレータータイプ用)の固定網戸(P.16)をご参照ください。

商品別使用上のご注意・調整方法

上げ下げ窓（下障子可動タイプ）

マディオJ・P

各部の名称

内 観



窓の開け方・閉め方

窓の開け方

- ①開けるときは、サブロックと中央のクレセントを解錠してください。
- ②把手を持って、障子を上に上げてください。

窓の閉め方

閉めるときは、把手を持って、障子を下におろし、クレセントをかけてください。

- ・障子が固定されたことを確認して手を離してください。
- ・閉じる時、必ず把手をつかんで操作してください。



●サブロックの操作方法



たて框のサブロックを、指で押してロックします。
※サブロックだけでの施錠はやめてください。
クレセントとの併用によって効果を発揮します。

窓の清掃の仕方

●下記手順により、窓を開け、清掃してください。

●清掃後の建て込みについて

ガラス外面の清掃手順については、表示ラベルに従って、障子をはめ込んだ後、障子はずれないことを確認してください。

また、操作手順に従い、確認しないと、障子が倒れてくるおそれがあります。

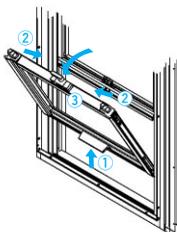
※清掃時の内倒し機構です。通風用には使用しないでください。

●内倒し機構



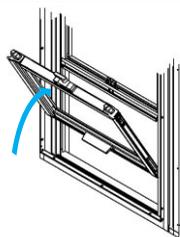
●障子の内倒し方

- ①障子を2～3cm上げた状態にします。
- ②左右のつまみを内側に引き寄せます。
- ③障子を室内側に静かに倒します。



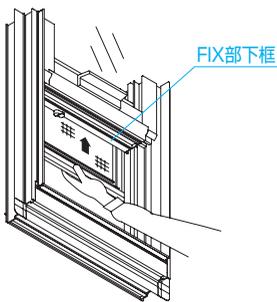
●障子のもどし方

- ①障子を起こし、サッシ枠に音がするまで、押し付けます。
- ②障子の上部を持ち、手前に引き、はずれないことを確認してください。

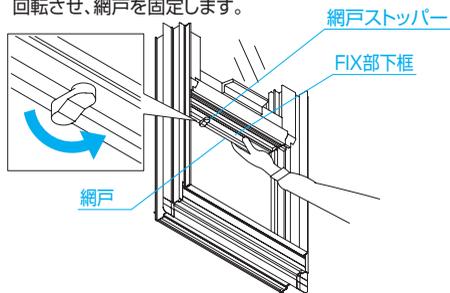


網戸の固定方法

①網戸をFIX部下框の高さまで上げます。



②網戸を支えながら、FIX部下框に付いている網戸ストッパーを回転させ、網戸を固定します。



網戸をもとにもどす場合は、逆の手順で行なってください。

網戸のはずし方

注意

！ お手入れなどのために網戸をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。

■上げ下げ窓用網戸

①網戸を上げ、網戸下框下面の両端にあるねじAをゆるめ、はずれ止め部品Bをスライドさせてはずれ止めを解除してください。

②網戸を片側に引き寄せます。

③室外側に押し出すと網戸がはずれます。

※網戸を取り付ける際は必ず網戸を上下に軽く動かし、ひっかかりがないことを確認してから下におろしてください。



網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

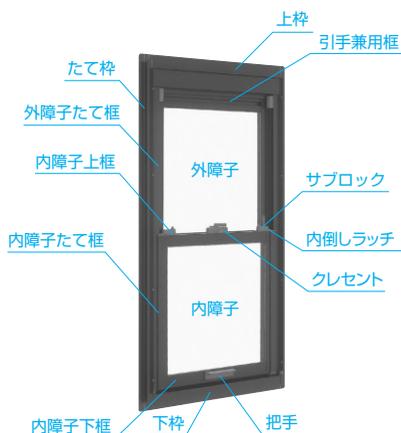
商品別使用上のご注意・調整方法

上げ下げ窓(上・下障子可動タイプ)

マディオJ・P

各部の名称

内 観



窓の開け方・閉め方

開けるときは、内障子の下部中央の把手を持って、開けてください。

外障子上部の枠は、引手形状になっています。

引手を下げて開けてください。

- ・ 障子が固定されたことを確認して手を離してください。
- ・ 閉じる時、必ず把手をつかんで操作してください。

障子を閉める場合は、逆の手順で行なってください。



●内障子
把手で上げてください。

●外障子
引手兼用枠を下げてください。

●サブロックの操作方法

上げ下げ窓(下障子可動タイプ) (P.18)をご参照ください。

窓の清掃の仕方

上げ下げ窓(下障子可動タイプ)(P.19)をご参照ください。

網戸のはずし方

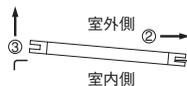
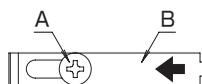
⚠ 注意

！ お手入れなどのために網戸をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。

■固定網戸

- ① 網戸上框の両端にあるAのねじをゆるめ、Bの金具(2箇所)を窓のたて枠と反対方向へ動かなくなるまでずらします。
- ② 網戸を片側へ引き寄せます。
- ③ 室外側へ押し出すと網戸がはずれます。

(はずれ止めの解除の仕方)



網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

商品別使用上のご注意・調整方法

ガラスルーバー窓・ダブルガラスルーバー窓（手動タイプ）

マディオJ・P・S

※簡易電動タイプは、本体表示ラベルのほか、取り扱い説明書が添付されています。

各部の名称

内 観



ガラスルーバーの開け方・閉め方

■オペレーター（握り式）ハンドルタイプの場合

オペレーター（握り式）ハンドルを回転させ、ルーバーを開け閉めします。

また、ルーバーを閉める際はオペレーター（握り式）ハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

■高所用オペレータータイプの場合

操作ロープを引いて、ルーバーを開け閉めします。また、ルーバーを閉める際は、操作ロープが動かなくなるまで閉めきってください。



●オペレーターハンドル



●握り式ハンドル（オプション）



●高所用オペレーター（オプション）



●折りたたみ式オペレーターハンドル（オプション）

網戸のはずし方

たてすべり出し窓（オペレータータイプ）（P.16）をご参照ください。

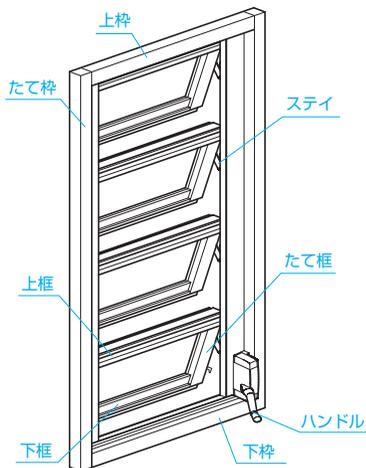
オーニング窓・すべり出し窓 オペレーター(手動タイプ)

マディオJ・P

※簡易電動タイプは、本体表示ラベルのほか、取り扱い説明書が添付されています。

各部の名称

内 観



窓の開け方・閉め方

■オペレーターハンドルタイプの場合

窓を閉める際は必ず施錠状態にしてください。
施錠状態にするためには、障子が閉まった後もオペレーターハンドルの回転が止まるまで回してください。オペレーターハンドルの回転が止まったら、それ以上無理に回さないでください。故障の原因になります。



●オペレーターハンドル

■高所用オペレータータイプの場合

窓を閉める際は必ず施錠状態にしてください。
施錠状態にするためには、障子が閉まった後も操作ロープの回転が止まるまで回してください。操作ロープの回転が止まったら、それ以上無理に回さないでください。故障の原因になります。



●高所用オペレーター(オプション)

網戸のはずし方

たてすべり出し窓(オペレータータイプ)(P.16)をご参照ください。

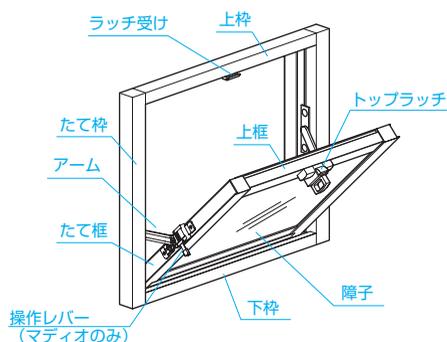
商品別使用上のご注意・調整方法

内倒し窓

マディオJ・P

各部の名称

内 観



窓の開け方・閉め方

- 障子を開く時は、障子が止まるまで必ず手を添えてください。

窓の開け方

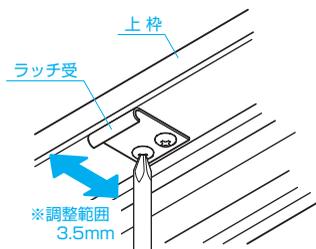
トップラッチを下げてください。

窓の閉め方

障子上部を押しながらトップラッチが完全にかかるまで押します (ロックがかかります)。

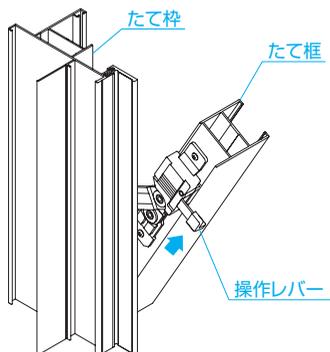
ラッチ受けの調整

トップラッチのかけがいが悪い場合は、上枠のラッチ受けを前後させて調整してください。



窓の清掃の仕方

- ①障子を全開まで開きます。
- ②障子を支えながら左右のたて枠に付いている操作レバーを同時に上へ引き上げ、さらに障子をゆっくり倒します。



障子をもどす場合は、逆の手順で行なってください。

- 通常使用時の状態に復帰しなかった場合は、①②の操作を繰り返してください。

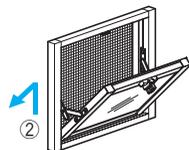
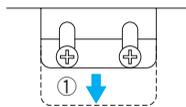
網戸のはずし方

⚠ 注意

- ⚠ お手入れなどのために網戸をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、必ずはずれ止め金具を付けてください。
網戸がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

- ①上框のはずれ止め金具をドライバーでゆるめてください。
- ②はずれ止めを下げ、網戸を持ち上げはずします。

はずれ止め金具



網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

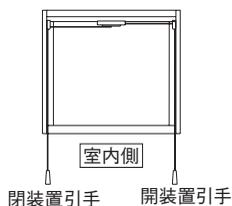
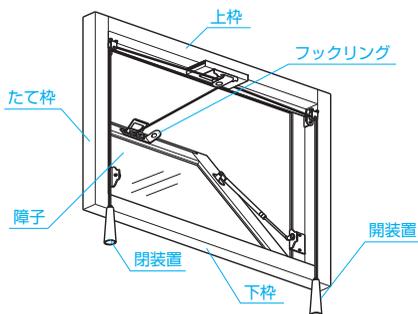
商品別使用上のご注意・調整方法

外倒し窓

マディオJ・P・S

各部の名称

内 観



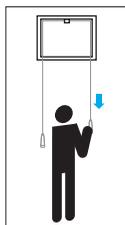
窓の開け方・閉め方



窓の開閉は、開装置および閉装置の引手を引くことで操作できます。

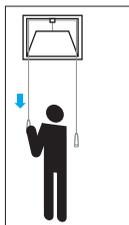
窓の開け方（開装置）

開装置の引手を下に引くと、障子が室外側に倒れ窓が開きます。



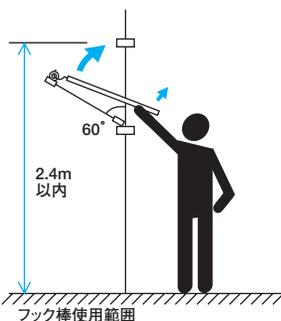
窓の閉め方（閉装置）

閉装置の引手を引くと窓は閉まります。



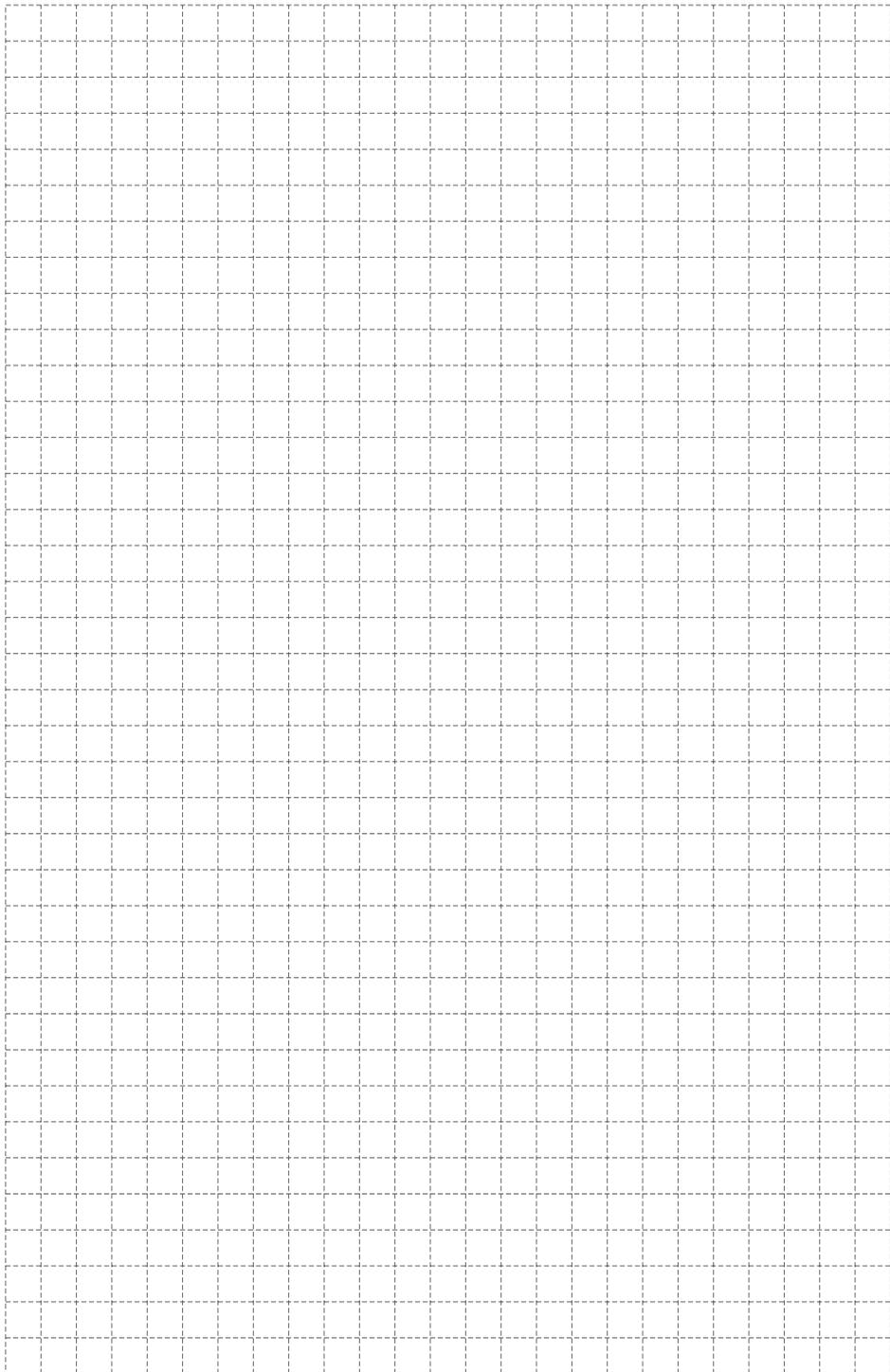
●フック棒の場合

窓の閉操作は、フックリングにフック棒を引っ掛けてください。



網戸のはずし方

たてすべり出し窓（オペレータータイプ）（P.16）をご参照ください。



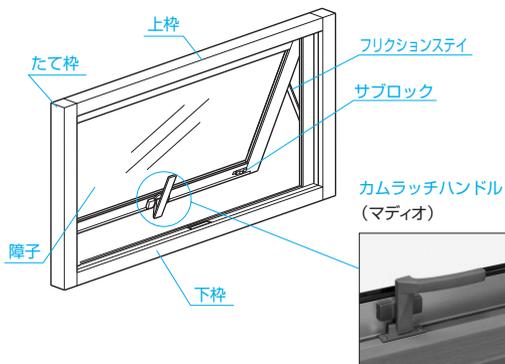
商品別使用上のご注意・調整方法

すべり出し窓 カムラッチ／大採光すべり出し窓 グランフレム

マディオJ・P・S

各部の名称

内 観



窓の開け方・閉め方

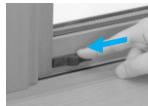
窓の開け方

カムラッチハンドルを回転させて垂直にし、ハンドルを持って外へ押し出すと、窓が開きます。

窓の閉め方

カムラッチハンドルを手前に引き、ハンドルを水平に回転させると窓が閉まります（ロックがかかります）。

●サブロックの操作方法



指でスライドさせて施錠します。
※サブロックだけの施錠はやめてください。ハンドルロックとの併用によって効果を発揮します。

窓の清掃の仕方

下記の手順により、窓を開け、清掃してください。

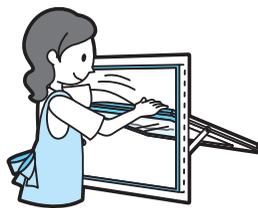
①窓を開く



②左側の解除ツマミを解除し、
窓が止まる角度まで開く



③外面を清掃する



※窓の開く角度は、窓の高さによって異なります。

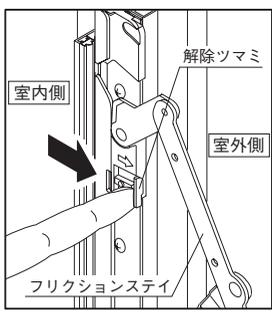
解除ツマミ解除方法

●窓を開く場合

窓を開いた状態で、解除ツマミを矢印方向へ押しながら、さらに窓を外へ押し出してください。

●窓を閉じる場合

解除ツマミを矢印方向へ押しながら、窓を少し手前に引き、解除ツマミから手をはなし、さらに窓を閉じてください。



※大採光窓グランフレムには解除ツマミはありません。

最大開き幅は100mmで、室内側から外面ガラスの清掃はできません。

網戸の操作・調整方法

■ロール網戸（左右開閉タイプ）

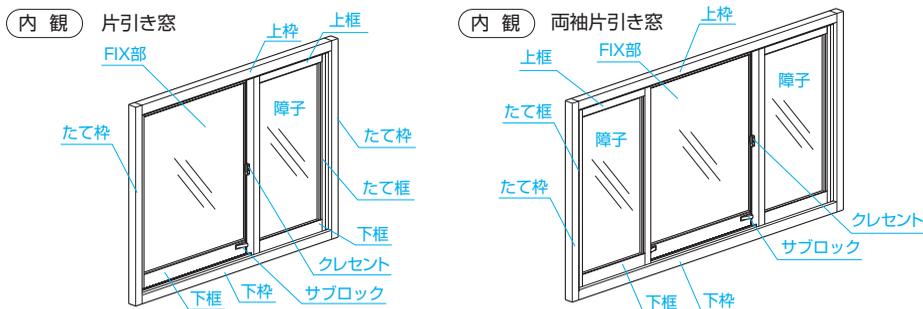
ロール網戸（左右開閉タイプ）「操作・調整方法」(P.68・69)をご参照ください。

商品別使用上のご注意・調整方法

片引き窓・両袖片引き窓

マディオJ・P

各部の名称



■FIX部のストッパー位置

FIX部は外障子ストッパーをはずすと可動させることができます。

●片引き窓



●両袖片引き窓



窓の開け方・閉め方

窓の開け方

引違い窓 (P.4) をご参照ください。

窓の閉め方

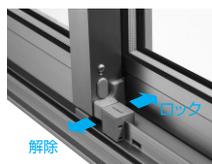
引違い窓 (P.4) をご参照ください。

FIX部の動かし方

- ・FIX部下部の外障子ストッパーを解除すると、FIX部を動かすことができます。
- FIX部を動かし清掃した後は必ずもとにもどし外障子ストッパーをかけてください。
- マディオ (窓タイプ・テラスタイプ)

※窓の種類によってロックと解錠の向きが異なります。

部品にロック・解除の刻印がしてありますのでご参照ください。



調整方法

障子のはずれ止めの調整

障子のはずれ止めの調整は、引違い窓 (P.6) をご参照ください。

網戸のはずし方

引違い窓 (P.8) をご参照ください。

お願い

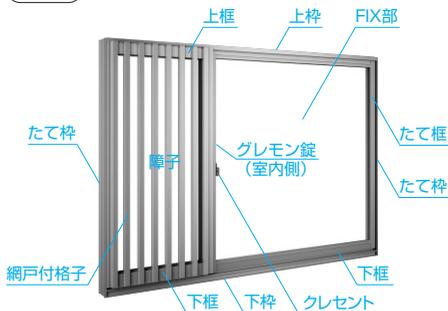
- お手入れなどのために障子をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
- はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

採風格子窓 ウィンカム (片引き窓タイプ・両袖片引き窓タイプ)

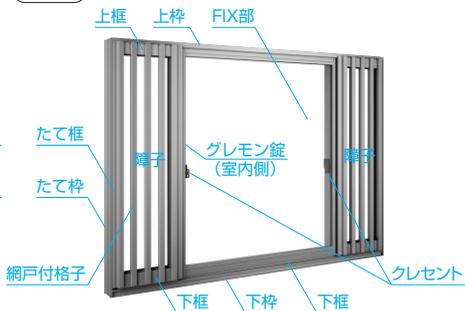
マディオJ・P

各部の名称

外観 片引き窓タイプ



外観 両袖片引き窓タイプ



※枠、障子については、片引き窓・両袖片引き窓 (P.30) をご参照ください。

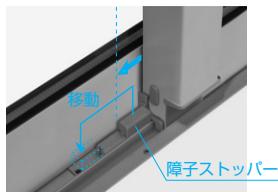
窓の開け方・閉め方

片引き窓・両袖片引き窓 (P.30) をご参照ください。

網戸付格子の開け方・閉め方

網戸付格子の開け方

下枠の障子ストッパーを移動させ、網戸付格子のグレモン錠を解除し、網戸付格子を開きます。



網戸付格子の閉め方

網戸付格子を閉め、網戸付格子のグレモン錠を施錠し、下枠の障子ストッパーを移動します。



●網戸付格子の丁番の調整の際は、必ず施工された業者様にご相談ください。

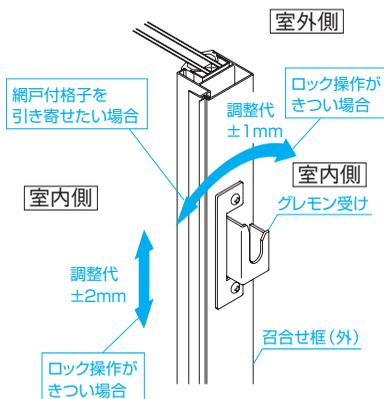
商品別使用上のご注意・調整方法

採風格子窓 ウィンカム (片引き窓タイプ・両袖片引き窓タイプ)

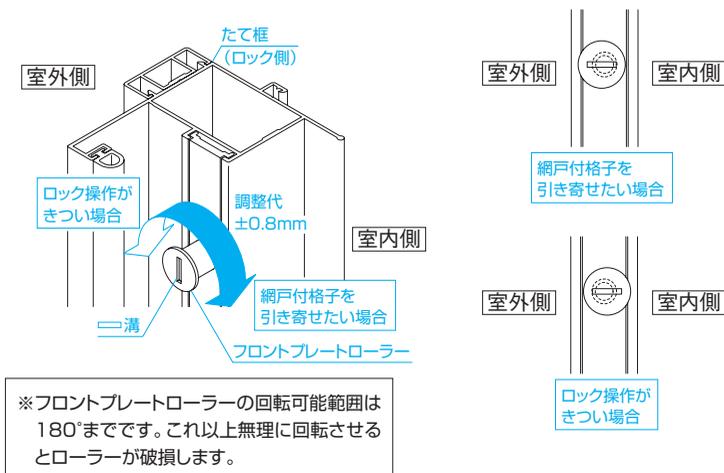
網戸付格子の建て付け調整

●グレモン受けの調整

①ロックの操作がきつかったり、網戸付格子の施錠時の引き寄せがゆるい場合には、召合せ框(外)のグレモン受け取り付けねじをゆるめてグレモン受け位置をずらし、施錠時にスムーズにロックの操作ができ、かつ網戸付格子にガタつきが無いように調整してください。調整後、ゆるめたねじを締めてください。



②①の作業で調整が不十分な場合は、網戸付格子のたて框(ロック側)のフロントプレートローラーの溝を(-)ドライバーなどで回転させるとさらに引き寄せ調整を行なうことができます。



採風格子窓 ウィンカム（上げ下げ窓タイプ）

マディオJ・P

各部の名称

外 観



内 観



窓の開け方・閉め方

採風勝手口ドア「上げ下げ障子の開け方・閉め方」(P.60)をご参照ください。

施錠装置の調整

採風勝手口ドア「施錠装置の調整」(P.61)をご参照ください。

網戸のはずし方

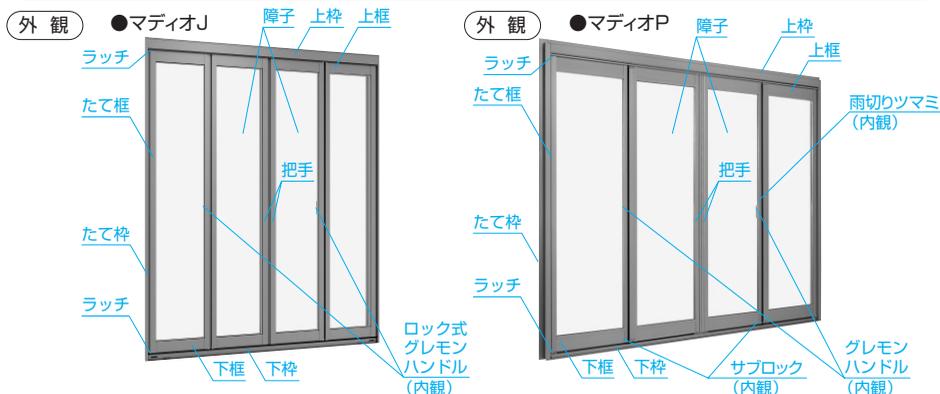
たてすべり出し窓（オペレータータイプ）(P.16)をご参照ください。

商品別使用上のご注意・調整方法

フルオープン折りたたみ窓

マディオJ・P

各部の名称



窓の開け方・閉め方

窓の開け方

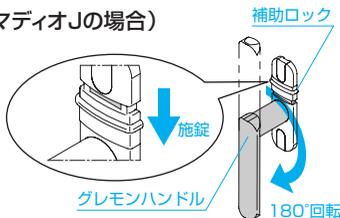
- マディオJの場合・・・グレモンハンドルの補助ロックを解除します。
マディオPの場合・・・サブロックと雨切りツマミを解除します。
- グレモンハンドルを180°回転させて上向きにしてハンドルを持って軽く外へ押し出します。
- 把手を持って障子を折りたたんで開きます。

窓の閉め方

- 把手を持って障子を閉じます。
- グレモンハンドルを持って障子を手前に引き寄せハンドルを180°回転させて下向きにします。
(ロックがかかります)
- マディオJの場合・・・グレモンハンドルの補助ロックを指でスライドさせてセットします。
マディオPの場合・・・サブロックと雨切りツマミを指でスライドさせてセットします。

●補助ロックの操作方法 (マディオJの場合)

指でツマミをスライドさせて施錠します。



●サブロックの操作方法 (マディオPの場合)

指でツマミをスライドさせて施錠します。
※サブロックだけの施錠はやめてください。
ハンドルロックとの併用によって効果を発揮します。

表示ラベル

ハンドルの操作について

●ハンドルはガラス障子がまっすぐな状態で確実に180°まわしてください。

(開) (閉)
180°回転

●ガラス障子を閉める際は必ずハンドルを持って閉めてください。

●開閉途中の無理なハンドル操作はロック部品の破損をまねくおそれがありますのでおやめください。

注意

●ガラス障子の開閉が軽いため、半開状態では、風により動く場合があります。

●開放時は、半開状態にせずに全開状態で必ずキャッチをセットしてください。

開放時、キャッチをセットしてください。

注意

お客様へ
「開」の状態で、ガラス障子を閉めようとして、ハンドルを強く握ると、ガラス障子が破損するおそれがあります。

ハンドル操作は、ムリにおこなわないでください。ハンドルが破損するおそれがあります。

ハンドル操作はガラス障子をきちんと閉める状態であることを確認しておこなってください。

180°回転

障子を完全に閉めるには必ず「サブロック」をセットしてください。

←

障子を閉める前にサブロックを必ず「開」の状態(解除)に戻して下さい。

●雨切りツマミの操作方法(マディオPの場合)

指でツマミをスライドさせてセットします。
 グレモンハンドル上部の雨切りツマミを操作すると、上枠の雨切り弁が障子の外側からフタをし、高い水密性を確保します。



表示ラベル

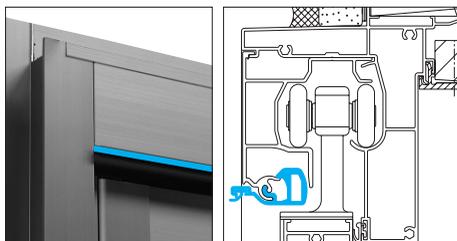
雨切りツマミの操作について

- 雨切りツマミは雨風の強いときにガラス障子を全閉しハンドルをロックしたあとにセットしてください。

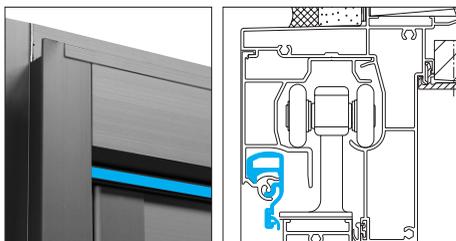


0300

雨切り弁が開いた状態(ツマミ下:解除)



雨切り弁が閉じた状態(ツマミ上:セット)



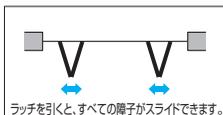
窓の清掃の仕方

たて框上下部のラッチを引き、障子を枠からはずし左右にスライドできる状態にしてから室内側よりガラスやレールの清掃を行なってください。

ラッチ操作時



障子スライド時



表示ラベル

お掃除のとき



上下ラッチのツマミを引いたまま吊元框をたて枠からはずします

- お掃除が終わりましたら吊元框をもとに戻してください

0301

商品別使用上のご注意・調整方法

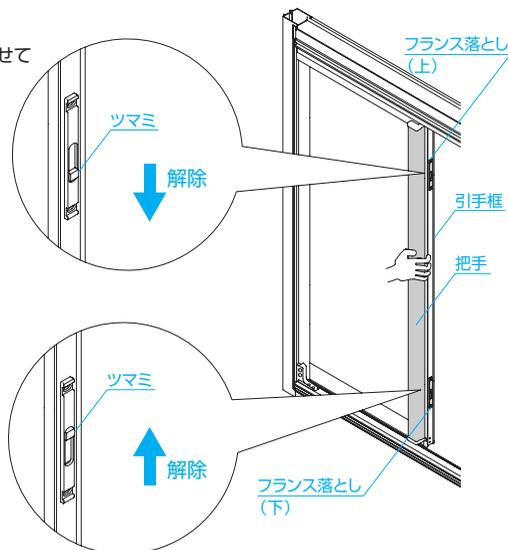
フルオープン折りたたみ窓

マディオJ・P

ガラス袖障子の開け方（マディオJの場合）

- ①上下のフランス落としを解除してください。
上部は下方向、下部は上方向へツマミをスライドさせてください。

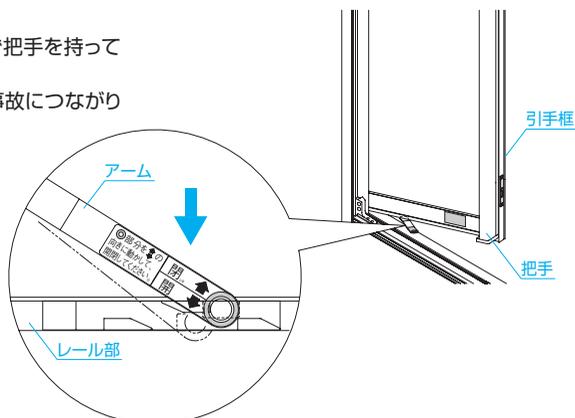
ツマミのスライドが硬い場合は、把手を内観側に引き寄せながら行なうと簡単に動かせます。



- ②把手を持ってガラス袖障子を開いてください。
途中、安全のためにガラス袖障子がストップします。
その際は、アームを「開く▼」方向に動かした状態でガラス袖障子を開いてください。

⚠️ 注意

- ⚠️ アーム操作をする際には、必ず把手を持って操作してください。
手や指を挟み、思わぬけがや事故につながります。

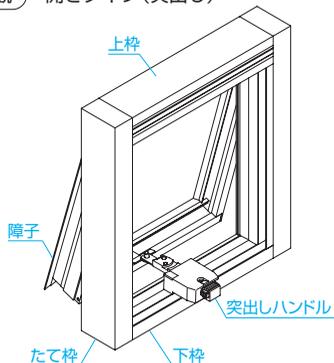


ガラス袖障子を閉める場合は、逆の手順で行なってください。

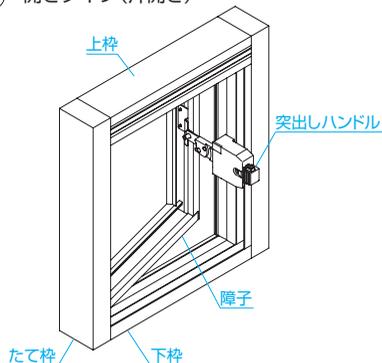
アクセントシリーズ 開きタイプ

各部の名称

内観 開きタイプ(突出し)



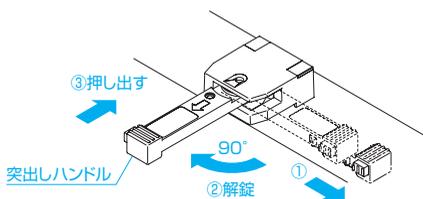
内観 開きタイプ(片開き)



窓の開け方・閉め方

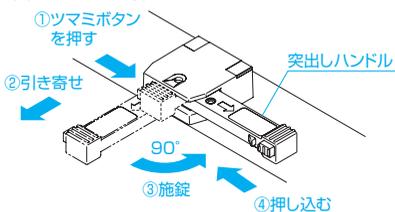
窓の開け方

- ① 突出しハンドルを横に引っ張ってください。
- ② 突出しハンドルを90°回転させてください。
- ③ 突出しハンドルを押して障子を押し出してください。



窓の閉め方

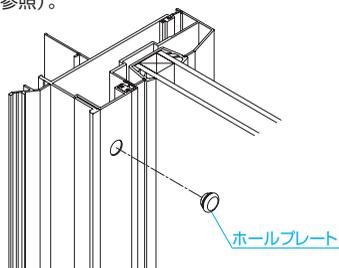
- ① ツマミボタンを押して、障子の固定を解除してください。
- ② 突出しハンドルを手前に引っ張り、障子を室内側へ引き寄せてください。
- ③ 手前に引きながら突出しハンドルを90°回転させてください。
- ④ 突出しハンドルを押し込みロックしてください。



網戸のはずし方

- ① 障子を閉めて突出しハンドルを手前にした状態にしてください。
- ② ホールプレートを取りはずして、網戸取り付けねじをゆるめます(下図参照)。
- ③ 網戸全体を手前に倒すようにして、はずします。

網戸をはめる場合は、逆の手順で行なってください。



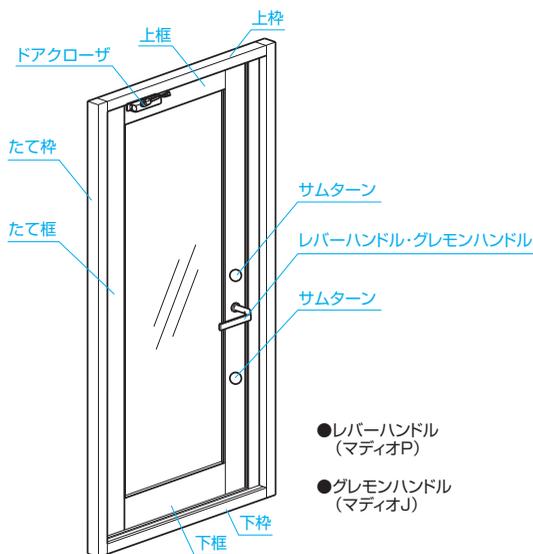
商品別使用上のご注意・調整方法

テラスドア

マディオJ・P

各部の名称

内 観



施錠の操作

※施錠の操作については、採風勝手口ドア (P.59) をご参照ください。

お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

ドア部品の操作・調整方法

※ドアクローザについては、玄関ドア (P.47) をご参照ください。
その他の操作・調整については、採風勝手口ドア (P.60) をご参照ください。

窓手すり

お願い

- 窓手すりに無理な力をかけないでください。十分に強度を配慮して設計・製作されていますが、人が乗ったり、身を乗り出すなど無理な力が加わると、落下・転落のおそれがあります。



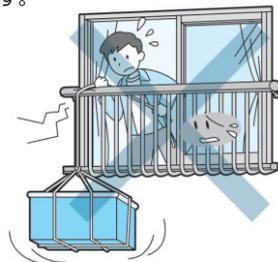
下記のような不具合がないかどうか、お手入れの時に点検してください。

不具合がありましたら、施工された業者にご相談ください。

- ・手すり格子が折れ曲がり、すき間が広がっている。
- ・手すり格子をとめているねじがゆるんでいる。
- ・手すり格子がはずれている。
- ・手すりユニットを手でゆするとグラグラする。
- ・手すりユニットの各部および部品が腐食している。

お願い

- 窓手すりにロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。



フラワーボックス（花台・窓手すり）

⚠注意

- ❌フラワーボックス（花台）には絶対のらないでください。また、エアコンの室外機などの重量物を置かないでください。無理な重さをかけると、落下・転落につながるおそれがあります。



下記のような不具合がないかどうか、お手入れの時に点検してください。

不具合がありましたら、施工された業者にご相談ください。

- ・格子が折れ曲がり、すき間が広がっている。
- ・格子をとめているねじがゆるんでいる。
- ・格子がはずれている。
- ・フラワーボックスユニットを手でゆするとグラグラする。
- ・フラワーボックスユニットの各部および部品が腐食している。

お願い

- フラワーボックス（花台）にロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。



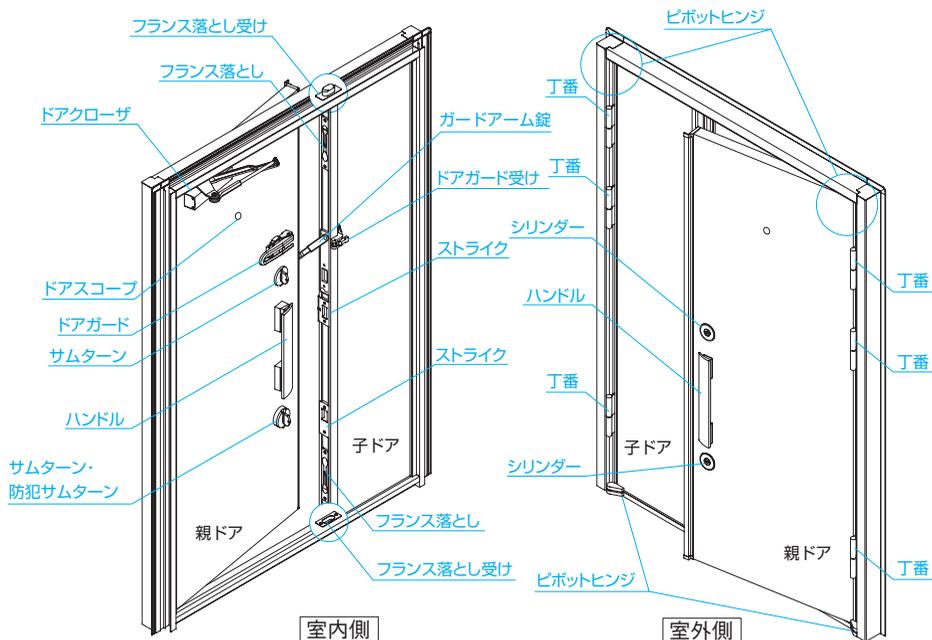
商品別使用上のご注意・調整方法

玄関ドア

お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをされるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをされるおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

各部の名称



- **ドアガード**
来訪者確認用であり、錠ではありません。
※一部の商品に採用しています。
- **ガードアーム錠**
来訪者確認用です。
※一部の商品に採用しています。
- **シリンダー**
室外側から施錠をします。
- **サムターン・防犯サムターン**
室内側から施錠をします。
- **ストライク**
ドアを閉める際や、施錠した際に出る突起(ラッチ・錠)を受ける金具です。
- **フランス落とし**
子ドアを固定する金具です。

- **ドアクローザ**
ドアの閉じる速度を調整する働きをします。
- **ハンドル**
- **丁番**
ドアを枠に吊り込む金具です。
- **ビボットヒンジ**
ドアを枠に吊り込む金具です。
※一部の商品に採用しています。
- **ドアスコープ**
室内側から来訪者の確認ができます。
※一部の商品に採用しています。

開き勝手について		
	片開きドアの場合	親子ドアの場合
右勝手(R)	室内側 室外側	室外側
左勝手(L)	室内側 室外側	室外側

- 親ドアは室外側から見て吊り元(▲)が右にあるものが右勝手(R)、吊り元(▲)が左にあるものが左勝手(L)です。
- 子ドアは室外側から見て吊り元(▲)が左にあるものが右勝手(R)、吊り元(▲)が右にあるものが左勝手(L)です。

ドア部品の操作方法

お願い

- シリーズにより仕様(ガードアーム錠・ドアガード)が異なりますのでご注意ください。
- ガードアーム錠や、ドアガードは在宅時の「来訪者確認用」です。
ドアガードを固定することで防犯上補助的な役割をはたしますが錠ではありません。
就寝時などには防犯のため必ず施錠していただくようお願いいたします。

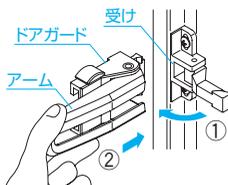
1. ドアガードの操作方法

ラフォース・プロセレーネ

サブロックを操作することで、内締りとしてドアガードのアームを固定し、ドアの動きを規制することができます。
この場合ドアはわずかに開きますが、上下の錠と合わせて使用することにより、防犯上の補助的な役割をはたしますが錠ではありません。

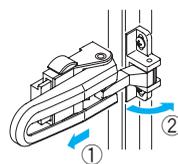
かけ方

- ①ドアを閉じた状態で、受けをドア側に倒します。
- ②ドアガードのアーム上下側面を指ではさみ、受け側にスライドさせ、受けにかけます。



はずし方

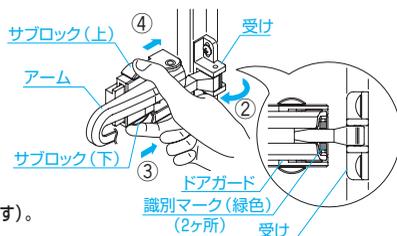
- ①ドアを閉じた状態で、アームを元に戻します。
- ②受けを元に戻します。



ドアガードの固定方法(内締りとしてご使用の場合)

固定方法

- ①ドアを閉め、サムターンで上下とも施錠してください。
- ②ドアガードの受けをドア側に倒します。
- ③ドアガードのアーム上下側面を指ではさみ、受け側にスライドさせ、受けにかけます。
- ④上下にあるサブロックを指ではさみ、受け側にスライドさせます。
固定の確認は固定時に見える識別マークで行ないます。

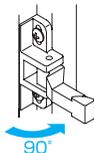


解除方法

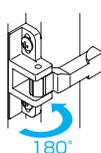
- ①ドアを閉じた状態で、アームを元に戻します(受けと反対側へスライドさせます)。この際、サブロックも同時に元に戻ります。
- ②受けを元に戻します。

ドアガードを使用しない場合は、ドアガード受けの突起を必ず元に戻してください。

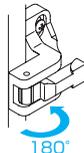
■片開きドアの場合



■袖FIX片開きドア・両袖FIX片開きドアの場合



■親子ドアの場合



お願い

- 片開きドアの場合は、ドアガード受けは90°の位置で止めてください。
90°で止めないと、ドアガード受けが窓枠まで当たって傷をつけるおそれがあります。
- 袖FIX片開きドア、両袖FIX片開きドア、親子ドアの場合は、ドアガード受けは180°の位置で止めてください。
180°で止めないと、出入りの際、受けの突起で洋服を引っ掛けたり、けがをするおそれがあります。

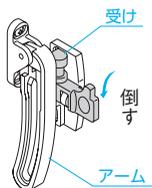
商品別使用上のご注意・調整方法

玄関ドア

バラード

かけ方

ドアを開いた状態で、受けを倒します。



はずし方

ドアを開いた状態で、受けを起こします。



ドアガード未使用時



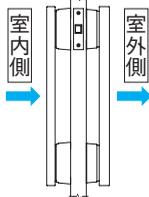
ドアガード使用時

2.ハンドルの操作方法

ハンドルにはいくつかの種類があり、使用方法が異なります。

お使いのハンドルの使用方法をご確認ください(→がハンドルの動く方向です)。

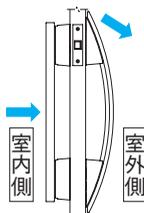
プレートタイプ/ロングバータイプ



※本図はプレートタイプ
(室内側アルミ製)です。

室外側

アーチタイプ/バータイプ

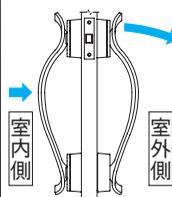


※本図はアーチタイプ
(室内側アルミ製)です。

室外側

洋風タイプ/欧風タイプ/レトロタイプ

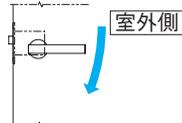
ハンドル操作時、下台座部とドア本体表面にすき間ができませんが構造上のものです。ハンドル自体はドア本体に確実に固定されていますので、ご安心してご使用ください。



※本図は洋風タイプ
(室内側アルミ製)です。

室外側

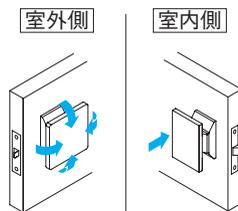
レバータイプ/欧風レバータイプ/洋風レバータイプ



※本図はレバータイプです。

室外側

クワッドプレートタイプ



室外側

3.サムターンの操作

■通常サムターンの操作方法

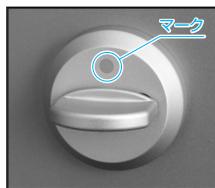
[施解錠の操作]

サムターンを90°まわすと、施錠します。
施解錠の確認は、施錠時に見えるマークで確認できます。
右勝手の場合……左にまわす(反時計まわり)
左勝手の場合……右にまわす(時計まわり)

外出・就寝時など施錠する際には、防犯のため、必ず
上下両方の錠をかけてください。



解錠時



施錠時

■防犯サムターンの操作方法

- 一部防犯サムターンを装備していない商品もあります。
- 防犯サムターンのタイプにより操作方法が異なりますのでご注意ください。

着脱タイプの場合

お願い

- 在宅時に防犯サムターンのツマミをはずしてご使用の場合は、ツマミを常にドアの近くに置いてください。緊急時にははずしたツマミがないと施解錠の操作ができず、外に出られなくなるおそれがあります。
- サムターンの予備が1つありますので、ドア付近の決められた場所に保管し緊急時にいつでもご使用できる状態にしてください。

[施解錠の操作]

通常サムターンと同様に行なってください。

ガラスを割ってサムターンを操作し侵入する「ガラス破り」を防ぐため、下側のツマミは脱着できます。

- 施解錠の確認は識別マークで行ないます。緑色は施錠時、黄色は解錠時を示します。
- 施錠時または解錠時、どちらの場合でもツマミの脱着はできます。

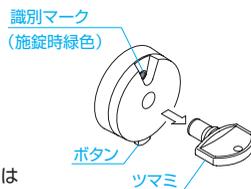
■下部ボタン有の場合

[ツマミのはずし方]

下側にある白いボタンを押しながら、ツマミを抜いてください。

[ツマミの取り付け方]

- ① 識別マークの色を確認してください。
- ② 下側にある白いボタンを押しながら、ツマミを取り付けてください。
施錠時(識別マーク:緑色)にはツマミを横に、解錠時(識別マーク:黄色)にはツマミをたてにして、取り付けてください。



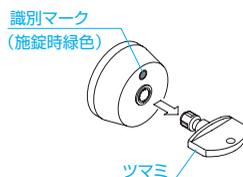
■下部ボタン無の場合

[ツマミのはずし方]

サムターンのツマミを手前に抜いてください。

[ツマミの取り付け方]

- ① 識別マーク色を確認してください。
- ② 施錠時(識別マーク:緑色)にはツマミを横に、解錠時(識別マーク:黄色)にはツマミをたてにして、取り付けてください。



ツマミを取り付ける際は、ツマミの向きに注意し、奥まで確実に挿入してください。
向きが異なると正しく取り付けできず、ツマミが破損し、施解錠できなくなるおそれがあります。また、ツマミを取り付けた後は、施解錠が正しく行なえるかを確認してください。

商品別使用上のご注意・調整方法

玄関ドア

空転タイプの場合

- 在宅時は室内キーを常にドアの近くに置いてください。
緊急時に室内キーがないと施解錠の操作ができず、外に出られなくなるおそれがあります。

ガラスを割ってサムターンを操作し侵入する「ガラス破り」を防ぐため、下側のサムターンはキー操作によりツマミを空転させ、錠の操作をできなくすることができます。

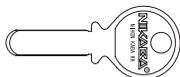
■通常のサムターンとしてご使用の場合

キー（室内キーまたは室内外用キー）を防犯サムターンのシリンダーに差し込み、たての位置にして抜くと、通常のサムターンとして錠の施解錠ができます。



室内キーについて

緊急時や在宅時に防犯サムターンを操作する専用の鍵です。シリンダーを操作することはできません。



※樹脂カバーがありません

室内外用キーについて

防犯サムターンおよびシリンダーを操作することができます。通常はこのキーのみを使用します。

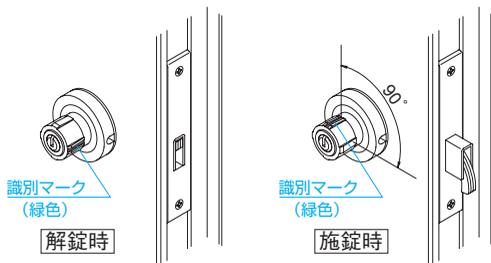


※樹脂カバーが付いています

[施解錠の操作]

- 施解錠の確認はツマミの識別マーク（緑色）の位置で行ないます。解錠時は横、施錠時はたてとなります。
- サムターン（識別マークが横の状態）を90°まわすと施錠できます。

右勝手の場合……左にまわす（反時計まわり）
左勝手の場合……右にまわす（時計まわり）



■防犯サムターンとしてご使用の場合（ツマミを空転させる）

キー（室内キーまたは室内外用キー）を防犯サムターンのシリンダーに差し込み、横の位置にして抜くと、サムターンツマミが空転し、施解錠操作ができません。

外部から不用意に操作されることを防ぐため、防犯サムターンを操作後は必ずキーを抜いてください。



付属キーホルダーを両面シールまたはねじを使用し、ドアの近くの壁または柱に取り付け、室内キーをキーホルダーに入れておくことをお勧めします。

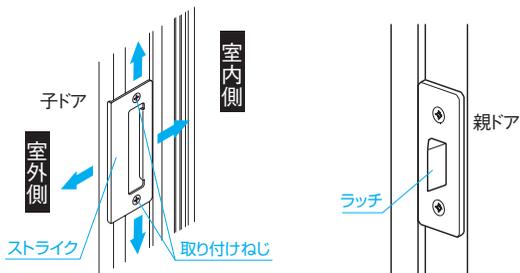


4. ストライクの調整

ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの取り付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。調整後、ゆるめたねじを締めてください。

※なお、ストライクを調整する際、取り付けねじは少しゆるめる程度とし、完全に取りはずさないようご注意ください。
(年代によっては玄関ドアの枠の内部に裏板が付いている商品があり、裏板が落ちると、ストライクが固定できなくなりますのでご注意ください)

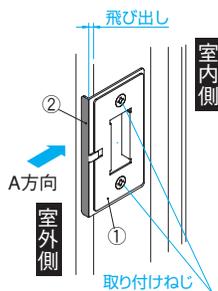
※バラードについては、前後のみ調整できます。



ラフォース・プロセレーネ・ビノーザ

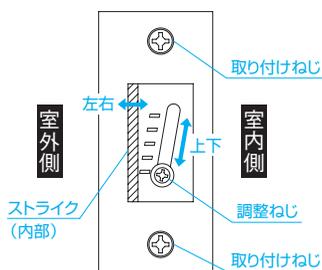
ラッチ錠用のストライクは衣服などの引っ掛けを防ぐため、外部への飛び出しが小さくなるよう①と②とがそれぞれ内外に動きます。

①でストライクの位置の調整を行いますが、その際②を室内側(A方向)に押し当て、行なってください。調整後、ゆるめたねじを締めてください。



ビノーザ(エレガスタイプ 親子ドア・両開きドア)

調整ねじをゆるめて上下に移動させることにより、内部のストライクだけが左右に移動し、調整ができます。調整後、ゆるめたねじを締めてください。



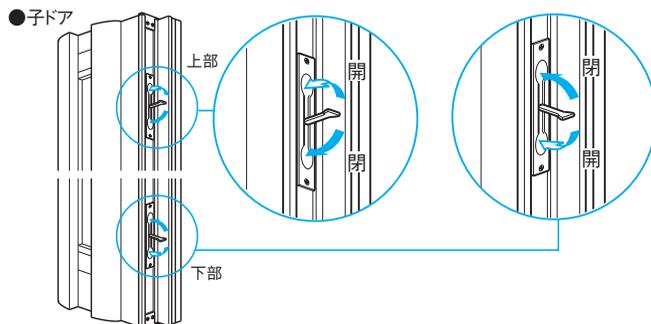
商品別使用上のご注意・調整方法

玄関ドア

5. フランス落としの操作

子ドアには、ガタつきを極力抑えるフランス落としを上下に2箇所装備しています。つまみを上下することで、子ドアの固定・解除ができます。

開→固定
閉→解除



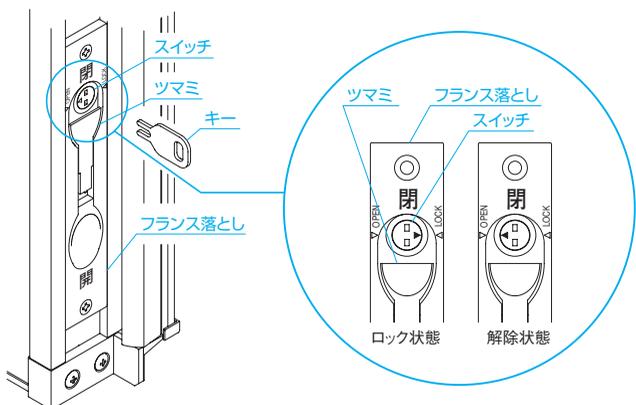
ラフォース・プロセレーネ・ビノーザ

●ロック方法

- ① フランス落としのつまみを「閉」の位置に倒してください。
- ② キーをスイッチに差し込み、押しながらスイッチの▲印を「LOCK」の△印の位置まで右に回転させるとつまみがロック状態になります。

●解除方法

キーをスイッチに差し込み、押しながらスイッチの▲印を「OPEN」の△印の位置まで左に回すとつまみが解除状態になります。

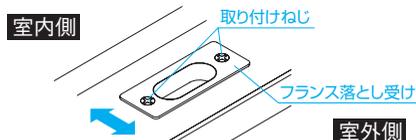


ドア部品の調整方法

1. フランス落とし受けの調整

ラフォース・プロセレーネ・ビノーザ

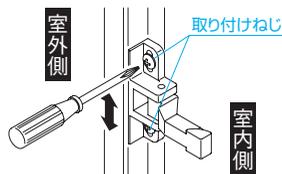
子ドアがガタつく場合は、フランス落とし受けの取り付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。調整後、ゆるめたねじを締めてください。



2.ドアガードの調整

ラフォース・プロセレーネ

ドアガードが受けにかからない場合は、ドアガード受けの取り付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。
調整後、ゆるめたねじを締めてください。



3.ドアクローザの調整

●閉速度調整方法

ドアの閉まる速度は3段階の速度区間でそれぞれ設定できます。調整は、第1・第2・ラッチング区間の順に各調整弁をドライバーでまわして行ないます。

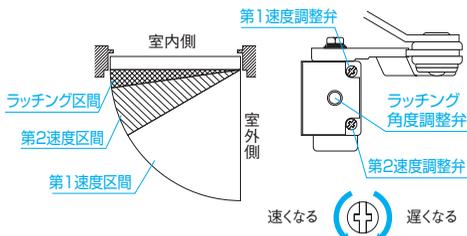
●速度調整について

第1速・第2速の速度調整弁で閉速度を調整してください。

●ラッチング角度調整について

ドアが閉じる寸前の区間（ラッチング区間）をひろく、またはせまくしたい場合はラッチング角度調整弁にて調整してください。

右（時計まわり）にまわすと、ラッチング角度が大きくなります。

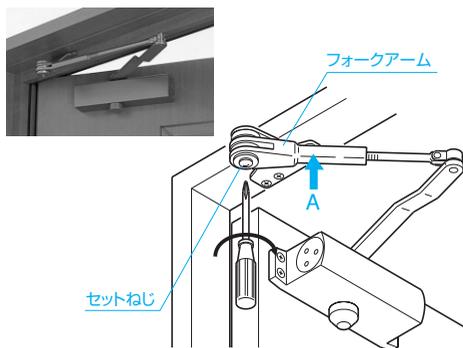


必要以上にラッチング角度を大きくしないでください。
大きくしすぎた状態で指をはさむと、けがをするおそれがあります。

※商品によって、ラッチング角度調整弁の付いていないものもありますので、ご注意ください。

●ストップ角度調整について

- ①ドアを開き、ストップさせます。
- ②セットねじを、いっぱいゆるめます（セットねじははずれ止めを付けてありますのでいっぱいゆるめるとかたくなりますが、必要以上に無理にゆるめないでください）。
- ③フォークアームA部分をいっぱい下げ、ストップ装置を解除します。
- ④ドアをストップさせたい角度まで開きます（ストップ角度は、8～9°間隔で、設定できます。ドアの開角度0～90°間）。
- ⑤開いた位置で、フォークアームA部分を上げ、はめ込みます（ドアを前後に5°ぐらい振りながら、フォークアームを上げると、簡単にセットできます）。
- ⑥最後にセットねじをしっかりと締めます。



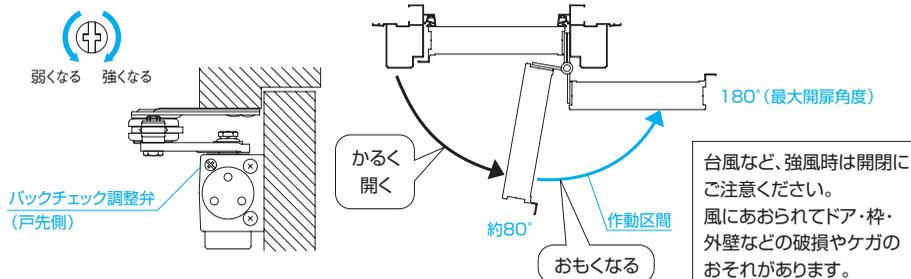
商品別使用上のご注意・調整方法

玄関ドア

●バックチェックの強さの調整について

商品によってドアを開ける際、強風や突風にあおられてドアが急激に開くことを防ぐバックチェック機能が付いています。ドアの開き方向に風の外力が加わっても約80°から油圧の働きにより急激な開扉を制御し、人身事故やドア・壁などの損傷を防ぎます。多少重くなりますが故障ではありません。

バックチェックの強さは、戸先側にあるバックチェック調整弁にて調整できます。



※調整弁は、一般的な強さ(最大の強さから約1回転弱めた位置)に調整して出荷しています。必要に応じて調整をしてください。

〔 強くしたい時・・・時計まわりにまわしてください。 〕
〔 弱くしたい時・・・反時計まわりにまわしてください。 〕

※最大の強さから2回転以上まわさないでください。

バックチェックの機能が動かなくなり、強風時にドアがあおられ、けがやドアの破損につながるおそれがあります。

※調整弁をまわしすぎると油漏れの原因になりますので、必要以上にまわさないでください。

※電動ドライバーは故障の原因となるため、使用しないでください。

ビノーザ(モダンタイプ)

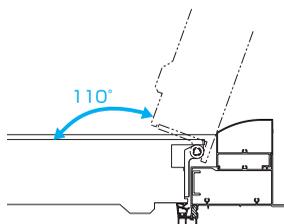
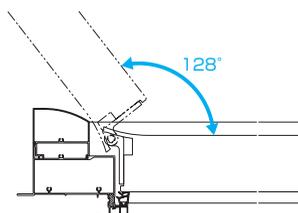
●ドア開閉角度は128°(子ドアは110°)となっています。このため、開扉したドアと枠との突風時の衝突対策用として、ドアクローザーにバックチェック機能が付いています(子ドアにはドアクローザーは付いていません)。

お願い

●ドアは下図指定角度を超えて開けると枠に当たり、ドア表面にキズが付くおそれがあります。必ず指定角度以下でご使用ください。

■ドア本体・子ドア(両開き用)

■子ドア



ドアクローザの点検と調整方法

ドアクローザの付いたドアの開閉に異常を感じられた際、次のとおりドアクローザの点検と調整を行なってください。
 なお、ご自分での調整が難しい場合は、施工された業者にご相談ください。

(現象)	(考えられる原因)	(点検箇所)	(対処方法)
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法をご参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	施工業者または当社に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れがつかまっている	速度調整弁	速度調整方法をご参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がする	ねじのゆるみ	ドアクローザの取り付けねじ	ねじを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	施工業者または当社に修理依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング角度調整弁	速度調整方法をご参照願います
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付)	セットねじのゆるみ	ストップ装置	ストップ角度調整方法をご参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生じるようになった	ねじのゆるみ	ドアクローザの取り付けねじ	ねじを締め付けてください
	1.2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法をご参照願います

4. 丁番・ピボットヒンジの調整

●丁番、ピボットヒンジの調整の際は、必ず施工された業者様にご相談ください。

リースフック

●リースフックに掛ける重さには制限があります(以下参照)。制限以上のものは掛けしないでください。
 ●掛けるものによっては、開閉時のこすれ、ぶつかりなどによりドアを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

■Aタイプ

- ・ラフォース ナチュレエル
N66・N67・N68標準装備品
2.0kgまで
- ・オプション設定品 500gまで



■Bタイプ

- ・ラフォース ナチュレエル
N69標準装備品
2.0kgまで
- ・オプション設定品 500gまで



■Cタイプ

- ・オプション設定品 500gまで



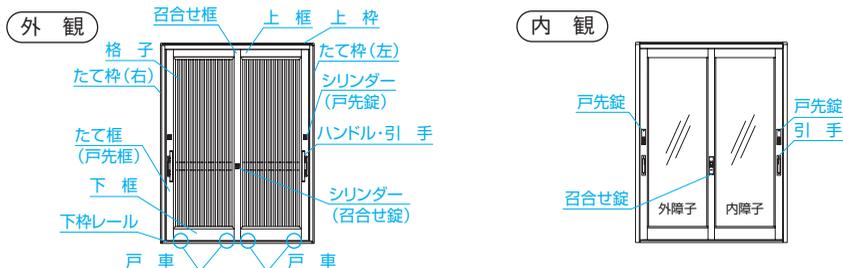
商品別使用上のご注意・調整方法

玄関引戸

お願い

- 引戸の開閉にあたっては、必ず引手またはハンドルを持って操作してください。
- 格子や框など、引手やハンドル以外を持って操作すると、指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

各部の名称



施解錠の操作

本錠は安全装置付のため、障子を閉めないでサムターンの「開」「閉」操作はできません。

サムターン(戸先錠・召合せ錠)の操作方法

お願い

- 在宅時に防犯サムターンのツマミをはすしてご使用の場合は、ツマミを常にドアの近くに置いてください。緊急時にはすしたツマミがないと施解錠の操作ができず、外に出られなくなるおそれがあります。
- サムターンの予備が1つありますので、ドア付近の決められた場所に保管し緊急時にいつでもご使用できる状態にしてください。

ジュノバ・セレナ・彩樹・和奏

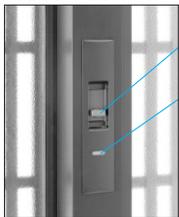
■室内側サムターン

[戸先部(通常サムターン)]



施錠時

[召合せ部(防犯サムターン)]



施錠時

解錠 サムターン(ツマミ)を上へ上げます。

施錠 サムターン(ツマミ)を下へ下げます。

■防犯サムターンのサムターン(ツマミ)取りはずし操作[召合せ錠]



①サムターン(ツマミ)を押し込みます。



②その状態で反時計回り
に90°回します。



③サムターン(ツマミ)の取
りはずしが可能になります。

※本錠は調整不要の機構を採用しており、施錠後に障子を開ける操作をした場合、キーやサムターン(ツマミ)での施錠操作が固くなる場合があります。その場合は、一度障子を閉め方向に動かすと操作が軽くなります。

※施錠された状態で、障子の開け方向に強い力が加わると、鎌がずれることがあります。これは、ガタつきをおさえる機構を破壊させないためのものですので、異常ではありません。

※本錠はサムターン(ツマミ)の取りはずしが可能です。

彩樹30・和奏30・麗峰

■室内側サムターン

[戸先部(サムターンの上下操作)]

[召合せ部(サムターンの上下操作)]



施錠時



施錠時

商品によっては、形状の違いや施解錠マークのないものもあります。

解錠 サムターン(つまみ)を上へ上げます。

施錠 サムターン(つまみ)を下へ下げます。

季更 BT

■室内側サムターン



※施解錠はマークで確認できます。

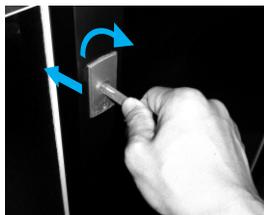
解錠 サムターン(つまみ)を上へ上げます。
(サムターン(つまみ)はもとの位置にもどります)

施錠 サムターン(つまみ)を下へ下げます。
(サムターン(つまみ)はもとの位置にもどります)

シリンダー(召合せ錠)の操作方法

麗峰・店舗引戸

キーを押しながらまわして施解錠します。



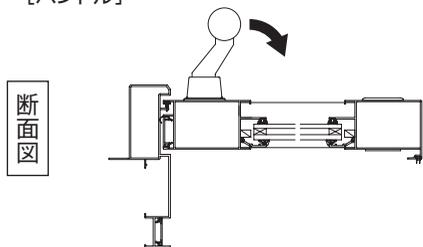
商品別使用上のご注意・調整方法

玄関引戸

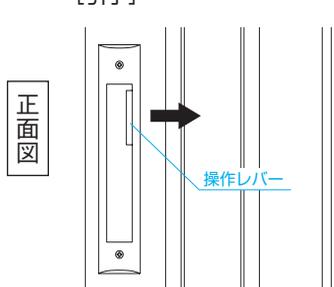
ラッチの解除方法

- ハンドルの操作はグリップ部を障子を開ける方向に動かすとラッチが解除します。
- 引手の操作は操作レバーを障子を開ける方向に動かすとラッチが解除します。

[ハンドル]



[引手]

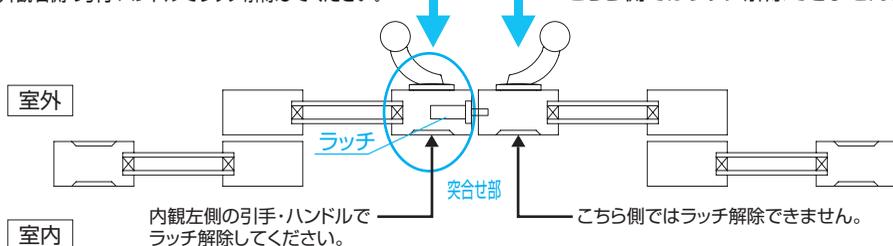


障子を閉めた状態

<4枚建戸>

外観右側の引手ハンドルでラッチ解除してください。

こちら側ではラッチ解除できません。



内観左側の引手・ハンドルでラッチ解除してください。

こちら側ではラッチ解除できません。

※4枚建ての内観右側の突合せ部にも引手・ハンドルが付きますがラッチ解除は、内観左側の突合せ部の引手・ハンドルしかできません。

適用商品

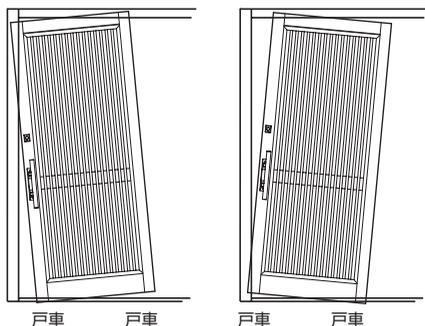
	和奏	彩樹	セレナ	ジュノバ
ドライ仕様	○	○	○	○
複層仕様	○	○	○	○
単板仕様	—	—	○	○

和奏30	彩樹30	麗峰	季更 BT
×	×	×	×

引戸部品の調整方法

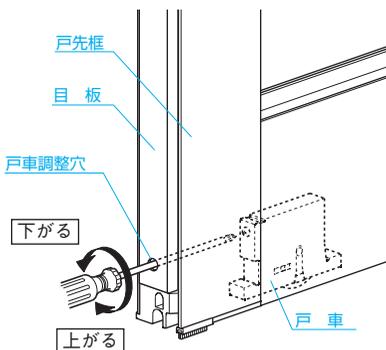
戸車の調整

● 枠と障子との間にすき間が生じた場合に戸車の調整ねじをまわして障子を上下させることで開口部に合わせることができます。戸先框側、召合せ框側両方の戸車で調整を行ってください。



● 戸先框、召合せ框の一番下のホールプレートをはずし、ドライバーで戸車の調整用ねじをまわして、たて枠と障子が平行になるよう調整してください。

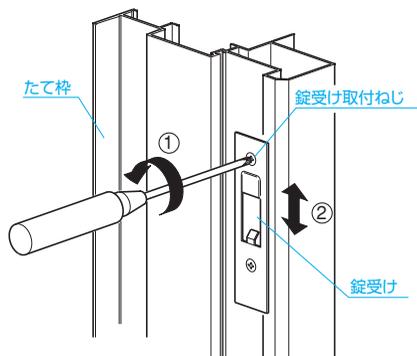
《戸先框下部》



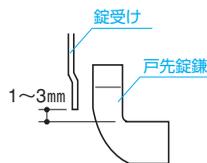
錠受け(戸先)の調整

※ 戸先錠が掛かりにくい場合に行ってください。

- 錠受け取付ねじをゆるめ、上下方向の調整を行ってください。
- 調整後は、再度錠受け取付ねじを締めてください。



※ 目安は下図を参照してください。



適用商品

	和奏	彩樹	セレナ	ジュノバ
ドライ仕様	×	×	×	×
複層仕様	×	×	×	×
単板仕様	—	—	×	×

和奏30	彩樹30	麗峰	季更 BT
○	○	○	○

商品別使用上のご注意・調整方法

玄関引戸

召合せ錠の調整

■基準位置調整

内召合せ框の錠取り付けねじをゆるめ、解錠状態で室内化粧プレートの施錠表示窓から外召合せ框の錠受け下部貫通丸穴へ、⊕ドライバーを差し込んでください。その状態を維持しながら、錠取り付けねじを締めてください。

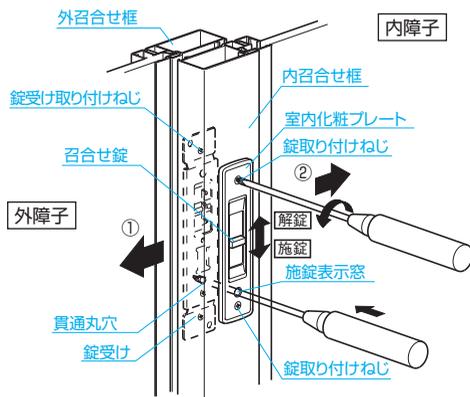
※麗峰・店舗引戸は、ドライバーを差し込む代わりにセットピンを使用します。セットピンが無い場合や、蓬萊・T型については、取り付けねじをゆるめ、錠をかけた状態にして、取り付けねじを締めてください（セットピンは本書に同梱されています）。

■左右調整

①障子が左右にガタつく場合は、内召合せ框の錠取り付けねじをゆるめ、内召合せ錠を障子の戸尻側にスライドさせて調整してください。

②施錠できない場合は、上記の手順で錠を障子の戸先・突合せ側にスライドさせて調整してください。

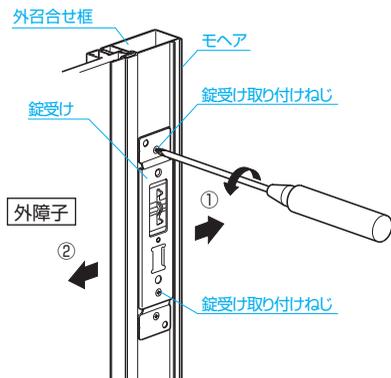
調整後は、錠取り付けねじを締めてください。



※基準位置調整後は極力上下に移動させないようにしてください。

※①調整量が不十分で障子が左右にガタつく場合は、外召合せ框の錠受け取り付けねじをゆるめて障子の戸尻側にスライドさせて調整してください。

②調整量が不十分で施錠できない場合は、上記の手順で錠受けを障子の戸先・突合せ側にスライドさせて調整してください。調整後は、錠受け取り付けねじを締めてください。



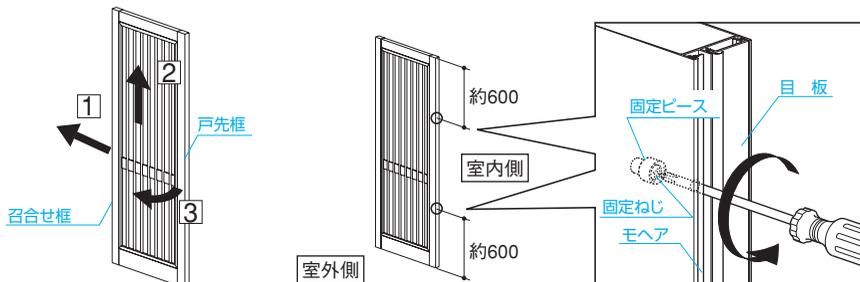
適用商品

	和奏	彩樹	セレナ	ジュノバ
ドライ仕様	×	×	×	×
複層仕様	×	×	×	×
単板仕様	—	—	×	×

和奏30	彩樹30	麗峰	季更 BT
○	○	○	×

障子用格子の取りはずし方法

清掃のために障子用格子を取りはずす場合は、以下の手順で取りはずしてください。



適用商品（一部のタイプを除く）

- ① 上下から約600mmの位置にある固定ねじを時計と逆回しに8回転させて格子を召合せ枠側へスライドしてください。

※固定ねじを回しすぎると、補助材が脱落するおそれがあります（図-A参照）。

（補助材が脱落した場合は、ねじを補助材のねじ穴に合わせて再度取り付けください）

	和奏	彩樹	セレナ	ジュノバ
ドライ仕様	○	○	○	○
複層仕様	○	○	○	○
単板仕様	—	—	○	○

和奏30	彩樹30	麗峰	季更 BT
×	×	×	×

- ② 格子と障子のたて枠にすき間（図-B参照）があることを確認してから格子を上へスライドしてください。

- ③ 格子の戸先框側を室外側へスライドしてください。



※格子がはずれない場合は、固定ねじを半回転ずつ回して②③の手順にて格子を取りはずしてください。

図-A

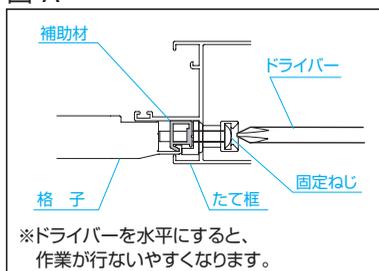
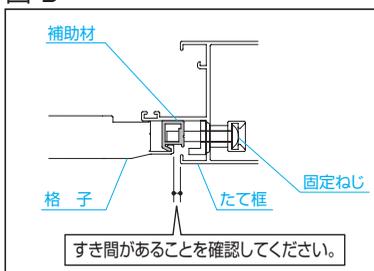


図-B



商品別使用上のご注意・調整方法

玄関引戸

取りはずした格子の取り扱いについて

※取りはずした格子は大切に扱ってください。ぶつけて型材を変形させたり角打ちすると、格子が取り付けなくなる場合があります。

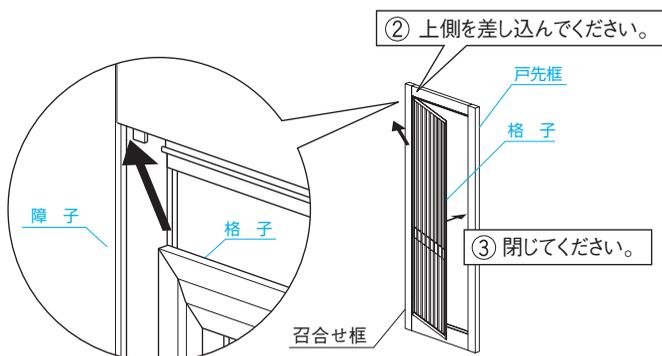
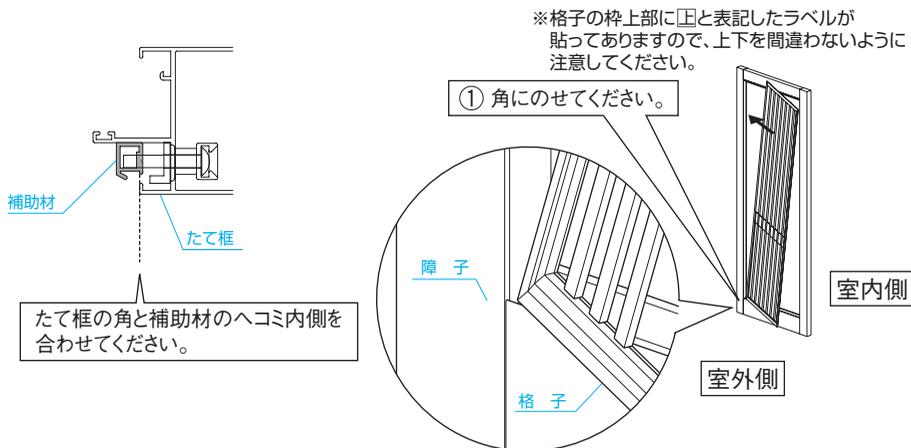
※格子の裏面のクリーニングは、格子を立て掛けて格子にそって柔らかい布・スポンジなどで水洗いしてください。

この際、強い力で格子を押すと、格子が変形するおそれがありますので格子を変形させないように注意してください。

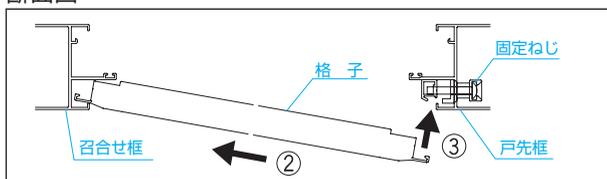
※取りはずした格子の角・切り口などでけがをしないように注意してください。

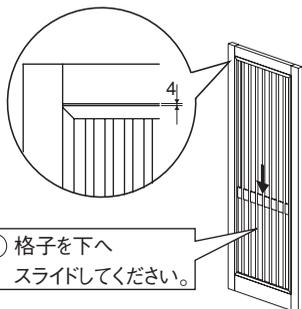
障子用格子の取り付け方法

- 固定ねじを調整し、たて枠の角と補助材のへこみ内側を合わせてから下記手順で格子を取り付けてください。

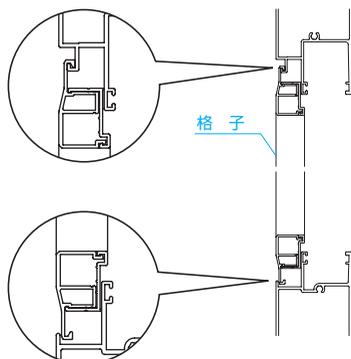


断面図





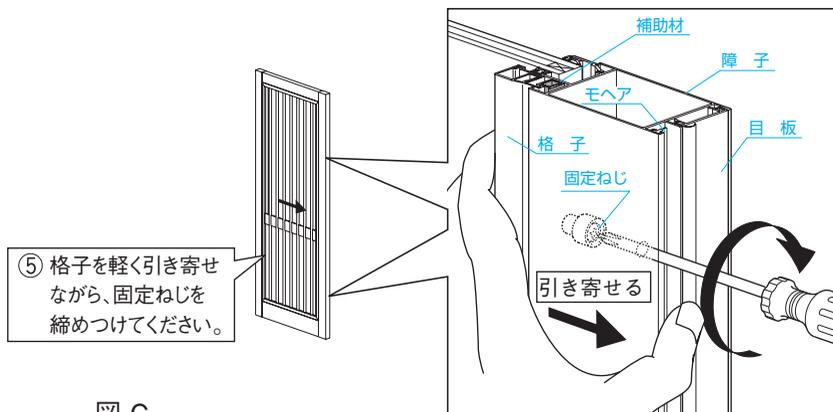
④ 格子を下へ
スライドしてください。



※格子と上框のすき間が、4mm程度になることを確認してください。

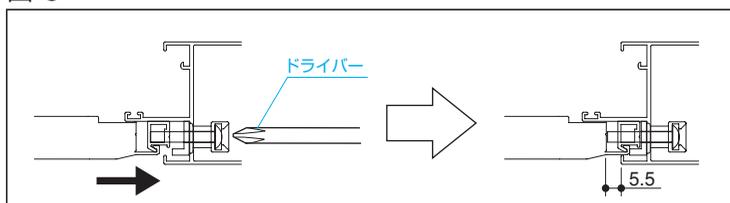
※上下共に格子を軽く引っ張り、格子がひっかかっていることを確認してください。

- 格子を手で軽く引き寄せながら固定ねじを締めつけてください。
 - 格子と障子たて框のすき間が5.5mm程度になっていることを確認してください(図-C参照)。
- ※必ず手回しドライバーを使用し、ねじが止まるまで軽く締めつけてください。
(電気ドライバー・エアードライバーは使用しないでください)



⑤ 格子を軽く引き寄せ
ながら、固定ねじを
締めつけてください。

図-C



※正しく取り付けされていないと格子の脱落・開閉時の破損などのおそれがあります。

商品別使用上のご注意・調整方法

採風勝手口ドア

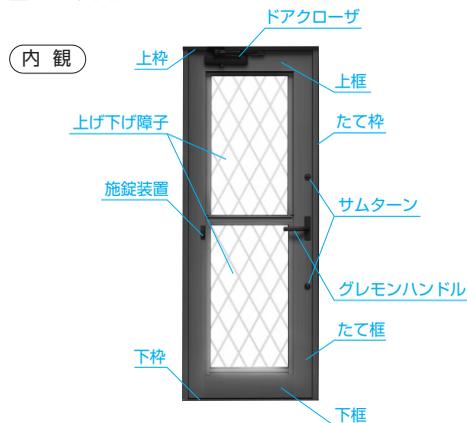
マディオJ・P

お願い

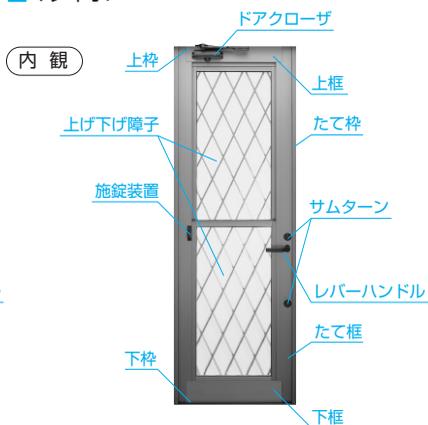
- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

各部の名称

■マディオJ



■マディオP



施錠の操作

グレモンハンドル (マディオJの場合)

●施錠方法

①ドアが閉まった状態で、ハンドルを上方向に操作します。

ハンドルは、もとの位置にもどります。

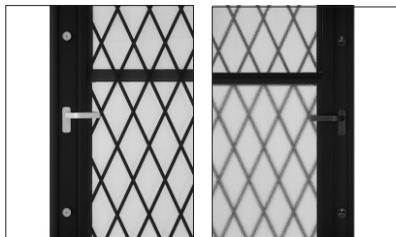
②室外側からはシリンダー、室内側からはサムターンを操作して、ハンドルが固定され施錠します。

※ハンドルを上方向に操作した後でなければ、シリンダー・サムターンの操作はできません。

●解錠方法

①室外側からはシリンダー、室内側からはサムターンを操作して、ハンドルの固定を解除します。

②ハンドルを下方向に操作します (解錠されます)。



室外側

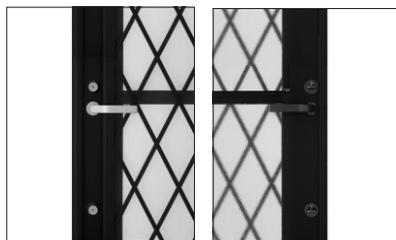
室内側

レバーハンドル (マディオPの場合)

●施錠方法

ドアが閉まった状態で、室外側からはシリンダー、室内側からはサムターンを操作します。

解錠する場合は、逆の手順で行なってください。



室外側

室内側

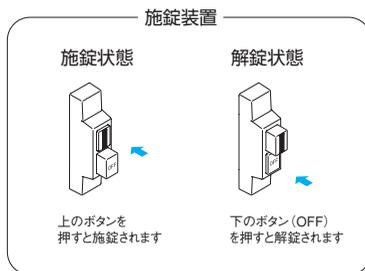
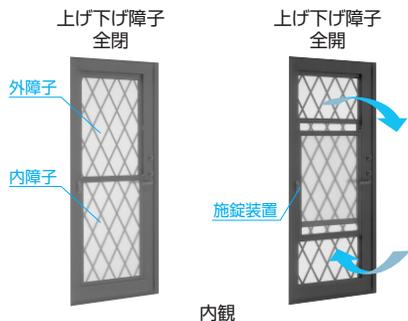
商品別使用上のご注意・調整方法

採風勝手口ドア

上げ下げ障子の開け方・閉め方

施錠装置を解錠状態〔(OFF)を押す〕にし、障子を上げ下げしてください。

外障子、内障子は連動し開閉します。



※障子は任意の位置で止めることは可能ですが、ロックされた状態ではありません。

※上げ下げ窓の施錠は、全閉時または上下約50mm開いた状態の2ヶ所でロックできます。

※施錠装置は障子をロックした状態にできますが、錠ではありません。



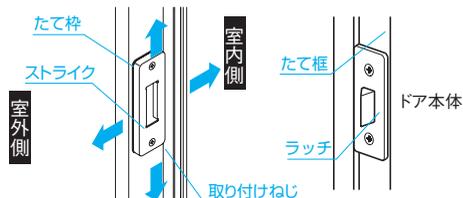
お願い

- 施錠は上げ下げ障子を確実に閉めてから（召合せ部がそろっていることを確認の上）行なってください。
- 防犯のため、外出時および就寝時には上げ下げ窓を全閉状態にして施錠装置を掛けてください。

ドア部品の調整方法

ストライクの調整

ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの取り付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。調整後は、ゆるめたねじを締めてください。



※商品によって形状が異なります。

ドアクローザの調整

玄関ドアの「ドアクローザの調整」(P.47)をご参照ください。

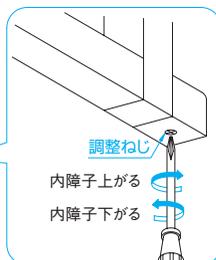
上げ下げ障子の調整

上げ下げ障子が重い場合、または施錠装置がかかりにくい場合は下記のとおり障子を調整してください。

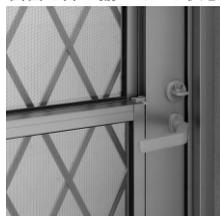
- ① 上げ下げ障子を全開にします。
- ② 内障子下端にある調整ねじにて障子の召合せ部が揃うように調整してください。



内障子下端



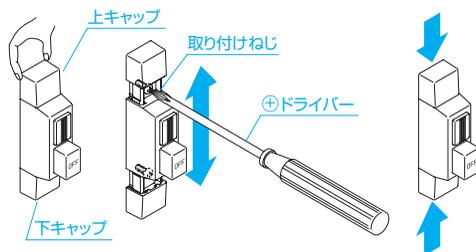
召合せ部が揃っている状態



施錠装置の調整

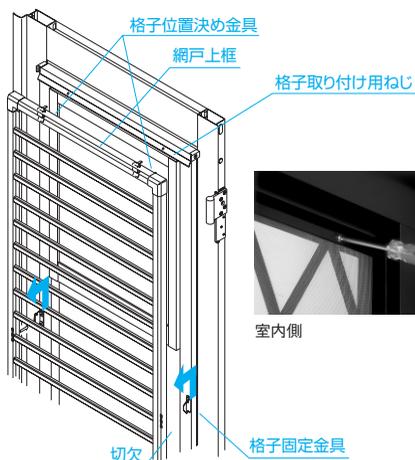
施錠装置がかからない、障子を閉めてもガタつく場合は施錠装置を調整してください。

- ① 施錠装置本体の上下キャップを開きます。
- ② 上下2ヶ所の取り付けねじをゆるめます。
- ③ 上下に動かし、調整します。
(ガタつきをおさえる場合は施錠装置本体を下方向へ、押し付けるようにつけてください)
- ④ 2ヶ所の取り付けねじを締めます。
- ⑤ 施錠装置本体の上下キャップを閉めてください。



網戸付格子のはずし方

- ① 室内側の網戸上框にある格子取り付け用ねじをはずします。
- ② 格子固定金具から網戸を1~2cm引き上げ、はずします。



室外側

網戸付格子をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

商品別使用上のご注意・調整方法

勝手口ドア

マディオJ・P

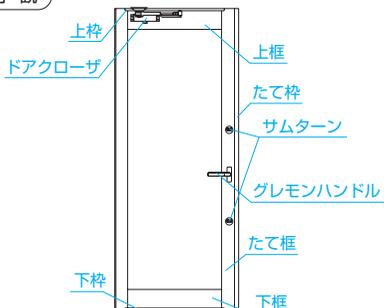
お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

各部の名称

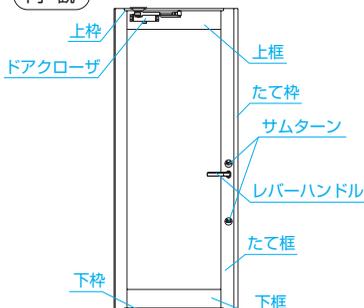
■マディオJ

内 観



■マディオP

内 観



ドア部品の操作・調整方法

施解錠の操作

採風勝手口ドアの (P.59) をご参照ください。

ドアクローザの調整

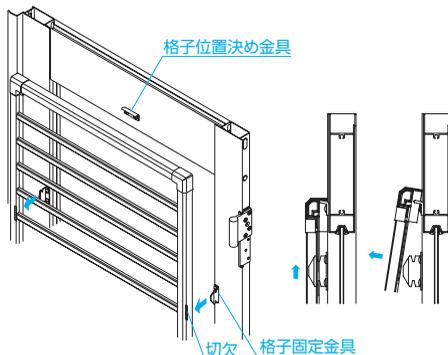
玄関ドアの「ドアクローザの調整」(P.47) をご参照ください。

格子のはずし方

- ①室内側の下框部の格子取り付け用ねじをはずします。
- ②格子固定金具から格子を1~2cm引き上げ、はずします。



格子取り付け用ねじ



格子をはめる場合は、逆の手順で行なってください。

採風勝手口片引き戸

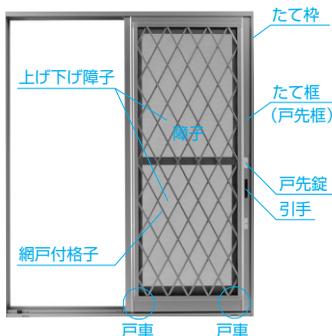
マディオJ・P

お願い

- 引戸の開閉にあたっては、必ず引手またはハンドルを持って操作してください。
- 格子や框など、引手やハンドル以外を持って操作すると、指をはさんで大けがをします。特にお子様にはご注意ください。

各部の名称

外 観



操作方法

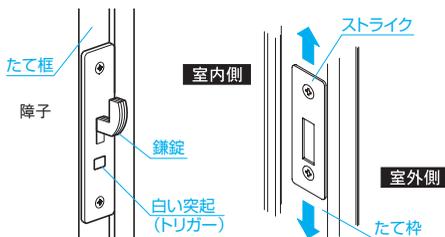
上げ下げ障子の操作

採風勝手口ドアの「上げ下げ障子の開け方・閉め方」(P.60)をご参照ください。

部品の操作・調整方法

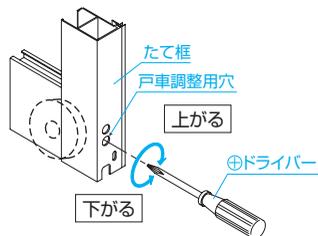
ストライクの調整

ストライクの調整は取り付けねじをゆるめ、上下にずらし、鎌錠がスムーズにかかる位置で固定してください。調整後は、ゆるめたねじを締めてください。



戸車の調整

障子 (たて枠) の下部にある、ホールプレートをはずし、ドライバーで戸車の調整用ねじをまわして、たて枠と障子が平行になるように調整してください。調整後、ホールプレートを取り付けてください。



網戸付格子のはずし方

採風勝手口ドアの「網戸付格子のはずし方」(P.61)をご参照ください。

商品別使用上のご注意・調整方法

勝手口片引き戸

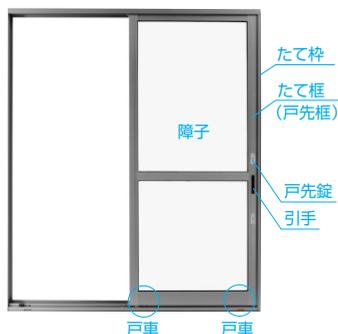
マディオJ・P

お願い

- 引戸の開閉にあたっては、必ず引手またはハンドルを持って操作してください。
- 格子や框など、引手やハンドル以外を持って操作すると、指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

各部の名称

外 観



部品の操作・調整方法

ストライクの調整

採風勝手口片引き戸の「ストライクの調整」(P.63)をご参照ください。

戸車の調整

採風勝手口片引き戸の「戸車の調整」(P.63)をご参照ください。

網戸のはずし方

網戸のはずし方は、引違い窓(P.8)をご参照ください。

収納ドア

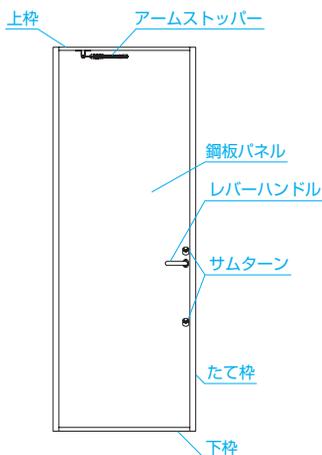
お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠を掛けてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

各部の名称

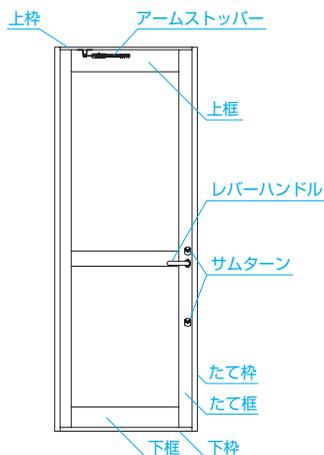
■マディオJ

内観



■マディオ

内観



ドア部品の操作・調整方法

施錠の操作

採風勝手口ドアの「レバーハンドル」(P.59)をご参照ください。

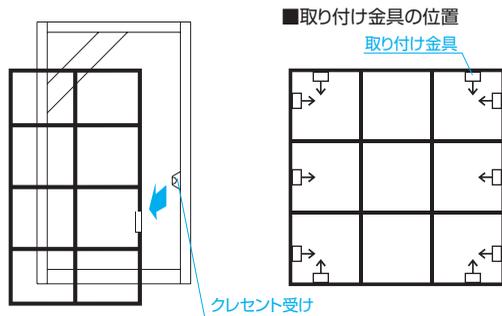
商品別使用上のご注意・調整方法

飾り格子

- ガラス掃除時以外は、なるべく格子を取りはずさないでください。
- 取り付け金具をマイナスドライバーなどで取りはずす場合は、ガラスの破損にご注意ください。
- 格子を取りはずす際には、落下にご注意ください。

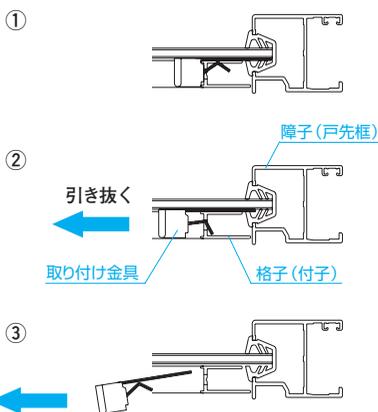
飾り格子のはずし方

- ① 取り付け金具をすべて抜き取ってください。
- ② 格子をはずしてください。



※ 両袖片引き窓については、クレセント受けをはずしてください。

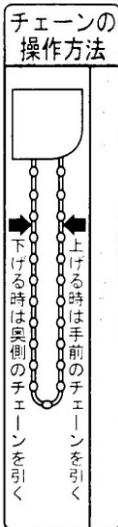
飾り格子をはめる場合は、逆の手順で行なってください。



ロール網戸 (上下昇降タイプ)

チェーンの操作方法

表示ラベル



室外側



奥側のチェーンを
下に引くとネットが
下がります。

室内側

手前のチェーンを
下に引くとネットが
上がります。

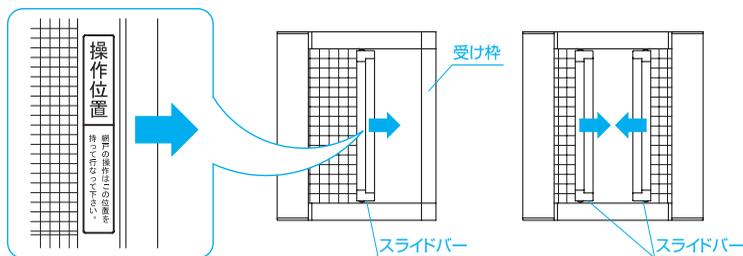
商品別使用上のご注意・調整方法

ロール網戸（左右開閉タイプ）

網戸の操作方法

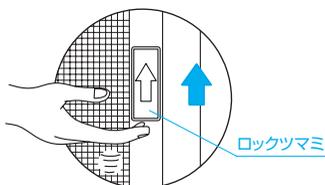
網戸の操作方法

- ① スライドバーの操作位置シールの箇所を持って網を引き出してください。
- ② 受け枠もしくはスライドバー同士のロックとロック受けで固定してください。



網戸の収納方法

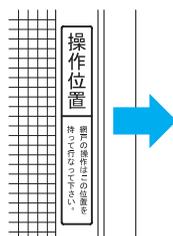
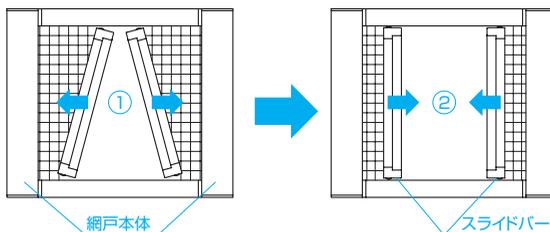
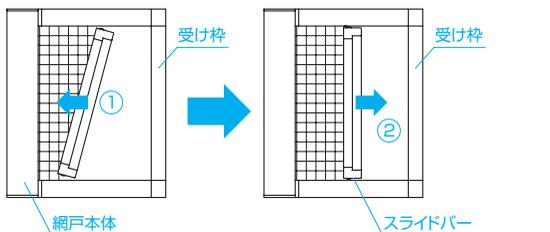
- ロックツマミを上へ上げてロックを解除してください。
網戸は自動収納されますが、強風時など自動収納しない場合はスライドバーに手を添えて操作してください。



網戸の調整方法

■ 網戸がななめになった場合や、網が途中で止まってしまった場合

- 網を一旦網戸本体側に戻して引き出し直してください。



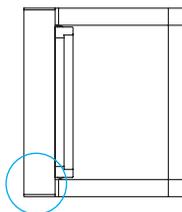
- 操作位置シール以外の箇所を持って操作すると、上下で巻取りのタイミングがずれるためスライドバーが斜めになる場合があります。その場合は、正しい操作位置で数回開閉を行なって巻取りを整えてください。本商品は特性上、網戸を収納するとき上端（下端）が遅れて移動する場合があります。無理な操作をした場合、スライドバーとフアスナーがずれるおそれがあります。

巻取り速度調整方法

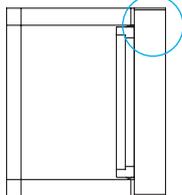
本商品は、製造時に調整を行なっておりますが、取り付け場所の状況により巻取り速度の調整が必要となります。調整が必要な場合は以下の手順で調整を行なってください。

巻取り速度調整部は以下の箇所になります。

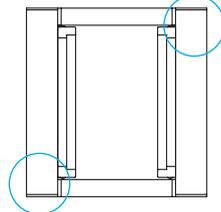
< 網戸本体が左の場合 >



< 網戸本体が右の場合 >



< 両引きの場合 >



① ケースカバーを下図のように開いてください。

図は網戸本体が左の場合を示します。右の場合は右上になります。

② 巻取り速度調整部が見える位置までネットを引き出してください。

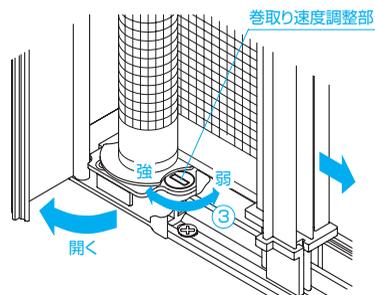
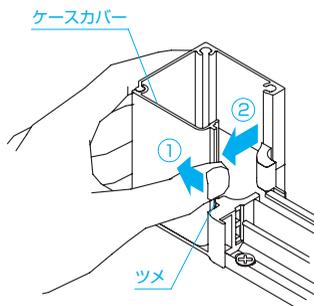
③ (-)ドライバーを使って、巻取り速度調整部を矢印の方向に回転させて調整を行なってください。

④ 調整後は、ケースカバーを閉めてください。

半回転ずつ増やして(減らして)収納状態を確認しながら巻取り速度を調整してください。

通常2~3回転程度で調整はできます。

極端に巻数を増やしたり減らしたりしないでください(最大6回転)。



ケースカバーを開いたままで放置しないでください。ケースカバーが脱落する危険があります。ケースカバーは、メンテナンスのため取りはずし可能な機構になっています。

時計方向に回す：巻取り速度が上がります
反時計方向に回す：巻取り速度が下がります

商品別使用上のご注意・調整方法

後付樹脂内窓 プラメイクE 引違い窓

お願い

〈マンションなど(3Fを超える)にお住まいの方へ〉

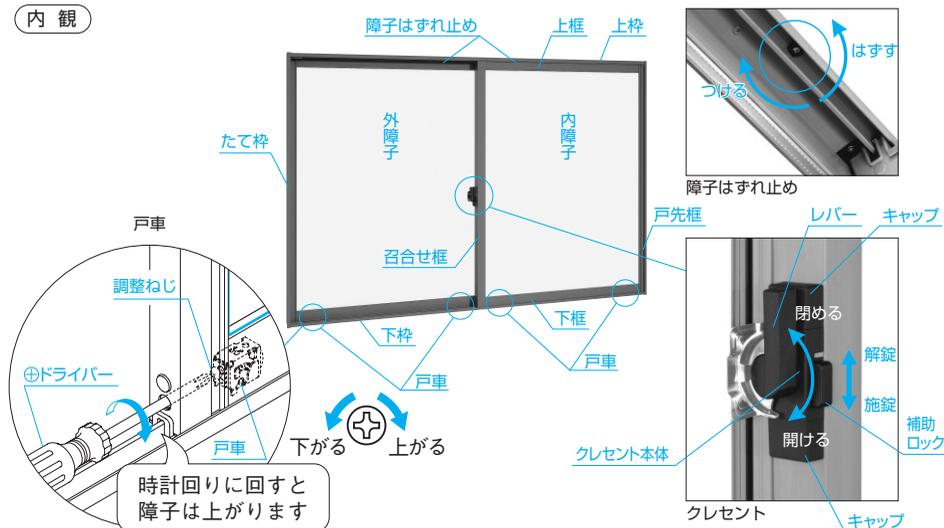
- 外出時や就寝時で、強風が予想される場合は、外窓の施錠を確実に行ない、内窓は少し開けてご使用ください。突風などで内窓がはずれるなどで思わぬけがをするおそれがあります。

〈熱と換気について〉

- 外窓と「プラメイクE」を長期間閉めきった状態にしておくと、その間が高温になったり変形する場合がありますので、「プラメイクE」を少し開け通気を行なってください。
また、ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり触れたりしますと、変形することがありますので注意してください。
そのような時は時々換気を行なうようにしてください。

各部の名称

内 観



窓の開け方・閉め方

窓の開け方

- ①クレセントの補助ロックを上へ上げ、解錠します。
- ②クレセントのレバーを下へ下げ、障子を開けます。

窓の閉め方

- ③障子をしっかりと閉めてからクレセントのレバーを上へ上げます。
- ④クレセントの補助ロックを下へ下げます。

●空かけ防止機能付クレセント

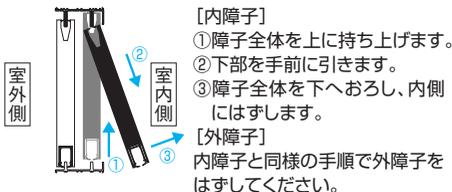


トリガーがクレセント受けに押されると、クレセントがまわる構造になっています。障子が少しでも開いていると、トリガーがクレセント受けにからないため、クレセントがまわりません。

クレセント受け

障子のはずし方

障子のはずれ止めのねじを左にまわして（反時計まわり）障子はずれ止めの部品を取りはずします。その後、図のように障子はずし器を左にまわして（時計まわり）障子はずし器を取りはずしてください。



⚠️ 注意 はずれ止め部品のセット

⚠️ お手入れなどのために障子はずし器をはずした後、再びサッシ枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中ねじがゆるみ、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

セット方法は、商品に貼り付けられたラベルに記載されています。お確かめください。

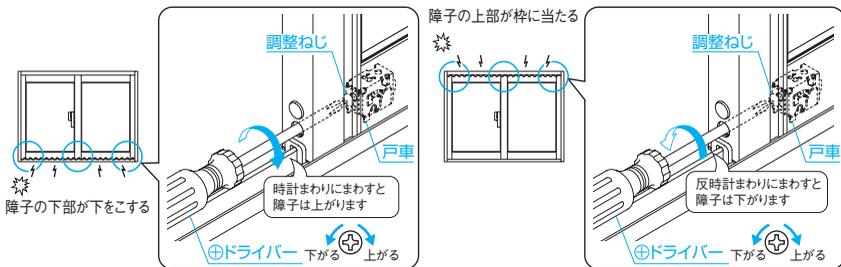
障子は重いもので約60kg程あります。取りはずし、取り付けの際には2人以上で扱うなど取り扱いには十分ご注意ください。

障子を取り付ける場合は、逆の手順で行なってください。

障子の建て付け調整

上下が干渉する場合

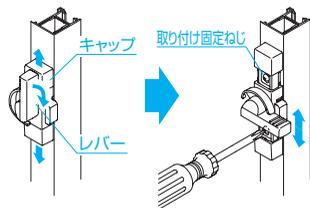
● 戸車調整穴（たて枠の一番下の穴）に⊕ドライバーを差し込み、下図を参考に戸車の調整ねじをまわして建て付け調整を行ってください。
 ※ 障子を少し持ち上げながらまわすと軽く調整できます。



クレセントのかかりが悪い場合

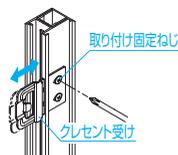
■ 内障子（クレセント）の調整

- ① クレセントのレバーを90°回転し、キャップをスライドしてください。
- ② 取り付け固定ねじをゆるめ、上下の調整を行ってください。
 ※ ねじは取りはずさないでください。
- ③ 調整後、ねじを確実に締めたことを確認し、キャップをはめ直してください。



■ 外障子（クレセント受け）の調整

- 取り付け固定ねじをゆるめて、クレセント受けを左右に動かし調整してください。
 ※ 調整後、ゆるめたねじなどは確実に締めてください。



商品別使用上のご注意・調整方法

後付樹脂内窓 プラメイクE テラスドア

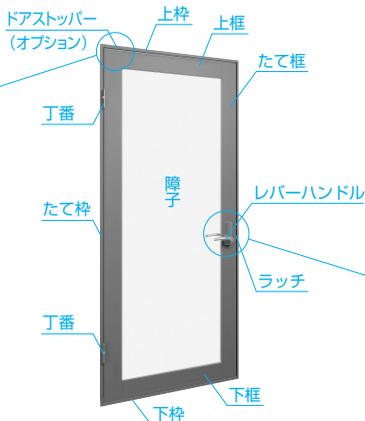
各部の名称

内観

ドアストッパー上枠取り付け用
(オプション)



ドアストッパー(オプション)が取り付けられている場合、障子を取りはずす時はねじを取りはずしドアストッパーを取りはずしてください。ドアストッパーが取り付け付いた状態では障子を取りはずすことができません。



レバーハンドル



開き勝手について

室内側から見て丁番が左側にあるものが左吊元(L)、右側にあるものが右吊元(R)です。

左吊元(L)

右吊元(R)



ドアの開け方・閉め方

お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ずラッチをかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

ドアの開け方

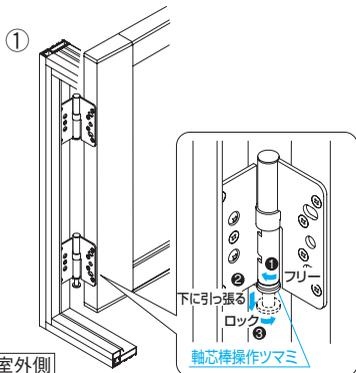
レバーハンドルを下方方向に回転させてハンドルを持って手前に引きます。

ドアの閉め方

レバーハンドルを持って、外へ押し出します。(ラッチがかかります)

障子のはずし方

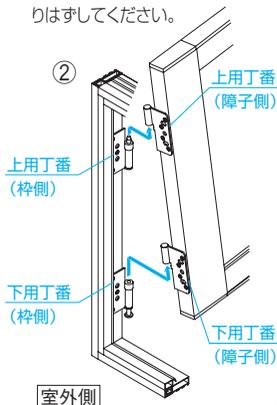
① 下用丁番（枠側）の軸芯棒操作ツマミを回転させ、軸芯棒をロック解除し、下用丁番（枠側）の軸芯棒操作ツマミを下へ引っ張り、軸芯棒をさげてください。



室外側

障子を取り付ける場合は、逆の手順で行なってください。

② 下用丁番（障子側）の位置をずらし、上用丁番（障子側）を上用丁番（枠側）の芯棒から取りはずしてください。



室外側

障子は重いもので約35kg程あります。取りはずし、取り付けの際には2人以上で扱うなど取り扱いには十分ご注意ください。

※本図は右吊元の場合です。

左吊元の場合は軸芯棒操作ツマミが逆になります。

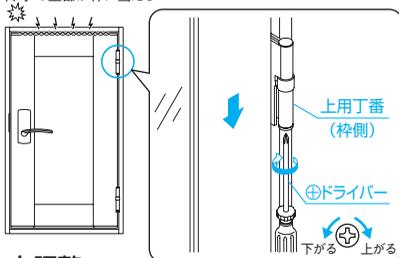
障子の建て付け調整

■ 上下調整

● 調整幅・・・下へ最大2.5mm

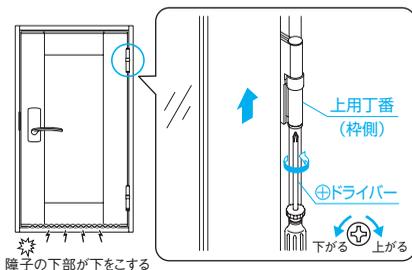
上用丁番（枠側）の上下調整用ねじを左にまわすと、障子は下がります。

障子の上部が枠に当たる



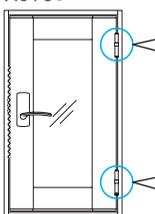
● 調整幅・・・上へ最大2.5mm

上用丁番（枠側）の上下調整用ねじを右にまわすと、障子は上がります。

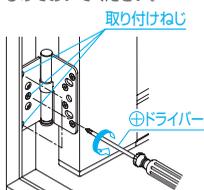


■ 左右調整

障子の戸先側のすき間が大きすぎる



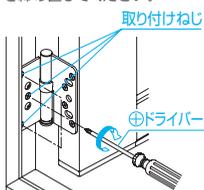
① 上下用丁番（枠側）のハネ内部3ヶ所の取り付けねじをゆるめておいてください。



② 左右調整ねじを左にまわすと障子が戸先側に移動します。調整幅・・・戸先側へ最大2.5mm



③ 障子の位置が決まったら、ゆるめておいた取り付けねじを締め直してください。



※本図は右吊元の場合です。

商品別使用上のご注意・調整方法

後付樹脂内窓 プラメイクE 開き窓

各部の名称

内 観

ドアストッパー 上枠取り付け用 (オプション)



ドアストッパー (オプション) が取り付けられている場合、障子を取りはずす時はねじを取りはずしドアストッパーを取りはずしてください。ドアストッパーが取り付けいた状態では障子を取りはずすことができません。

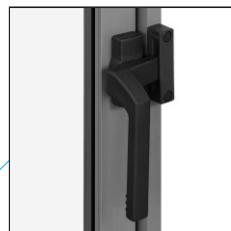
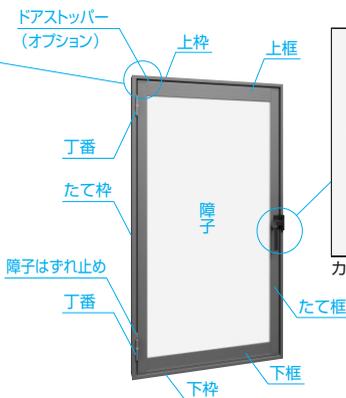
障子はすれ止め



障子を閉じた状態



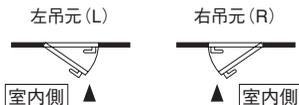
障子を開いた状態



カムラッチハンドル

開き勝手について

室内側から見て丁番が左側にあるものが左吊元 (L)、右側にあるものが右吊元 (R) です。



窓の開け方・閉め方

お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強い時は窓を閉めて、必ずカムラッチハンドルをかけてください。カムラッチハンドルをかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

窓の開け方

カムラッチハンドルを回転させて水平にして、ハンドルを持って手前に引きます。

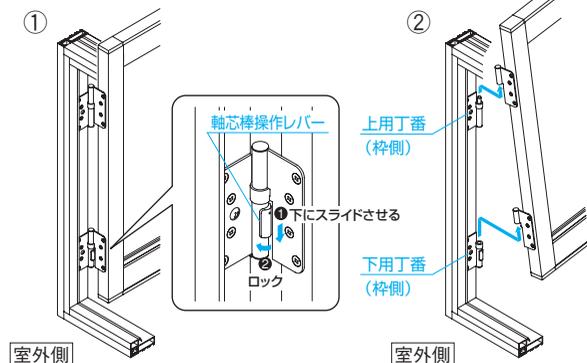
窓の閉め方

カムラッチハンドルを持って、外へ押し出し、ハンドルを回転させて下に下げます (ロックがかかります)。

障子のはずし方

① 下用丁番（枠側）の軸芯棒操作レバーを
下に引っ張り、軸芯棒をさげてください。

② 下用丁番（障子側）の位置をずらし、上用丁番（障子側）を
上用丁番（枠側）の芯棒から取りはずしてください。



障子は重いもので約20kg程
あります。
取りはずし、取り付けの際には
2人以上で扱うなど取り扱いに
は十分ご注意ください。

※本図は右吊用の場合です。左吊用の場合は操作レバーが逆になります。

障子を取り付ける場合は、逆の手順で行なってください。

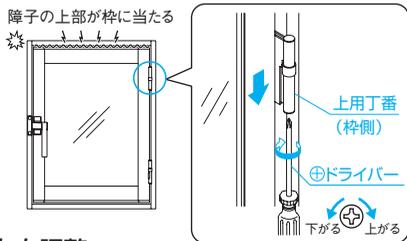
※軸芯棒操作レバーをさげて右方向に回転させると軸芯棒がさがったままロックされます。

障子の建て付け調整

■ 上下調整

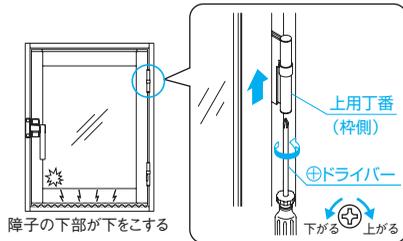
● 調整幅・・・下へ最大2.5mm

上用丁番（枠側）の上下調整用ねじを左にまわすと、
障子は下がります。



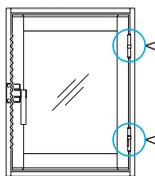
● 調整幅・・・上へ最大2.5mm

上用丁番（枠側）の上下調整用ねじを右にまわすと、
障子は上がります。

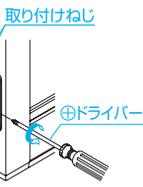


■ 左右調整

障子の戸先側のすき間が
大きすぎる



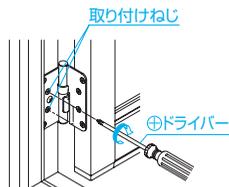
① 上下用丁番（枠側）のハネ
内部2ヶ所所の取り付けねじを
ゆるめておいてください。



② 左右調整ねじを左にまわすと
障子が戸先側に移動します。
調整幅・・・戸先側へ最大2.5mm



③ 障子の位置が決まったら、ゆる
めておいた取り付けねじ
を締め直してください。



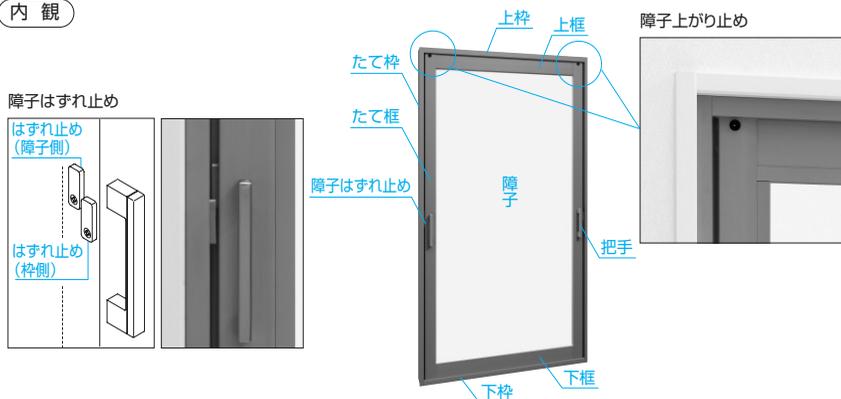
※本図は右吊用の場合です。

商品別使用上のご注意・調整方法

後付樹脂内窓 プラメイクE FIX窓

各部の名称

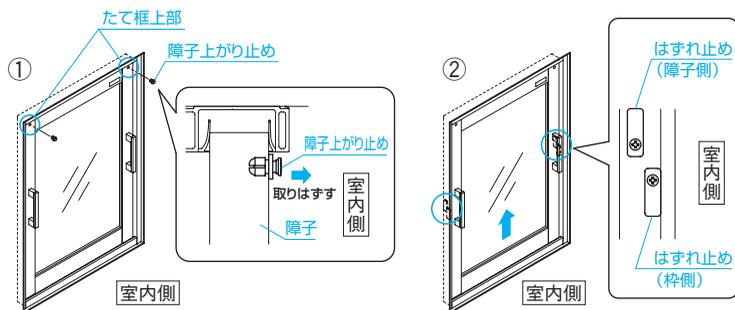
内 観



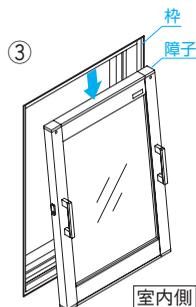
障子のはずし方

① 障子のたて枠上部の障子上がり止め部品を取りはずしてください。

② 左右の把手を持ち、障子を持ち上げてください。



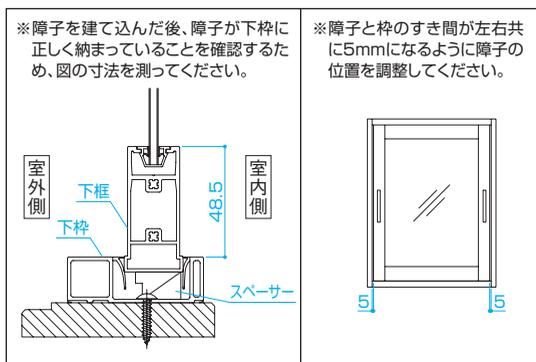
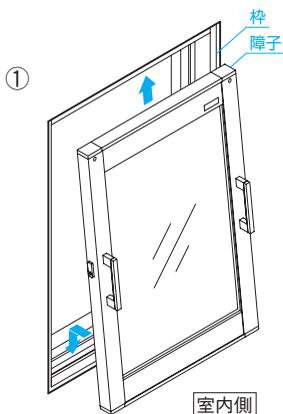
③ 枠側と障子側のはずれ止め部品のかさなりがなくなったことを確認した後、障子下部を手前へ引き、障子をはずしてください。



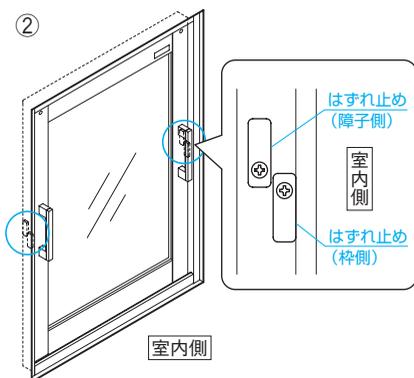
障子は重いもので約60kg程あります。
取りはずし、取り付けの際には2人以上で扱うなど取り扱いは十分ご注意ください。

障子の取り付け

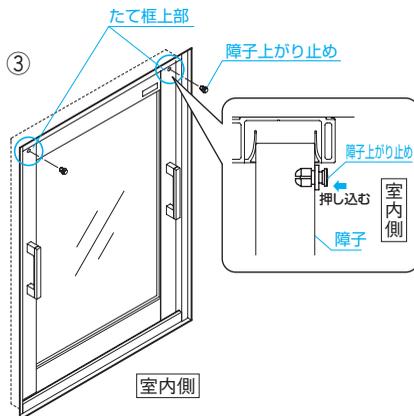
①障子上枠の溝に差し込み、けんどん式に建て込み、しっかりと納まったことを確認してください。



②枠側と障子側のはずれ止め部品がきちんとはまり、障子本体が納まっていることを確認してください。



③障子のたて框上部に障子上がり止め部品を取り付けてください。



注意



お手入れなどのために障子はずした後、再び枠に取り付けるときは、障子上がり止め部品を取り付けてください。

障子上がり止め部品が正しく取り付いていないと、障子が枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

障子上がり止め部品をセットする時に障子の取り付け③を参照してください。

商品別使用上のご注意・調整方法

オープンカウンター

フィアンス

各部の名称



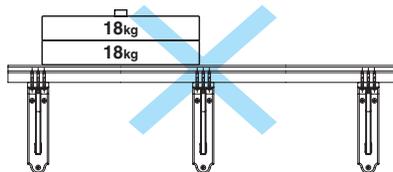
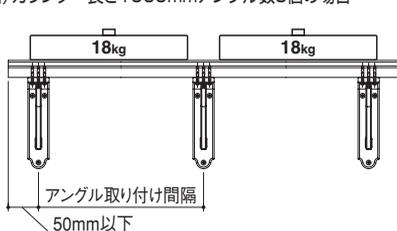
- カウンターを踏み台やベンチとして使用したり、ぶら下がったりしないでください。カウンターのがたつきや破損、落下によりけがをすることがあります。
- カウンターの上に載せる物の重さには制限があります。(これを耐荷重といいます) 下表の耐荷重以上の物は載せないでください。

オープンカウンターの耐荷重について

カウンター長さ	500mm	1000mm		1500mm		2000mm	
アングル数 (アングル取り付け間隔)	2個 (455mm以下)	3個 (455mm以下)	2個 (910mm)	5個 (455mm以下)	3個 (700mm)	6個 (455mm以下)	4個 (640mm)
耐荷重	20kg	40kg	20kg	80kg	40kg	100kg	60kg

※表示の耐荷重は等分布荷重での目安です。極部的な集中荷重での保証値ではありません。

(例)カウンター長さ1000mmアングル数3個の場合



※このオープンカウンター全体の合計耐荷重は36kgで、オープンカウンター全体の耐荷重40kgを満たします。

※耐荷重を満たしている場合でも、アングル取り付け間隔内1カ所へ20kg以上の荷物を置かないでください。設置条件によっては、たわむ場合もあります。

カウンターの取り扱いについて

- ①カウンター基材には、木質原料が使用されておりますので、直射日光が長く当たる場所や水漏れが多い場所(キッチンなどの水廻り)には使用しないでください。
- ②カウンターは水気・湿気を嫌います。水に濡れた場合速やかに乾いた雑巾で拭き取ってください。カウンターに接地した部分に塗装のヒビ割れ・ツヤ落ちが生じたり、変色するおそれがあります。
- ③熱い鍋やヤカンなどはカウンター表面に直接置かないでください。反り、割れが生じたり、変色するおそれがあります。置く場合は必ず鍋敷きなどの上に置いてください。
- ④ドライヤーやストーブなどの熱をカウンター表面に直接当てないでください。反り、割れが生じたり、変色するおそれがあります。
- ⑤包丁・カッターナイフ・鉛筆など鋭利なもので、カウンター表面に傷やへこみ傷を付けないようにしてください。
- ⑥カウンター表面にかたい物を落としたりぶつけたりしないでください。
- ⑦汚れ落としは食器用中性洗剤を使用してください。
酸性・アルカリ性の薬品や洗剤は使用すると変色・変質の原因となりますので使用しないでください。
- ⑧汚れ落としには布やスポンジを使用してください。
クレンザーや金属製のたわしなどは使用しないでください。
- ⑨汚れを放置すると取れにくくなりますので、早めに取り除いてください。

鋳物ハンガー

フィアンズ

- 鋳物ハンガーは壁面より前方に飛び出しているため、ご注意ください。
- フックに掛ける重さには制限があります。制限以上の物は掛けないでください。

■Aタイプ

掛ける物は5kgまでにしてください。



■Bタイプ

掛ける物は5kgまでにしてください。



■Cタイプ

掛ける物は上部5kg、下部5kgまでにしてください。



■Dタイプ

掛ける物は3kgまでにしてください。



■Eタイプ

掛ける物は5kgまでにしてください。

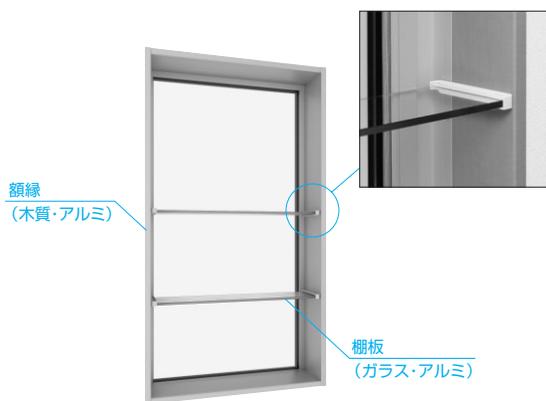


商品別使用上のご注意・調整方法

飾り棚ユニット (木質タイプ・アルミタイプ)

フィアンス

各部の名称



パイプセット (オプション)

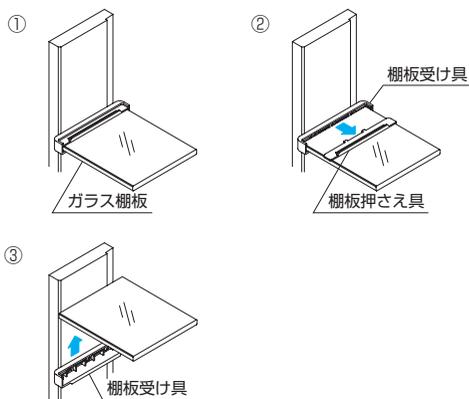
●棚板の上に載せる物の重さには制限があります。制限以上の物は載せないでください。

ガラス棚板…1枚当たり3kgまで

アルミ棚板…1枚当たり3kgまで

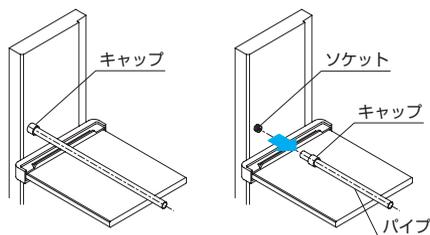
棚板のはずし方

下図のように棚板押さえ具をスライドさせて棚板受け具からはずし、棚板をはずしてください。



パイプセットのはずし方

アルミパイプの両端についているキャップを指でつまわしてソケットから取りはずしてください。



棚板の取り付け方

取り付け方法は逆の手順で行なってください。

パイプセットの取り付け方

取り付け方法は逆の手順で行なってください。

勝手口ドア

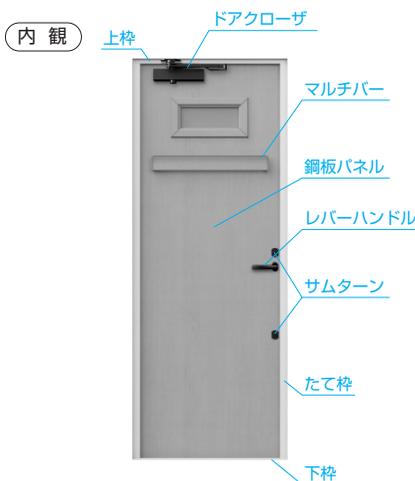
フィアンス

お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

各部の名称

■ドアクローザタイプ



■アームストッパータイプ



- マルチバーに掛ける物は5kgまでにしてください。
- マルチバーに掛ける物によっては開閉時のごすれ、ぶつかりなどによりドアを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。
- マルチバーには、ぶらさがらないでください。また、バーを持って開閉しないでください。脱落するおそれがあります。
- マグネットをドア表面（銅板パネル部）に取り付ける際、ドアを傷つけるおそれがありますので、取り扱いにはご注意ください。

ドア部品の操作・調整方法

施錠錠の操作

採風勝手口ドアの「レバーハンドル」(P.59)をご参照ください。

ドアクローザの調整

玄関ドアの「ドアクローザの調整」(P.47)をご参照ください。

豆知識

日常生活の中でサッシ、ドアなどについて「何かおかしい」と感じる現象が発生することがありますが、サッシ、ドアなどの不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

お住まいの中で発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しておりますので、暮らしにお役立てください。

商品の特性・自然現象

サッシの結露

窓ガラスやサッシ枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止と木部の腐食防止のために、こまめに拭き取ってください。

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生するものであり、サッシの不具合ではありません。室内の環境条件によっては、二重ガラス(複層ガラス)を使用しているものあるいは断熱サッシを使用しているものでも、結露が発生する場合があります。むしろ、ガラスやサッシ枠に結露が生じることは、押し入れの中やたんすの裏側のような目に見えない部分に発生する結露よりも対処しやすいといえます。

一般的には、秋、冬の季節は暖房により結露が発生しやすく、乾燥防止のために加湿器をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。特に、新築の家では、使用した木材などの建材に水分が多く含まれているため、

冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期に、その水分が放出しやすい室内環境になると、結露が発生しやすくなります。また、睡眠中に人の呼吸などにより発散する水分が結露の原因にもなるといわれております。寝室での換気に心がけてください。

結露を完全に無くすことはできませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことを励行してください。

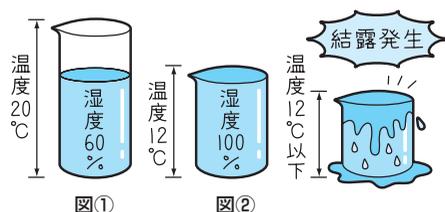
- ・寝室に限らず居室の換気をこまめに行ない、水分を含んだ室内の空気を排出する。
- ・室内で洗濯物を干さない。
- ・灯油ストーブは完全燃焼すると水分を生成します。できるだけ使用を控える。
- ・ストーブの上でやかんの湯を沸かさないこと。



■温度が下がると、水蒸気が水滴になり、結露が発生。

空気中には、必ず水分が「水蒸気」の形で含まれています。含むことができる水蒸気量の限界は、その空気の「温度」によって変わり、温度が高いほど多くの水蒸気を含むことができます。いま、温度20℃、湿度60%の空気があったとします(図①)。この空気の温度を下げていくと、約12℃で湿度が100%になります(図②)。さらに温度を下げると、この空気はオーバー分の水分を水蒸気として持つことができなくなり、水滴になります。この現象が結露です。

●結露発生メカニズム

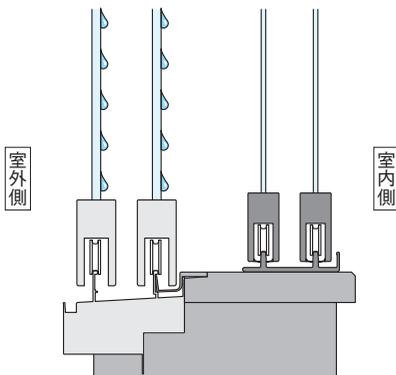


後付樹脂内窓 プラマイクEを取り付けた場合の外窓の結露について

後付樹脂内窓プラマイクEを既設外窓に取り付けると、室内側の結露の発生を減少させる効果はありますが、既設外窓に結露が発生する場合があります。

窓の気密性や風などによって生じる内外の気圧差の影響で内窓が結露する場合があります。

また、自然現象として季節に係わらず、室内の温度差が大きく湿度が高いと結露が発生する場合がありますが、後付樹脂内窓や既設外窓の不具合ではありません。カーテンがついていると内窓または外窓に発生した結露がカーテンにつき、シミやカビが発生する場合がありますので結露を抑えるようにしてください。



引違い窓(単体サッシ)全閉時のすき間風

引違い窓(単体サッシ)は、障子の全閉時にそのすき間をふさぐために、枠や障子にパッキングなどの気密部品を取り付けていますが、風が吹くと室内外に気圧差が生じてこの気密部品の接触部分から空気が入り出し、すき間風となります。このすき間風を規制する性能を気密性といえます。

従って、引違い窓(単体サッシ)の気密性は、枠と障子の接触部分から出入りする空気の量で示します。この出入りする空気の量が少ないほど性能がよいといえますが、日本工業規格(JIS)では、この空気の出入りを認めたものになっており、空気の出入りを遮断しなければならないことを規定してはおりません。

例えば、住宅用引違い窓(単体サッシ)の気密性は、一般にA-3等級またはA-4等級に該当します。A-3等級で定められている空気の入出力する量は、サッシ1m²当たり1時間に8m³以下であり、またA-4等級では2m³以下となっております。A-4等級の性能が良いことになります。

すき間風がかなり激しいと感じられる場合、サッシ各部の調整が不十分であることが考えられます。なお、換気扇を使用した場合は、強制的に空気を室外に排出することになるので、気密材と枠または障子の接触部分から空気が入ることがあります。「調整方法」(P.6)または「不具合対応 Q&A」(P.100)をご参照ください。

強風時、換気扇使用時の引違い窓(単体サッシ)の笛鳴り現象

引違い窓(単体サッシ)は閉鎖時にそのすき間をふさぐために、枠と障子にパッキングなどの気密部品を取り付けていますが、この気密部品は障子の軽快な開閉に支障を来たさないように、弾力性のある薄い樹脂で作られています。

例えば、窓やドアを閉めきった状態で換気扇を使用した場合、強制的に空気が室外に排出されると共に、同じ量の空気がサッシのすき間などから室内に入りこもうとします。その時、気密部品と枠または障子の接触部分を通りぬける空気が、笛を吹く状態と同じ現象を起こすこととなります。これを笛鳴り現象(風切り音)と言います。

このような現象は、一般的にサッシ各部の調整が不十分であるときにも生じると考えられます。「調整方法」(P.6)または「不具合対応 Q&A」(P.100)をご参照ください。

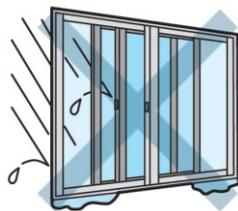
なお調整しても笛鳴りが治まらないときは室内の建具を少し開けたり、サッシに換気小窓が付いている場合は、少し(50mm程度)開けるなどして、空気の吸入口を確保していただく音が静かになります。

また、強風時においても、サッシの気密部品と枠または障子と接触部分から空気が通り抜けるので、換気扇を使用したときと同様に笛鳴り現象を起こすことがあります。同様に、高層マンションのように常時風が吹きぬげる所においても笛鳴り現象が起こることがあります。これは自然現象のひとつであり完全になくすることはできませんが、換気扇使用時の対策と同様の方法で音を小さくすることができます。

豆知識

二重サッシの雨水浸入防止

二重サッシは、外窓と内窓により、気密効果、断熱効果を高めたサッシですが、雨水の浸入防止は外窓で行ないますので、雨降りの場合は、必ず外窓を閉めて施錠してください。外窓を開けたままにして、内窓だけを閉めると、サッシ下枠に吹き込んだ雨水が壁内や室内へ浸入するおそれがあります。



サッシの遮音性

サッシの遮音性とは、サッシを通して室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ漏れる音をどれくらい遮ることができるのかを表す性能であり、音を完全に遮断し、住居内を無音状態にするというわけではありません。

一方、騒音に関しては、環境基本法第16条に基づいて、「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で、維持されることが望ましい基準（以下、環境基準）」が決められています。平成11年に環境基準の見直しがされ、睡眠影響、会話影響、不快感などを考慮し、立地条件、建物の用途などによりそれぞれ望ましい騒音レベルが決められています。

防音に配慮したサッシは、サッシのすき間をふさぐ気密部品を二重にする、サッシを全閉にし施錠した時にサッシ枠と障子を引き寄せて圧着させる「グレモン機構」などを採用してサッシのすき間を少なくするなど、サッシ単体の遮音性を高める工夫をしています。

ただし、実際の住宅ではサッシ以外に、換気口、換気扇などの空気の出入りするところがあり、また、ベランダの有無、ベランダの構造、家具の配置などによっては、同じ遮音性のサッシが付いていたとしても、部屋ごとに騒音レベルが異なります。

また、室内の遮音性は本来とらえにくいものであることから、JISによりサッシ単体としての遮音性を示すこととし、

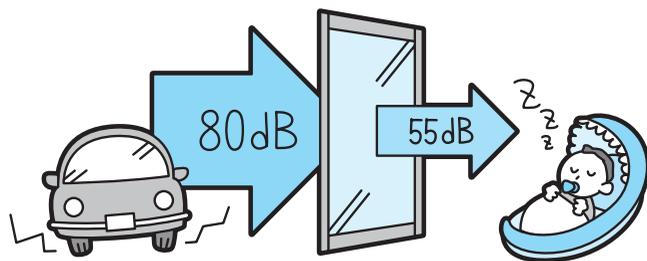
一律の基準として等級が定められています。これはサッシ単体の遮音性のみを測定できる専用の実験室で測定した性能であり、室内の遮音状態を表す目安としたものです。この性能値はデシベル (dB) という単位で表されています。

防音に考慮した住宅はT-1、T-2、T-3等級の遮音性を持ったサッシが使用されます。T-1等級のサッシでは25dBの音を遮る性能を持っており、室外で80dBの音を実験室内では55dBまで下げることができるという性能です。同様に、T-2等級とは30dBの音を遮る性能で、80dBが50dBとなり、T-3等級とは35dBの音を遮る性能で、80dBが45dBとなるという性能です。

これは、あくまで基準としてサッシの遮音性であり、実験室と実際の住宅ではサッシ以外のすき間の有無など、空間の条件が異なりますから、カタログなどに記載しているサッシの遮音性能値と、お住まいで実測する数値とは異なります。

言い換えれば、室内の測定値が悪いからといっても、必ずしもサッシの遮音性が悪いということにはなりません。

なお、室内の騒音レベルを低くする簡単な対策としては、室内に厚地のカーテンや絨毯など、吸音効果のあるものを使用するという方法があります。



網入板ガラスの割れ

ガラスの内部に金網が入っているガラスを「網入板ガラス」といいます。この網入板ガラスは、一般の板ガラスと比較して、ガラスが割れたときの脱落（飛散）防止性に優れています。このため、主に防火地域の窓や天窓に多く使用されています。

ところが、物がぶつかったりしないのに、あるいはいつの間にか、ガラスにひびが入っている場合があります。これは、網入板ガラスが、金網が入っているからといっても必ずしも強いというわけではなく、むしろ、そのために温度や雨水などの影響を受けやすい性質となっているからです。

温度による影響については、ガラスは一般的に膨張しないものと思われていますが、実は金属と同様に熱によって膨張する性質を持っています。ところが、直射日光を受ける部分とサッシの中に隠れている部分で温度差が生じるので、熱膨張にも差が生じます。この熱膨張の差によるひずみが、本来そのガラスが持っている「強度」を超えた場合、ひび割れが生じます。これを「熱割れ」といいます。減多に起きないことですが、一般の板ガラスにも生じることがあります。

特に、網入板ガラスは熱割れが生じやすくなります。それは、金網が封入されているため、切断時にガラスの切り口にきずが生じやすく、また均一な切断面になりにくいので、

一般の板ガラスに比べてガラス周辺部の強度がおおよそ半分しかないからです。網入板ガラスの熱割れは必ず起こる現象ではありませんが、ガラスの室内面に熱反射フィルムやポスターを貼るなど、温度や熱の影響をさらに受けるようになると、熱割れがより起こりやすくなります。

雨水による影響については、金網の錆があります。通常、網入板ガラスの金網に錆が発生しないよう、ガラス切断面に防錆処理を施していますが、経年劣化により防錆効果が衰えた場合やガラスの周辺にある合成樹脂製パッキングが経年劣化で硬くなったりひび割れたりして、パッキングの内部に雨水が浸入しやすくなった場合などが重なって、金網の切断面に錆が発生することがあります。

その錆がガラス内部に進行すると、金網が錆で膨らんでガラスにひびが発生します。この現象を「錆割れ」と呼んでいます。

また、金属線の入ったガラスを「線入板ガラス」といいますが、網入板ガラスと同様の理由で熱割れ、錆割れが発生することがあります。

このような熱割れや錆割れは、網入板ガラスの特性として不可抗的に発生します。ガラスにひび割れが発生したら、すみやかにガラス交換を業者に依頼してください。

網戸からの虫の侵入について

引違い窓（単体サッシ）は、ガラス戸と網戸を取り付けたり、取りはずしたりするために、また、軽快な開閉ができるように、ガラス戸同士の間やサッシ枠レールとの間にある程度のすき間を設ける構造となっており、完全に密着できるものになっていません。なお、これらのすき間は、円滑な開閉を考えて薄くて弾力性のある合成樹脂製のタイト材やパッキング材で、できるだけふさぐようになっています。

網戸も同様にガラス戸およびサッシ枠レールとの間にすき間を設ける構造となっており、これらのすき間は、開閉に支障のない範囲ですき間ふさぎ材（モヘア）を取り付けてふさぐようになっていますが、開閉構造の関係上、完全な密封状態にはなりません。

このような網戸は、基本的にガラス戸の開放時に部屋の通気を確保するとともに、人にとって有害または不快な虫の侵入をできるだけ防止することを目的としています。特に、夜間、光に誘われて集まる昆虫の侵入を抑止することができます。

※有害な虫の例・・・蠅、蚊、蛇、蜂、蛾、ゴキブリなど

※不快な虫の例・・・カメムシ、羽蟻、ウンカなど

昆虫の一般的な習性として、光に向かって飛来する他、10月、11月になって寒さが感じられる時節、または3月、4月のような春先の時節において、あるいは夏場でも山間部において朝晩の寒暖の差が大きくなる、外部の寒さから逃れるために、あるいは越冬のために暖気を感じられる家屋に集まる傾向があり、さらにサッシ枠と網戸のすき間にもぐりこもうとします。建物の周辺が自然環境に恵まれている所ほど昆虫の発生率が高く、このような傾向が強いといえます。

中でも、カメムシ、てんとう虫などの這いまわる甲虫（こうちゅう）は、少しでも暖かい方に向かってわずかのすき間からでも押し入ろうとする習性が強く、このため、網戸とガラス戸の間に集まって固まることとなります。場合によっては、ガラス戸に設けたヒレ状の柔らかい材質のタイト材を押しつけて、室内に侵入することもあります。従って、網戸があっても、このような習性を持つ昆虫の侵入を完全に食い止めることはできません。

なお、ガラス戸を半開き状態にした場合、すき間ふさぎ材（モヘア）が密着しない部分が生じるので、虫が入りやすくなります。虫の進入防止効果を確保するために、開放するガラス戸は全開にしてください。

万一、虫が室内に侵入した場合の対応策は、次のとおりです。

①殺虫剤、駆虫剤による駆除をお願いします。カメムシ専用の薬剤もあります。ホームセンター、ドラッグストア、害虫駆除業者などにご相談ください。

②特に、カメムシはうっかり触ると悪臭を出し手の指に染み付くことがあります。カメムシに触らずに処分するためには、ガムテープやセロハンテープを使用することをお勧めします。

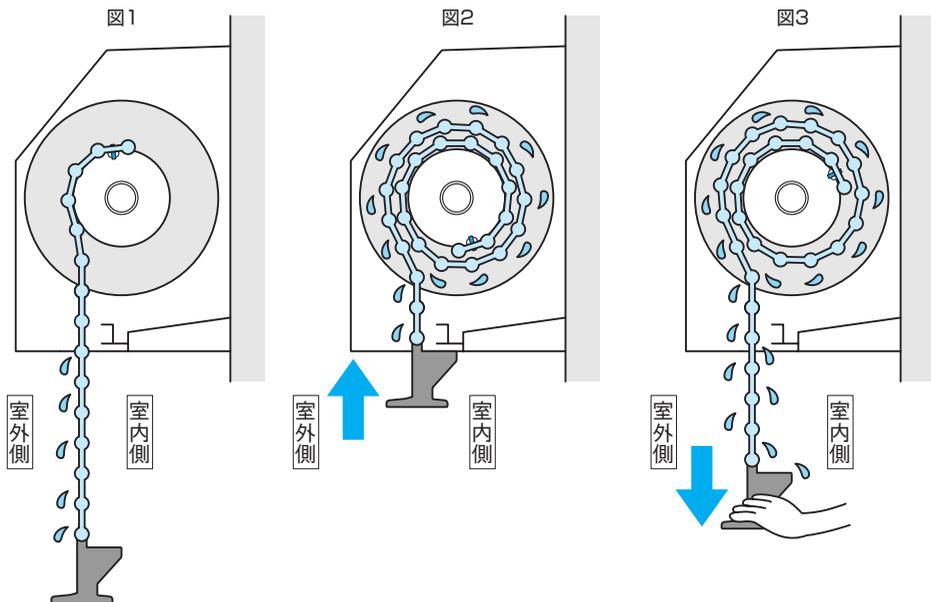
窓シャッターの内部面への雨水付着について

スラットの外部面に雨水が付着したまま(図1)、シャッターを上げると、巻き上げられていくスラットの内外面が接して水滴がスラット内部面にも付着します(図2)。

この状態でシャッターを下げると、シャッターボックス内は通気性が良くないこともあり、なかなか乾燥しづらいので、下がってくるスラットの内部面に付着した水滴が内側に落ちてきます(図3)。

このような現象は、サッシ外部で発生することであり、また、シャッター収納部の出幅寸法を小さくした商品の構造上回避できない特性であることから、商品の不良ではありません。

また、手動のシャッターでは、雨水の付着量が多く開閉スピードが速い場合は、水滴が室内へ飛散することもありますので、ゆっくりと開閉してください。



断熱玄関ドア・引戸の熱反り

断熱ドアは室内外の熱を伝えにくい構造としてあるため、直接、日差しがあたるなど室内外の温度差によってはドアの本体に反りが発生する場合があります。

この反りは、一時的な現象で日差しの角度が変わるなど、内外の温度差が小さくなるとともに解消するもので、ドアの不具合ではありません。

建築計画の段階で、ドアの設置場所やひさし・軒など日射遮蔽の配慮をお願いします(なお、立地条件などによって反りの量は一定ではありません)。

本体の反りが発生してドアが閉まりにくい、すき間が生じた場合は、ストライク(錠受け金具)、ドアガードでの調整をお願いします。詳細は、P.45・47をご参照ください。



玄関ドアの音鳴り現象

住宅の玄関ドアに太陽光が当たると、パキパキ、ギシギシ、コーンなどの異音が発生することがまれにあります。

これは、ドアの特徴としてサッシに比べて構成部材数が多く、また、その表面面積も大きいために、太陽光を直接受けて温度上昇が生じる室外側と太陽光を受けない室内側とで表面の温度差が生じやすく、この温度差に伴う熱膨張の差で生じる室内外面のわずかな歪みと、たて横の大小の構成部材間で異なる熱膨張と重なって生じる摩擦が原因になります。

このような音の発生現象は、特に春先や秋口など外気温が低い時期に、玄関に陽が当たると、まれに発生することがありますが、立地条件、季節、使用材料の特性（熱伸び率の差）などの違いにより起きる不可抗力現象であり、ドアの不具合によるものでなく、また、必ず発生するものではありません。

音は陽が高くなって外気温が上がったり、陽がかげたりすれば自然に止みますが、繰り返し発生するなど気になる場合は、お近くの当社支店・営業所までご相談ください。

玄関ドアなどからの雨水浸入

強風雨時、玄関ドア、玄関引戸または勝手口ドア・勝手口引き戸から雨水が浸入することがあります。

玄関はポーチ屋根により通常の風雨を防げること、玄関は居室と違い土間がタイルなどで仕上げられ、濡れても問題ではなかったことなどから、玄関および勝手口（土間納まり）の出入り口に使用されるドア・引戸には、居室に使用されるサッシと同等の水密性は要求されていません。

また、ドア・引戸の施錠機構は、サッシに採用されているような、枠と障子を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。

玄関のポーチ屋根の大きさ、勝手口のひさしの有無などにより、強風雨時にドア・引戸の枠と本体のすき間、ガラスやパネルの縁縁まわりから雨水が土間に入ることがありますが、商品の不具合ではありません。

玄関ドア・引戸の表面温度

商品をご使用中、ドア全体が熱くなることがありますが、これは玄関ドア本体に長時間直射日光があたり、表面温度が上昇することで発生します。

特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇します。直射日光が強い時間帯はヤケドをするおそれがありますので、開閉の際はご注意ください。



豆知識

ステンレスの錆

ステンレスは強度に優れ、腐食や摩耗に対して強い特長を有していることが知られています。このため、サッシ・ドアの部品の中で耐久性や強度が要求される玄関引戸のレール、錠前、丁番などに使用されています。

ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されているからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。

そのため、ステンレスの表面が汚れていると、酸素との接触が妨げられるので錆が発生することがあります。

従って、ステンレスは決して「錆びない」ものではなく、むしろ「錆びにくい」金属と言えます。

錆が発生するのは、例えば次のような場合です。

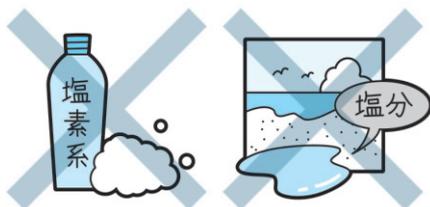
- 塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行なった際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
- 海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合



この他、ステンレスが錆びる要因として、「もらい錆」と言われるものがあります。「もらい錆」とは、例えば鉄くぎの錆が表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身が錆びたように見える現象です。

錆は台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合、表面にこすり傷がつくことは避けられません。「もらい錆」が落ちない場合は、錆が進行してステンレス自身に錆が生じたものと考えられます。

一旦発生した錆は落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意をして日頃から食器用中性洗剤でこまめにお手入れをしてください。錆の発生を防ぐことができます。



排気ガス接触腐食（給湯器からの排気ガスによる腐食）

表面異常の多くは、ガス給湯器からの排気ガスが原因となっています。

排気中に、微量ながら硫黄分が含まれている場合があり、これが空気中や排気中の水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような腐食性の酸を作ります。これらの酸が、塗装表面に付着→滞留し、塗膜自体を劣化させたり、塗膜の微細孔などから塗膜一皮下膜界面に侵入し、化学反応を起こすことによって、塗膜の密着を阻害します。

また、排気口の近辺で長時間にわたって繰り返される高温高湿と常温常湿のサイクルは、原因となる酸を濃縮させたり、化学反応を促進させるため、異常の発生を早めます。給湯器および車の排気ガスが直接アルミにあたらぬようご注意ください。

また、直接ではなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも表面異常が発生する場合があります。

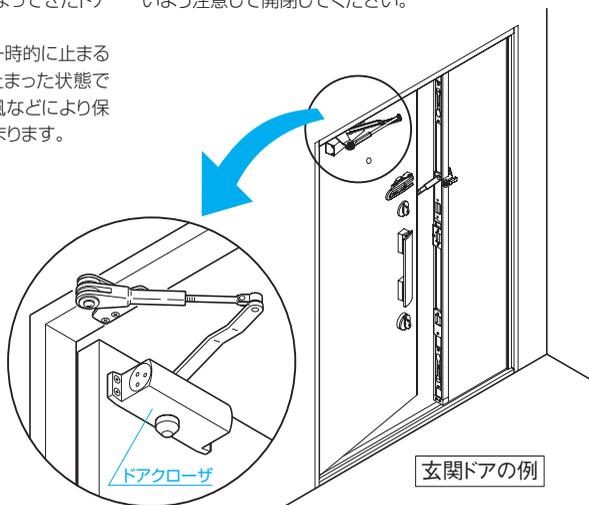
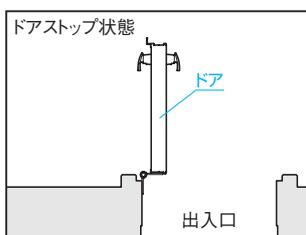
給湯器排気口近辺にアルミを使用する場合は、排気ガスが直接あたらないようにしていただくか、こまめにお手入れしていただくとともに周辺の通気を確認した上でご使用をお願いいたします。



ドアクローザの機能について

ドアクローザとは、住宅用ドアでは一般的に内側上部に付き、ドア側に付いている箱のような本体部と本体とドア枠をつなぐアーム部で構成された部品です。この部品は、開けたドアをゆっくり、静かに閉めるための装置で、内部に密封された油の圧力により閉じる構造になっています。また、通過中の人がドアに挟まれないよう、閉まってきたドアを人の力で開けられるようになっています。

また、ドアを一定の角度で開いた状態で一時的に止まる機構が付いたドアクローザもありますが、止まった状態でロックする機構にはなっていないので、風などにより保持力の限界を超える力がかかるとドアは閉まります。



その他、バックチェック機能といい、 $70^{\circ}\sim 80^{\circ}$ から油圧が働いて、急激にドアが開くことを押さえる機能が付いたものがあります。バックチェック機能が付いている場合、 $70^{\circ}\sim 80^{\circ}$ 以上ドアを開けるときは多少重くなりますが、故障ではありませんのでゆっくり開けてください。

また、ディレードアクション機能といい、 $70^{\circ}\sim 80^{\circ}$ までゆっくり閉まり、高齢者、お身体の不自由な方、荷物を搬入する際の出入りに配慮した機能が付いたものがあります。ディレードアクション機能が働いている区間で閉じかけているドアを閉じる方向に強く押ししたり引いたりしないでください。

なお、ドアを繰り返し開閉することでドアクローザを取り付けているねじがゆるみ、ドアが円滑に開閉しなくなることがありますので、ドアクローザを取り付けているねじがゆるんだときには、ねじを締め直してください。

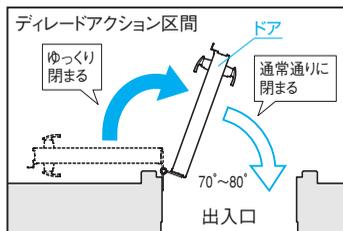
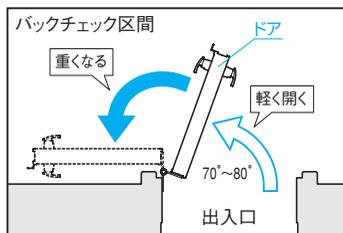
また、季節の温度変化により内部に密封された油の粘性が変化し、温度が高くなる夏場にはドアの閉じる速度が速くなることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますのでご注意ください。

ドアの閉じる速度は、速度調整弁により調整することができます。「ドアクローザの調整」(P.47)をご参照ください。また、ディレードアクション機能の有無にかかわらず、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押ししたり引いたりしないでください。強制的にドアを閉めることにより、内部

従って、ドアを開閉する際に強風が吹いていたり、窓などの開閉によって屋内を通る突風が発生するなど、ドアに強い力が加わった場合は、ドアが急に開いたり閉まったりすることがありますので、強風時などにドアを開閉する時は、ハンドルをしっかり持ち、ドアと枠の間に手などが挟まれないよう注意して開閉してください。

の油が漏れたり、ドアを閉める速度の調整ができなくなる原因になります。

ドアクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合、放置しておくで閉扉速度の調整が効かなくなり事故につながるおそれがありますので、速やかに建築会社様、工務店様または販売店様に修理、交換依頼をしてください。



窓の性能

窓やドアには、採光・換気・人の出入り・プライバシーの保護といった機能があるのももちろんですが、台風や火災から住まいを守ったり、ストーブやエアコンを有効的に使うなど、それぞれの住まいで快適に暮らすためには欠かせない性能があります。窓やドアの性能は車や家電製品と同様に日本工業規格（JIS）で規定されています。これらの性能についてそれぞれの内容を説明します。

耐風圧性について

●耐風圧性とは

強風などによってサッシやドアが変形したり、ガラスが破損したり、また障子などが脱落することがないようにサッシ・ドアがどれくらいの風圧に耐えられるのかを表わす性能のことです。



●一般的な住宅の場合は

住宅に必要な性能はJIS等級では目安として
 ○1階ではS-1（80kgf/m²「風速36m/s程度」）
 ○2階ではS-2（120kgf/m²「風速44m/s程度」）
 ○3階ではS-3（160kgf/m²「風速50m/s程度」）
 程度の性能が必要とされています。

ただし、住宅の立地条件により異なります。立地条件がサッシに対して不利な場合（山の上など高い場所に建って

●性能等級例

開口部に必要な耐風圧強度は、建物の形状・立地条件・設置する高さなどにより求めることができ、JISで定義する等級では、S-1、S-2、S-3の順に耐風圧性が高くなります。それぞれの性能等級がどの程度かと言うと、例えばS-2の場合、サッシ一面1㎡当り120kg相当の力が均一に加わった状態でサッシが変形しても変形量は基準以下で、サッシに変形が残ったり、破損することはないということです。

JISグレード（JIS A 4706・4702）

等級
S-1
S-2
S-3

いるなど）は上記性能以上の性能が必要になります。

ただし、この基準は均一に加わることを想定しているため飛来物などで、ある箇所へ集中的に力が加わった場合は破損することもあります。

強風や台風で、サッシ中央部が風によって押しされ、変形したり元に戻ったりする状態がみられることがありますが、前述の風速以下であればサッシに問題ありません。

気密性について

●気密性とは

サッシのすき間から漏れる空気の色を示す値で、サッシ1㎡における1時間当たりの通気量を、JISで定義する等級で表します。A-1、A-2、A-3、A-4の順に気密性が高くなります。

窓（サッシ）から出入りする空気の色が少ないほうが良いということになります。夏や冬の外気と室内の温度差が大きい場合、気密性が良くないと内外の空気の出入りによって冷房や暖房の効率が悪くなることとなります。



一般サッシはA-3、断熱サッシはA-4等級の性能が必要とされます。

例えば、風速4m/sの風が正面から当たっている時に、サッシ1㎡あたりA-3等級では1時間に8m³以下、A-4等級では1時間に2m³以下の空気が出入りする性能ということです。

※風速4m/sとは、木の葉や小枝などが動き続けるほどの風の強さです。

■必要等級の目安【JISグレード（JIS A4706、A4702）】

等級	A-1	A-2	A-3	A-4
用途	通気性を必要とする特殊部位			
	一般建築用			
				防音・断熱・防塵建築用

水密性について

●水密性とは

風に伴った雨のときに、屋内への雨水の浸入をどの程度防げるかを示す性能で、W-1、W-2、W-3、W-4の順に水密性が高くなります。

雨水の浸入は降雨量よりも風圧力が深く関係しています。

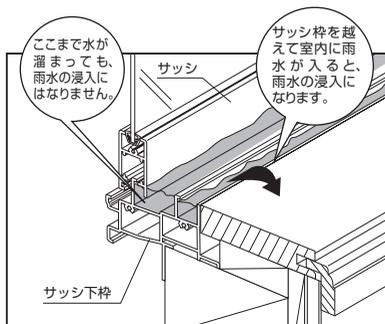


●一般的な住宅の場合

住宅に必要な性能はJIS等級では目安としてW-2等級もしくはW-3等級が必要となっています。

水密性の試験条件は過酷な気象条件を想定したものです。

例えば、W-2等級とは1時間あたり240mmの降雨量に、風速16m/s程度の風が吹いてもサッシから雨水が浸入しない状態であり、W-3等級では風速20m/s程度の風が吹き込んでも雨水が浸入しないということになります。



※雨水の浸入の判断基準は、サッシ枠を超えて室内に雨水が入ってくることであり、サッシ下枠内に水が溜まることは室内への浸入とはなりません。

■必要等級の目安 (JISグレード (JIS A4706, A4702))

等級	W-1	W-2	W-3	W-4
用途	市街地住宅			
	郊外住宅			

遮音性について

●遮音性とは

屋外から屋内に入ってくる音(自動車や電車・飛行機などの騒音)や屋内から屋外へ出ていく音(ピアノやテレビ・ステレオなどの音)をどの程度遮ることができるかを表す性能です。

防音性を考えた住宅では、一般的にJIS等級T-1の性能のサッシが使用されています。

どの程度の音が遮ることができるかという、一般サッシ(5mm厚ガラス使用時)T-1で25dB(A)を遮ることができ、例えば外部で80dB(A)(線路や交差点周辺)あったとすればT-1では55dB(A)以下の音量になるということです。



JISグレード (JIS A 4706・4702)

等級
T-1

■騒音レベルと相当する環境

騒音レベル dB(A)	20	40	60	80	100	120	140
騒音環境	ささやき	静かな公園	静かな乗用車内	道路の交差点	自動車の警笛より3m	ロックバンド	ジェットエンジンの近く
	きわめて静か	静か	普通 (日常生活で望ましい範囲)	うるさい	きわめてうるさい	聴力機能障害	
遮音性	55dB(A)		T-1 (25)		80dB(A)		

豆知識

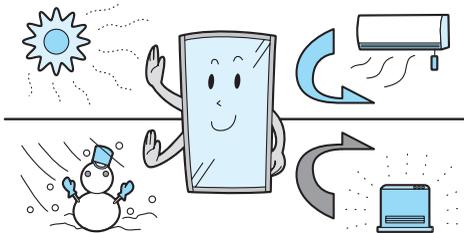
断熱性について

●断熱性とは

サッシを通して流れる熱の量を示し、内側と外側の温度差が20°Cの状態です。サッシから伝導する熱量から熱貫流抵抗(R)を算出し、JISで定義する等級で表わします。

サッシの断熱性はサッシ自体・枠と障子のすき間・ガラス面などの3要素が関係あり、等級が高いほど断熱性が高いこととなります。H-1、H-2、H-3、H-4、H-5の順に断熱性が高くなります。

夏



冬

熱は温度の高い方から低い方に流れる特性を持っており、熱貫流率とは内外の温度差が1°Cの時、サッシ1㎡あたり1時間に何calの熱が流れるかを表した数値です。

また、熱貫流抵抗は、熱貫流率の逆数(1/熱貫流率)で、熱の流れにくさを表しています。

熱貫流率は小さいほど、熱貫流抵抗は大きいほど、断熱性に優れているということになります。

●断熱性の基準

JISによる基準以外に国土交通省による告示があります。

住宅に求められる断熱性はそれらの基準に基づき住宅金融支援機構の基準金利適合条件や割増融資条件、その他の融資制度などに適合する断熱性として地域ごとに設定されています。

JISグレード(JIS A 4706・4702)

等級	熱貫流抵抗	参考熱貫流率
H-1	0.215	4.65W/(m ² ·K)以下 [4.0kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-2	0.246	4.07W/(m ² ·K)以下 [3.5kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-3	0.287	3.49W/(m ² ·K)以下 [3.0kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-4	0.344	2.91W/(m ² ·K)以下 [2.5kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-5	0.430	2.33W/(m ² ·K)以下 [2.0kcal/(m ² ·h·°C)以下]

お手入れ方法

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。
※すりきずなどシート表面の軽微な傷を補修するため、修正ペンをご用意しています。

施工店様、工務店様、ハウスメーカー様にお問い合わせください。

アルミ・ステンレス製商品のお手入れ

清掃回数について

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、腐食やしみの原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。

特に沿岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる腐食やしみが進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

レール(下枠)のお掃除

●レール・下枠は、砂やほこりの溜まりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的に掃除をしてください。

掃除の方法は、ブラシやハケで砂ほこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けたもので拭き取れば、さらにキレイになります。

●アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、電氣的に腐食をおこすことがあります。サッシのレールに釘やヘアピンなどを放置しないでください。

●排水キャップのついたレールについては、キャップの目詰りを防止するために掃除機で定期的に掃除をしてください。

お手入れ方法

●汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。金属タワシなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。



●水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。



お手入れのご注意

●有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やトイレ用の酸性洗剤やアルカリ性洗剤は、表面を傷し腐食のもととなりますので、使用しないでください。



木質建材商品のお手入れ

お手入れ方法

通常は乾拭きをしてください。汚れがひどい時には、薄めた食器用中性洗剤を含ませ固く絞った雑巾で拭き取ってください。その後、必ず乾拭きをしてください。

お手入れのご注意

シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、たわしやブラシなどは絶対に使わないでください。表面にキズがついたり変色や変質の原因になります。

使用上のお願い

セロハンテープ、シールなどを貼らないでください。粘着剤によって汚れがこびりついたり、はがす際に表面の仕上げががれてしまうおそれがあります。



お手入れ方法

樹脂製商品のお手入れ

断熱商品には性能を高めるため、枠および障子が樹脂で作られているものがあります。樹脂の中でも特に酸、アルカリに対して強い材質を選択していますが、長く快適に使用していただくために、樹脂製商品に対して注意すべき点があります。

お掃除はなるべくマメに

樹脂は、アルミニウムなどの他の材質と比べると、傷つきやすい性質があります。レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、傷の原因となりますので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。
- ②汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。
- ③洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。



お手入れのご注意

- ベンジン、ガソリン、アセトン、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 樹脂の表面は傷つきやすいので、お掃除の際には柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金ペラは使用しないでください。



使用上のお願い

- マジックインク・クレヨンなどで書くと、落ちなくなることがありますので、使用しないでください。
- 使用している樹脂は高温に弱いのでストーブ、アイロンなど、火および熱源を近づけたり触れたりしないでください。



鋼板製商品（鏡板・雨戸パネル）のお手入れ

鋼板製品の敵は腐食

鋼板製品は、表面に二重の焼付塗装をほどこし、腐食に対して十分な配慮をしています。

しかし、鋼板にはどうしても腐食に弱い性質があるため、表面についた汚れは、早めに落としてください。

お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。
- ②汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。
- ③洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。

お手入れのご注意

- ベンジン、ガソリン、アセトン、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 鋼板の表面は傷つきやすいので、お掃除の際には柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金ペラは使用しないでください。



鋼板ドア・引戸表面材のお手入れ

お手入れ方法

- ①汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。金属タワシなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。
- ②水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。

お手入れのご注意

汚れを放置しておきますと、落ちにくくなる場合がありますので、定期的なクリーニングを実施してください。

特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる腐食やしみが進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

●ベンジン、ガソリン、アセトン、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。

●鋼板の表面は傷つきやすいので、お掃除の際には柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金ペラ・高圧洗浄機は使用しないでください。



樹脂シートをラミネートした商品のお手入れ

お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。
- ②汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。
- ③洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。



お手入れのご注意

●ベンジン、ガソリン、アセトン、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。

●樹脂シートの表面は傷つきやすいので、お掃除の際には柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金ペラ・高圧洗浄機は使用しないでください。



お手入れ方法

木質系ドアのお手入れ

木質系ドアの特徴

使用素材について

木質系ドアのドア本体は、木材を主構成材に反りや狂いを抑えるために金属板を複合構成し、加工接着させ、住宅用に仕上げた木質系複合玄関ドアです。

木質系ならではの質感、触感を味わってください。

枠については永年の強度保持を目的に主構造部をアルミとし、各種機能を持たせています。

また、天然素材である木材を主構成材とした木質系ゆえの特徴をご理解いただき、ご愛用くださいますようお願いいたします。

木材について

木材には湿気の高いときには水分を吸うという特徴があり、わずかな寸法の伸び縮みが起こりますが木材の特性上、やむをえないものとご理解ください。

また玄関ドアは室外側が日光に熱せられて反りが発生します。そのような場合は調整をすることにより実用上支障のないものとなりますが、日常的に直射日光にさらされる位置への取り付けはやめてください。

木質系ドアのお手入れ

ドア本体の掃除方法

雨の降った後のようにドア本体や枠の表面に水分が付着している場合は、固く絞ったきれいな布で拭いてください。ぬれたままにしておくとうドア本体の劣化が早まることがあります。

汚れがひどい場合は、薄めた食器用中性洗剤を含ませ、固く絞った柔らかい布で拭き取ってください。掃除の際、大量の水を直接かけたり、有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）を使用したり、化学薬品（酸・アルカリなど）の入った洗浄剤を使用しないでください。

ほうきやたわしなどの硬いものでこすらないでください。表面が傷む場合があります。



ワックスがけについて

カラッと晴れ上がった好天の日に、2~3ヶ月に一度くらいドアにワックスがけしてください。使用方法はワックスの取扱説明書に従って行ってください。

自動車用ワックスは絶対に使用しないでください。金具類についても研磨剤入りのものは使用しないでください。表面仕上げが落ちてしまいます。

風がなくほこりのまっていないときに行ってください。また表面の砂ほこりを取ってからワックスがけしてください。



ガラスの清掃について

固く絞った柔らかい布で汚れを軽く拭くようにしてください。汚れがひどい場合は、薄めた食器用中性洗剤を柔らかい布に含ませて拭き取ってください。樹脂化粧が施してあるガラスは特に強くこすったり、強い薬品でクリーニングすると樹脂部分の変質や化粧の変色・はがれのおそれがあります。

風がなくほこりの舞っていない時に清掃してください。また、たわしやホウキなどの硬いものでこすらないでください。

お手入れ推奨ワックス

次のワックスがおすすめです。

- ・リンレイ 玄関ドア用つや出しワックス
- ・ジョンソン プレッジ(家具用)

ワックスリムーバーやクリーナーなどは使用しないでください。ワックスの拭き残しはほこりがついたりして変色の原因となります。薄く均一に塗り広げるようにしてください。

錠 (外装部)・ハンドル (把手) のお手入れ

お手入れ方法

柔らかい布に水を浸し、表面に付いたほこり・砂などを洗い落としてください。
 柔らかい布またはスポンジで全体を水拭きしてください。
 ※水拭きで落ちない場合は、食器用中性洗剤(1~2%の水溶液)を使い軽く洗い流してください。
 乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。



汚れの程度によるお手入れ方法

- 水では落ちにくい
 汚れのお手入れ……………①②③を行なってください。
- 風雨のかかった後の
 お手入れ……………②③を行なってください。
- 軽い汚れのお手入れ
 (定期的な掃除)……………③を行なってください。



お手入れのご注意

- 酸・アルカリ・塩素系などの化学薬品で洗浄しないでください。錠やハンドルに錆や変色が発生するおそれがあります。

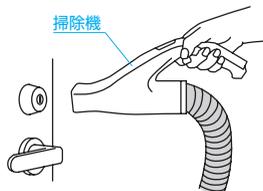


錠 (キー)・錠穴 (シリンダー) のお手入れ

お手入れ方法

錠の抜き差しがスムーズでない(または重い)場合

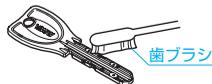
- 掃除機を錠穴につけ、中のゴミを吸い出します。
 (パソコンのキーボードゴミを飛ばす「エアダスター」などでもよいです)



- 錠の全ての切り込み部分を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、その錠を錠穴に挿入して数回抜き差しをしてください。錠の抜き差しがスムーズになります。
 また、一度でスムーズにならない場合は同じ方法を繰り返してください。



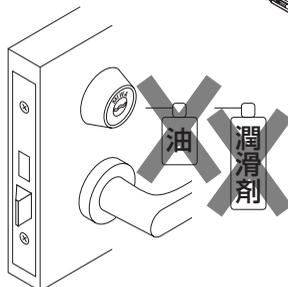
- 錠の抜き差しがスムーズになりましたら、錠に付着している黒い粉を布などで拭き取ってください。付着したまま使用されますと、衣服などを汚す場合があります。
- 錠の刻み部分や溝部の汚れ(ゴミやほこり)で動きが悪くなる場合があります。錠が汚れた場合は、歯ブラシなどで刻み部分や溝の汚れをかき出してください。



お手入れのご注意

- 錠穴に注油しないでください。油がほこりを呼び動きを悪くします。
 ※別途専用潤滑剤(オプション)をご用意しています。
 当社支店・営業所にお問い合わせください。

〔美和ロック用 商品記号「WD7115」〕
 〔ゴール用 商品記号「WD7116」〕



お手入れ方法

網戸のお手入れ

網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光があたったり、風雨にさらされるなど、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網がはずれることがあります。

時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部のはずれのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。異常があれば、お早めに張り替えてください。

お手入れ方法

網戸ははずし、網の張ってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ・スポンジなどで水洗いしてください。油污れがひどい場合は、ぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤をつけた柔らかい布・スポンジで軽くふいてください。なお、網戸のはずし方は、「商品別使用上のご注意とお願い」および「各部の調整方法」についての各窓の種類を参照してください。

●網戸の枠の部分は、サッシのお手入れと同じ方法で行なってください。

お手入れのご注意

網の張ってある側を上にしたり、たてかけたままで洗うと、網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがありますので、必ず網の張ってある側を下にして清掃してください。

アコーディオン網戸のお手入れ

日頃のお手入れ方法

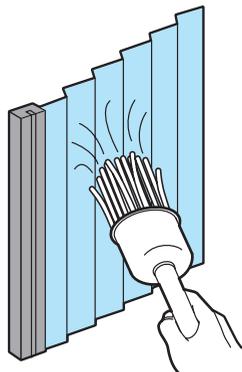
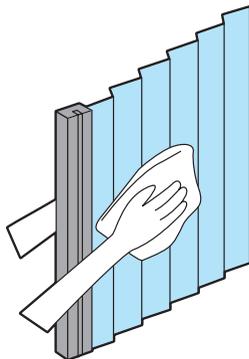
ネットについた綿ぼこりや砂ぼこりは、掃除機で吸い取ってください。

しつこい汚れのお手入れ方法

日頃のお手入れと同様に、綿ぼこりを取り除きます。食器用中性洗剤や網戸用スプレー洗剤をつけ、スポンジなどでネットを挟みながら洗ってください。水をつけて固く絞った雑巾でネットを挟み、洗剤を拭き取ってください。

お手入れのご注意

- 掃除機は先端にブラシなどの付いたノズルを使ってネットの折り目(たて方向)に沿ってかけてください。
- ネットを強く引っ張らないでください。網戸破損の原因となります。



ロール網戸（左右開閉タイプ）のお手入れ

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

清掃回数について

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、腐食やしみの原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。

特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる腐食やしみが進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

ネットのお掃除

<室内側>

網戸を使用した状態にし、ネットを強く押さない程度に柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。

<室外側>

ケースカバーをあげ、スライドバーを動かしながらロール部を柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。

- ケースカバーを開いたままで放置しないでください。ケースカバーが脱落するおそれがあります。ケースカバーはメンテナンスのため取りはずし可能な機構になっています。
- ネットの交換の際は販売店または当社までご連絡ください。

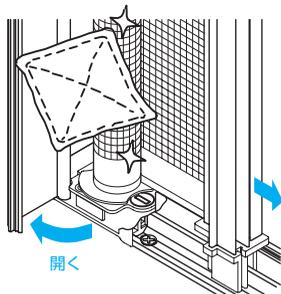
お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。
- ②汚れは、柔らかい布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかい布などを使って洗い落としてください。
- ③洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。



全体のお掃除

- レールは、砂やほこりの溜まりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的な掃除をするようにしてください。掃除の方法は、ブラシやハケで砂ほこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けて拭き取ればさらにキレイになります。
- アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、電気的に腐食を起こすことがあります。釘やヘアピンなどを放置しないようにしてください。



お手入れのご注意

- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やトイレ用の酸性洗剤やアルカリ性洗剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。また、金属タワシなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもととなりますので、使用しないでください。



修理の依頼

●修理の依頼について

長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみ、ドア本体のがたつきなどの不具合が発生することがあります。そのまましておきますと人身事故や家財の損害などの原因になります。対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、施工された業者様にご相談ください。

不具合対応 Q&A

引違い窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
施錠時にクレセントがかかりにくくなった、または、かからない。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセントの調整をしてください。 本書 (P.7) をご参照ください。
	戸車の高さが適切ではない。	戸車の調整をしてください。 本書 (P.6) をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
障子がスムーズに開閉しない。	はずれ止めの位置が適切でない。	はずれ止めの調整をしてください。 本書 (P.6) をご参照ください。
	戸車がレールに乗っていないなど、障子が正常にはめ込まれていない。	障子を一度はずして、はめ込み直してください。 本書 (P.5) をご参照ください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮みが生じている。	
	枠と障子部品 (振れ止め、気密材) のごすれがある。	
	上枠・下枠レールにきず、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	
全閉施錠時に障子が、がたがたする。 (枠内で障子にあそびがある)	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセントの調整をしてください。 本書 (P.7) をご参照ください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	
	振れ止め、気密材、戸当りなどが経年劣化により破損している。	

引違い窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉施錠時にすき間が見える。	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書(P.6)をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセントの調整をしてください。 本書(P.7)をご参照ください。
	経年劣化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
全閉施錠時にすき間風、ほごりなどが入る。	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書(P.6)をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセントの調整をしてください。 本書(P.7)をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ねじ穴キャップの脱落がある。	
経年劣化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。		
障子開閉時に異音がする。	戸車がレールにのっていないなど、障子が正常にはめ込まれていない。	障子を一度はずして、はめ込み直してください。 本書(P.5)をご参照ください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	枠と障子部品(振れ止め、気密材)のこすれがある。	
	上枠・下枠レールにきず、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	
下枠部に雨水がたまり下枠からあふれるおそれがある。	水密性を保持するために、下枠に水をためる構造にしている。	サッシの不具合によるものではありません。詳しくはサッシの水密性について本書(P.91)をご参照ください。
	排水溝にごみが付着している。	清掃をしてください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
全閉施錠時下枠部からしぶきが入る。	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書(P.6)をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセントの調整をしてください。 本書(P.7)をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

不具合対応 Q&A

網戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
網戸がスムーズに開閉しない。	はずれ止めの位置が適切でない。	はずれ止めの調整をしてください。 本書(P.8)をご参照ください。
	戸車がレールにのっていないなど網戸が正常にはめ込まれていない。	網戸を一度はずして、はめ込み直してください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	網戸のすき間ふさぎ材の当たりが強すぎる。	
	網戸が反っている。	
	上枠・下枠レールにきず、変形がある。	
経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。		
網戸がはずれる、または落下する。	はずれ止めの位置が適切でない。	はずれ止めの調整をしてください。 本書(P.8)をご参照ください。
	はずれ止めが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	
網戸開閉時に異音がする。	戸車がレールにのっていないなど網戸が正常にはめ込まれていない。	網戸を一度はずして、はめ込み直してください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	すき間ふさぎ材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	
	網戸のすき間ふさぎ材の当たりが強すぎる。	
上枠・下枠レールにきず、変形がある。		
障子の開閉時に網戸と一緒に動く。	網戸の反りで、すき間ふさぎ材が障子に強く当たっている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

シャッター付引違い窓・窓用単体シャッター・出入口用単体シャッター（電動・手動タイプ共通）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
シャッターが開かない。	座板についている錠を施錠したまま操作している。	解錠してから操作してください。 本書（P.11）をご参照ください。
	シャッターが凍結している。	溶けてから操作してください。
シャッターがスムーズに開閉しない。	ケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、錆がある。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	スラットがずれている。	
	モヘアが経年劣化により摩耗している。	
シャッターの開閉時異音がする。	ケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、錆がある。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	スラットがずれている。	
	モヘアが経年劣化により摩耗している。	
施錠できない。	座板についている錠が破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

不具合対応 Q&A

シャッター付引違い窓・窓用単体シャッター・出入口用単体シャッター（電動タイプ）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
壁スイッチを入れても動かない。	連続運転によりモーターが加熱して、停止機能が働いた。	一旦スイッチを切り、10分程度休ませてから操作してください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーをONにしてから操作をしてください。
	停電。	通电されてから操作をしてください。
	駆動機構や制御盤が経年劣化により故障している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
リモコンを入れても動かない。	連続運転によりモーターが加熱して、停止機能が働いた。	一旦スイッチを切り、10分程度休ませてから操作してください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーをONにしてから操作をしてください。
	停電。	通电されてから操作をしてください。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。
	リモコンの操作範囲外で操作している。	操作範囲内で操作をしてください。
	リモコン信号受光部がふさがれている。	リモコン信号受光部をふさいでいる障害物を取り除いてください。
	駆動機構が経年劣化により故障している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	リモコンが破損している。	
リモコンの操作距離が短くなった。	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。
シャッターが開閉途中で止まる。	ケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	駆動機構が経年劣化により故障している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

雨戸付引違い窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
施錠時に錠がかりにくくなった、またはかからない。	雨戸締り錠本体と受けの位置が合っていない。	受けの調整をしてください。 本書 (P.10) をご参照ください。
	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書 (P.10) をご参照ください。
	雨戸締り錠本体、受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
雨戸パネルがスムーズに開閉しない。	はずれ止めの高さが適切でない。	はずれ止めの調整をしてください。 本書 (P.9) をご参照ください。
	戸車がレールに乗っていないなど、雨戸パネルが正常にはめ込まれていない。	雨戸パネルを一度はずして、はめ込み直してください。 本書 (P.9) をご参照ください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	枠と障子部品 (振れ止め、気密材) のこすれがある。	
	上枠、下枠レールにきず、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	
全閉施錠時にすき間が見える。	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書 (P.10) をご参照ください。
	雨戸締り錠本体と受けの位置が合っていない。	受けの調整をしてください。 本書 (P.10) をご参照ください。
	経年変化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
雨戸パネル開閉時に異音がある。	戸車がレールに乗っていないなど、雨戸パネルが正常にはめ込まれていない。	雨戸パネルを一度はずして、はめ込み直してください。 本書 (P.9) をご参照ください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	枠と障子部品 (振れ止め、気密材) のこすれがある。	
	上枠、下枠レールにきず、変形がある。	
経年変化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。		

不具合対応 Q&A

たてすべり出し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
施錠時にロックがかかりにくくなった、またはかからない。	ロック本体と受けの位置が合っていない。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ロック本体、受けが破損している。	
障子がスムーズに開閉しない。	フリクションステイに変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	フリクションステイに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉施錠時にすき間、ほこりなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
障子開閉時に異音がる。	フリクションステイに変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	フリクションステイに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
ドア本体が閉まらなくなった。	錠が破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ハンドルの内部機構が破損している。	
全閉施錠時、枠と障子の間からしびきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

上げ下げ窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
施錠時にクレセントがかかりにくくなった、またはかからない。	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
障子がスムーズに開閉しない。	内障子を内倒し状態からもとの状態にもどす際に、正しい位置にはめ込まれていない。	内障子を一度内倒し状態にし、枠にはめ込み直してください。 本書(P.19)をご参照ください。
	ガラスやバランスが適切でない、または調整が適切ではない。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	枠と障子部品(振れ止め、気密材)のこすれがある。 経年変化により柱の傾きが生じ、枠全体が傾いている。	
内障子の内倒しができない、またはもとの状態に戻せない。	内倒し部品が破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
全閉施錠時に障子がかたがたする。(枠内で障子にあそびがある)	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	振れ止めの位置が適切ではない、または破損している。	
全閉施錠時にすき間風、ほこりなどが入る。	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱の傾きが生じ、枠全体が傾いている。	
障子開閉時に異音がある。	内障子を内倒し状態からもとの状態にもどす際に、正しい位置にはめ込まれていない。	内障子を一度内倒し状態にし、枠にはめ込み直してください。 本書(P.19)をご参照ください。
	枠と障子部品(振れ止め、気密材)のこすれがある。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱の傾きが生じ、枠全体が傾いている。	
全閉施錠時、枠と障子の間からしびきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

不具合対応 Q&A

ガラスルーバー窓・ダブルガラスルーバー窓 (手動タイプ)

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉時に羽根ガラスが閉まりきらない。	羽根ガラスの間に異物がはさまっている。	異物を取り除いてください。
	ガラスホルダーと枠の気密材が強くこすれている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ガラスホルダーやオペレーター装置に変形や摩耗が生じている。	
羽根ガラスがスムーズに開閉しない。	ガラスホルダーと枠の気密材が強くこすれている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ガラスホルダーやオペレーター装置に変形や摩耗が生じている。	
全閉時にすき間風、ほこりなどが入る。	羽根ガラスのシール材が経年変化により、はがれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
障子開閉時に異音がする。	ステイやオペレーター装置に変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ガラスホルダーと枠の気密材が強くこすれている。	

オーニング窓・すべり出し窓 オペレーター (手動タイプ)

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉時に、障子が閉まりきらない。	ロック本体と受けの位置が合っていない。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	オペレーター装置、ロック本体、受けが破損している。	
障子がスムーズに開閉しない。	ステイやオペレーター装置に変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ステイに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉時にすき間風、ほこりなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
障子開閉時に異音がする。	ステイやオペレーター装置に変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ステイに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉施錠時、枠と障子の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

不具合対応 Q&A

内倒し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ロックがかかりにくくなった、またはかからない。	ロック本体と受けの位置が合っていない。	ラッチ受けを調整してください。 本書 (P.24) をご参照ください。
	ロック本体、受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
障子がスムーズに開閉しない。	アームに変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	アームに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉時にすき間風、ほこりなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
障子開閉時に異音がする。	アームに変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	アームに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉施錠時、枠と障子の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

すべり出し窓 カムラッチ

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ロックがかかりにくくなった、またはかからない。	ロック本体、受けが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
障子がスムーズに開閉しない。	ステイに変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ステイに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉時にすき間風、ほこりなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
障子開閉時に異音がある。	ステイに変形や摩耗が生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ステイに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
全閉施錠時、枠と障子の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

不具合対応 Q&A

玄関ドア・勝手口ドア

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉時にドア本体がかたかたする。	ラッチボルト、デットボルトとストライクの位置が合っていない。	ストライクの調整をしてください。 本書(P.45)をご参照ください。
開閉時にドア本体がぐらぐらする。	丁番取り付けねじがゆるんでいる。	枠側、ドア本体側ともに丁番取り付けねじを締めつけてください。
開閉時にドア本体が枠にこする、または当たる。	丁番取り付けねじがゆるんでいる。	枠側、ドア本体側ともに丁番取り付けねじを締めつけてください。
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
ドア本体が開かなくなった。	錠が破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ハンドルの内部機構が破損している。	
ドア本体が閉まらなくなった。	丁番が破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	錠が破損している。	
	ハンドルの内部機構が破損している。	
ドア本体の開閉時にきしみ音などの異音がする。	丁番の軸部分が経年劣化により摩耗している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
キーの差し込みが固い、または差し込んでもスムーズに操作できない。	合鍵が正規のキーと一致していない。	正規のキーで操作してください。
	鍵穴内部が凍結している。	市販の凍結防止剤・解氷材（スプレー式）をふきかけてください。 ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。
	鍵穴内部に汚れ、ほこりが付着している。	本書（P.97）をご参照ください。 それでも操作できない場合は錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	キーが変形している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	ラッチボルト、デッドボルトとストライクの位置が合っていない。	ストライクの調整をしてください。 本書（P.45）をご参照ください。
	丁番取り付けねじがゆるんでいる。	枠側、ドア本体側ともに丁番取り付けねじを締めつけてください。
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
フランス落としが作動しにくくなった、または動かない。	ロッド棒の操作機構が錆びている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	ロッド棒が曲がっている。	
ドアの閉じる速度が変わった。	ドアクローザの調整速度がずれた。	本書（P.47）をご参照ください。

不具合対応 Q&A

玄関引戸・勝手口引き戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	錠と錠受け位置が合っていない。	錠と受けの調整をしてください。 本書(P.53・54)をご参照ください。
	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書(P.53)をご参照ください。
	トリガーが破損している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
キーの差し込みが固い、または差し込んでスムーズに操作できない。	合鍵が正規のキーと一致していない。	正規のキーで操作してください。
	鍵穴内部が凍結している。	市販の凍結防止剤・解氷材(スプレー式)をふきかけてください。 ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。
	鍵穴内部に汚れ、ほこりが付着している。	鉛筆の芯の粉をキーにまんべんなくつけて2〜3回出し入れしたのち、回してください。それでも操作できない場合は錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。 ※鍵穴にミシン油などを注入すると、シリンダー内にゴミがついて故障の原因になりますので、絶対にやめてください。
	キーが変形している。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
引戸がスムーズに開閉しない。	戸車がレールにのっていないなど、引戸が正常にはめ込まれていない。	引戸を一度はずして、はめ込み直してください。
	下枠にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	振れ止めにきず、摩耗などが生じている。	
	上枠・下枠レールにきず、変形がある。	
経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。		

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉時に枠と引戸の間にすき間がある。	錠と錠受け位置が合っていない。	錠と受けの調整をしてください。 本書 (P.53・54) をご参照ください。
	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書 (P.53) をご参照ください。
	経年変化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
引戸開閉時に異音がある。	戸車がレールにのっていないなど、引戸が正常にはめ込まれていない。	引戸を一度はずして、はめ込み直してください。
	下枠にごみなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車にきず、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
	振れ止めにきず、摩耗などが生じている。	
	上枠・下枠レールにきず、変形がある。	

■引戸クローザ付きの場合

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
引戸の閉じる速度が変わった。	引戸クローザの速度調整がずれた。	引戸クローザの調整をしてください。
	引戸クローザの内部機構が経年劣化により破損した。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。
引戸が最後まで閉まらない。	戸車の高さが適切でない。	戸車の調整をしてください。 本書 (P.53) をご参照ください。
	引戸クローザの閉じ位置調整がずれた。	引戸クローザの調整をしてください。
	引戸クローザの内部機構が経年劣化により破損した。	まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様に修理を依頼してください。

不具合対応 Q&A

アルミ商品の腐食

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
アルミ商品などにつぶ状の汚れが浮き出てきた。	商品にごみなどが付着している。	清掃をしてください。 本書 (P.95) をご参照ください。 まず、工務店様、ハウスメーカー様または施工店様にお問い合わせください。
	ハウスクリーニング時に食器用中性洗剤以外の洗剤により洗浄が行われたままその洗剤が付着して商品が腐食した。	
	枠まわりの外壁、土間などに塩分の多い海砂の混入したモルタルが使用されたため、商品が腐食した。	
	枠まわりの外壁、土間などのモルタルに急結材が使用されていたため、商品が腐食した。	
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスが付着して商品が腐食した。	
	ガス給湯器の排気ガスが付着して商品が腐食した。	
	海岸地帯のため空気中に含まれる塩分が付着して商品が腐食した。	
	工業地帯のため大気中に含まれる腐食を誘発する成分が付着して商品が腐食した。	

商品保証

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下、「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に修理を依頼ください。

■保証期間

建築会社様よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）

ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■保証内容

取り扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。（詳細は取り扱い説明書（P.91）をご参照ください）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。食器用中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなど）
- ⑥ 商品または部品の材料特性に伴う現象
（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
- ⑦ 天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合・虫害
- ⑩ 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*次のような消耗部品は有料となります。

ガラスパッキング、タイト材、モヘヤ、風止め板、外れ止め、振れ止め、ホールプレート、小口カバー、障子ストッパー、戸当り、戸車、操作つまみ、雨戸戸袋ガイド、水抜き具、網戸の綱、綱押さえロープなどの合成樹脂製部品

*保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

*修理、交換などのアフターメンテナンスに関しては、別に保証書を用意しております。お取り扱いの販売店様、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

*この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

*当保証は日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては、適用されないものとします。

サービスネットワーク

本社を発信源として、当社は快適な住まいづくりを提唱し、充実したネットワークでみなさまのご要望にお応えします。商品の修理依頼、部品交換などについては、まずご契約・ご購入された施工業者または販売店にご連絡ください。商品についてのお問い合わせ・ご相談は最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。

本社・支店・営業所

カンパニー本社

カスタマーセンター お客様相談室 ☎ 0120-537-899
富山県高岡市早川70 〒933-8610

北海道

- 北海道支店 TEL(011)865-2020
北海道札幌市白石区流通センター4-4-58 〒003-0030
- 帯広営業所 TEL(0155)25-3055
北海道帯広市西8条南12-4(オークヒルズーⅡ 1F) 〒080-0018
- 北見営業所 TEL(0157)23-8671
北海道北見市末広町661-1 〒090-0826
- 旭川営業所 TEL(0166)38-1070
北海道旭川市1条通23-111-22(館脇ビル 2F) 〒078-8211

東北

- 東北支店 TEL(022)238-7801
宮城県仙台市若林区卸町東1-7-26(2F) 〒984-0002
- 盛岡営業所 TEL(019)632-2361
岩手県盛岡市永井15-57-5 〒020-0834
- 郡山営業所 TEL(024)962-7810
福島県郡山市鳴神1-55 〒963-0207
- 青森営業所 TEL(017)738-1777
青森県青森市間屋町2-20-8 〒030-0131
- 八戸営業所 TEL(0178)28-4528
青森県八戸市卸センター1-7-8 〒039-1121
- 秋田営業所 TEL(018)866-8307
秋田県秋田市川尻町字大川反170-130 〒010-0941
- 山形営業所 TEL(023)624-1544
山形県山形市流通センター3-2-5 〒990-0071
- 酒田営業所 TEL(0234)41-2620
山形県酒田市京田2-13-19 〒998-0102

関東

- 関東住宅建材支店 TEL(03)5348-0801
東京都中野区中央1-38-1(住友中野坂上ビル 7F) 〒164-8503
- 千葉支店 TEL(043)296-3192
千葉県千葉市美浜区中瀬1-3(幕張テクノガーデンB棟 20F) 〒261-8501
- 埼玉支店 TEL(048)865-4700
埼玉県さいたま市桜区道場1-5-6 〒338-0835
- 熊谷営業所 TEL(048)550-1880
埼玉県行田市棚田町1-42-11 〒361-0041
- 横浜支店 TEL(045)444-0831
神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25(テクノエイブ100ビル7F) 〒221-0031
- 宇都宮支店 TEL(028)637-1411
栃木県宇都宮市吉野1-1-1 〒320-0838
- 小山営業所 TEL(0285)25-8550
栃木県小山市城東1-12-28(前田ビル1F) 〒323-0807
- 前橋支店 TEL(027)235-4322
群馬県前橋市下小出町3-25-5 〒371-0031
- 太田営業所 TEL(0276)49-0302
群馬県太田市浜町21-44 〒373-0853
- 水戸支店 TEL(029)305-2225
茨城県水戸市平須町1839-1 〒310-0853
- つくば営業所 TEL(029)858-2461
茨城県つくば市春日4-1-9(つくば矢口ビル 2F) 〒305-0821

信越・北陸

- 新潟支店 TEL(025)287-3151
新潟県新潟市中央区長潟3-16-1 〒950-0932
- 長岡営業所 TEL(0258)46-9010
新潟県長岡市新産2-1-7 〒940-2127
- 長野支店 TEL(026)244-1533
長野県長野市三輪1-1-26 〒380-0803
- 松本営業所 TEL(0263)25-8560
長野県松本市野溝木工1-2-5 〒399-0005
- 富山支店 TEL(076)492-0081
富山県富山市荒川3-2-6 〒930-0982
- 北陸支店 TEL(076)291-7650
石川県金沢市東力2-149-1 〒921-8015
- 福井営業所 TEL(0776)54-7466
福井県福井市重立町28 〒910-0823

東海

- 東海住宅建材支店 TEL(0561)62-1201
愛知県長久手市長配3-606 〒480-1114
- 三河営業所 TEL(0564)28-5550
愛知県岡崎市能見通1-61(ウメムラビル2F) 〒444-0073
- 岐阜営業所 TEL(058)275-0661
岐阜県岐阜市六条南2-13-2(桜マンション1F) 〒500-8358
- 津営業所 TEL(059)234-8900
三重県津市高茶屋小森町220 〒514-0817
- 静岡支店 TEL(054)203-5622
静岡県静岡市駿河区宮本町9-35 〒422-8065
- 浜松営業所 TEL(053)441-6166
静岡県浜松市南区卸本町2000-7(2F) 〒432-8055
- 沼津営業所 TEL(055)964-0180
静岡県沼津市平町8-6(平成第6ビル2F) 〒410-0036

関西

- 関西住宅建材支店 TEL(06)6916-0203
大阪府門真市新橋町15-9 〒571-0048
- 和歌山営業所 TEL(073)480-6330
和歌山県和歌山市湊4-1-8 〒640-8404
- 京都支店 TEL(075)212-2511
京都府京都市中京区烏丸通三条下ル(大同生命京都ビル5F) 〒604-8161
- 福知山営業所 TEL(0773)23-9670
京都府福知山市問屋町8-13 〒620-0057
- 滋賀営業所 TEL(077)514-4150
滋賀県守山市伊勢町633 〒524-0036
- 神戸支店 TEL(078)332-2060
兵庫県神戸市中央区海岸通6(建隆ビル4F) 〒650-0024
- 姫路営業所 TEL(079)299-2510
兵庫県姫路市岡田249(2F) 〒670-0982

中国・四国

- 中国支店 TEL(082)292-0111
広島県広島市西区南観音5-2-25(2F) 〒733-0035
- 福山営業所 TEL(084)928-1956
広島県福山市東深津町3-17-2 〒721-0974
- 岡山営業所 TEL(086)243-7675
岡山県岡山市北区下中野1214-1 〒700-0973
- 鳥取営業所 TEL(0857)37-3520
鳥取県鳥取市箕露町433(102号室) 〒680-0905
- 松江営業所 TEL(0852)22-2162
島根県松江市津田町310-1 〒690-0055
- 山口営業所 TEL(083)972-4480
山口県山口市小郡花園町5-5 〒754-0022
- 四国支店 TEL(087)864-3141
香川県高松市林町2551-10(2F) 〒761-0301
- 徳島営業所 TEL(088)693-4577
徳島県板野郡藍住町徳命字小塚東71-1 〒771-1210
- 松山営業所 TEL(089)922-3768
愛媛県松山市久万ノ台691 〒791-8016
- 高知営業所 TEL(088)883-0089
高知県高知市札幌4-22 〒780-0085

九州

- 九州支店 TEL(092)475-5321
福岡県福岡市博多区豊2-4-6 〒812-0042
- 北九州営業所 TEL(093)964-3100
福岡県北九州市小倉南区下南方1-3-22 〒802-0977
- 八女営業所 TEL(0943)23-7618
福岡県八女市大字室岡字野中351-9 〒834-0066
- 長崎営業所 TEL(0957)25-6388
長崎県諫早市永昌町6-22 〒854-0072
- 熊本営業所 TEL(096)378-8030
熊本県熊本市中央区萩原町17-30 〒860-0832
- 大分営業所 TEL(097)551-7600
大分県大分市原新町8-30 〒870-0912
- 宮崎営業所 TEL(0986)23-6386
宮崎県都城市上川東4-2-7 〒885-0012
- 鹿児島営業所 TEL(099)258-6235
鹿児島県鹿児島市与次郎2-4-35(KSC鴨池ビル5F) 〒890-0062

(平成24年6月1日現在)

お客様メモ

■ご購入の際、記入しておかれますと便利です。

所在地	
入居日	年 月 日
建築会社または工務店	社名
	TEL — —
販売店	社名
	TEL — —
最寄りの当社支店・営業所	支店・営業所 TEL — —
商品名	
メモ	

商品の修理依頼、部品交換などについては、まずご契約・ご購入された施工業者または販売店にご連絡ください。

商品についてのお問い合わせ・ご相談は最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。
連絡先（サービスネットワーク）については、P.118・119をご参照ください。

この取り扱い説明書を紛失した場合、再発行いたします。
お気軽に販売店または、お近くの当社支店・営業所へご連絡ください。
ただし、当該商品の販売終了後にご容赦いただく場合があります。

2006年6月初版発行

2011年9月改訂発行

 **三協立山株式会社 三協アルミ社**

カンパニー本社／〒933-8610
富山県高岡市早川70
お客様相談室

 0120-53-7899

[受付時間]月～金 9:00～12:00
13:00～17:00
(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

<http://alumi.st-grp.co.jp/>

カタログNo.

STJ0009F

TS.12.05-015

取り扱い説明書

保存版

- 商品のご使用前にこの説明書をよくお読みください。
- いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。